



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー 第2770地区 第8グループ

越谷ロータリークラブ

2023-2024 年度計画書

Rotary



地区

地域に希望を、クラブに活力を生み出そう

クラブ

笑顔溢れるクラブ活動、奉仕活動



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

付記

「ロータリーの目的」の4つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならないものであるということで、RI理事会の意見が一致した。

(ロータリー章典 26.020)

Object of Rotery

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular, to encourage and foster:

First. The development of acquaintance as an opportunity for service;

Second. High ethical standards in business and professions; the recognition of the worthiness of all useful occupations; and the dignifying of each Rotarian's occupation as an opportunity to serve society;

Third. The application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business, and community life;

Fourth. The advancement of international understanding, goodwill, and peace through a world fellowship of business and professional persons united in the ideal of service.

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか

THE FOUR-WAY TEST

Of the things we think, say or do:

- 1) Is it the TRUTH ?
 - 2) Is it FAIR to all concerned ?
 - 3) Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIP ?
 - 4) Will it be BENEFICIAL to all concerned ?
-

ロータリーの歴史



最初の4人のロータリアン。左から、ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレー、ポール P. ハリス

(写真提供：Rotary Images)

世界初の奉仕クラブ、米国イリノイ州のシカゴ・ロータリー・クラブは、1905年2月23日、ポール・ハリスによって結成されました。ハリスは、少年期に過ごした小さな町で感じたのと同じ友愛の精神を、専門職業人の集まるクラブで再現したいと望んだのでした。「ロータリー」という名前は、会員の仕事をもちまわりで会合を開いていた初期の慣習に由来しています。

ロータリーの評判はあっという間に広がり、その後10年間に、サンフランシスコとニューヨークをはじめ、カナダのウィニペグにもクラブが結成されました。1921年までに6大陸にロータリー・クラブが結成され、その1年後、この組織は「国際ロータリー」と名づけられました。

ロータリーが発展するにつれ、その使命も、クラブ会員の職業や社交の関心の枠を超えて広がっていきました。ロータリアンは、共同で資金を援助したり、才能を投じるなどして、恵まれない地域社会を助けてきました。こうした理念に対するロータリーの献身をもっとも良く表しているのが、「超我の奉仕」という標語です。1925年7月までに、ロータリー・クラブの数は2,000に達し、会員数は推定108,000人に上っていました。ロータリーの類まれな評判は、大統領や首相といった高官や、小説家のトーマス・マン、外交家のカルロス P. ロムロ、人道主義者のアルベルト・シュバイツァー博士、作曲家のジャン・シベリウスといった著名人をも惹きつけました。

「四つのテスト」

1932年、ロータリアンのハーバート J. テイラーが「四つのテスト」を作り、その11年後、ロータリーはこれを倫理規範として採用しました。以下の問いに示されたこのテストは100カ国語以上に翻訳されています。

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

ロータリーと第二次世界大戦

第二次世界大戦中、多くのクラブが解散を余儀なくされた一方、ほかのクラブは戦争被害者の救援活動に当たりました。1942年、戦後期の到来に備えようと、ロータリアンが呼びかけた国際的な教育と文化交流を推進する会議の開催が、ユネスコ創設のきっかけとなりました。

1945年、国連憲章採択会議の29の代表団の中に、49人のロータリー・クラブ会員がいました。現在もロータリーは、国連の主要会議にオブザーバーを派遣したり、ロータリーの出版物の中で国連を紹介するなど、国連会議に活発に参加しています。元英国首相のウィンストン・チャーチルは、かつて、「自由な世界の隅々でロータリー・クラブが行ってきた善行を知らない者はない」と公に発言しました。

新世紀のはじまり

21世紀が近づく頃、ロータリーは社会の変わり行くニーズに応え、環境破壊、識字率の向上、飢餓、危機下の子供たちといった緊要な課題に取り組む奉仕活動を懸命に行っていました。1989年、ロータリーは、世界中のクラブで女性の入会を認めることを票決しました。以来、女性会員は世界中で活躍しています。ベルリンの崩壊とソビエト連邦の解体後、中欧と東欧では、ロータリー・クラブの再結成や、新たなクラブの結成の動きが見られました。ロシアで初のロータリー・クラブが1990年に加盟し、その後数年間にロータリーは急成長を遂げました。

ポール・ハリスとその仲間が後の「国際ロータリー」の前身となるクラブを初めて創立してから1世紀以上経った今でも、ロータリアンは、自分たちの組織に対する誇りを引き継いでいます。ロータリアンたちは、初のクラブを記念して当初の例会場所だったシカゴのユニティービル711号室を1905年当時のまま保存しました。その後しばらく、ポール・ハリスの711号室は、訪れるロータリアンたちの畏敬の場となりました。1989年、このビルが破壊されることが決まると、クラブのロータリアンは711号室を丁寧に解体し、ドアやラジエーターにいたるまですべての内装を取り外しました。1993年、国際ロータリー理事会は、シカゴ郊外にあるエバンストンの国際ロータリー世界本部の16階に、この711号室を復元し、永久に保存することを決定しました。

現在、116万人のロータリアンが、200以上の国と地域にある36,600以上のロータリー・クラブに所属しています。

目 次

ロータリーの目的・四つのテスト	1
ロータリーの歴史	2
目 次	4

メッセージ

国際ロータリー会長	6
第 2770 地区ガバナー	11
第 8 グループガバナー補佐	14
越谷ロータリークラブ会長	15

規 定

クラブ定款	綴込
クラブ細則	綴込
指名委員会設置準則	20
新会員カウンセラー制度運用準則	20
越谷ロータリークラブ名誉会員選出運用準則	21
越谷ロータリークラブ友の会運用準則	21
クラブ慶弔規定	22

クラブ紹介

クラブ概要	23
-------------	----

2023-2024 年度 活動方針

クラブ組織図	24
役員・理事名簿	25
委員会等構成表	26
会員構成表（充填一覧表）	27
委員会等活動方針	30
姉妹クラブ及び友好クラブ一覧	40
提唱クラブ	41
年間プログラム予定表	42
2021-2022 年度決算書	46
2023-2024 年度予算書	48
財産目録	50

名 簿

会員名簿	51
------------	----

名誉会員	70
物故者・移籍者名簿	71
クラブ関係者名簿	72
米山記念奨学生名簿	73
ロータリー財団奨学生名簿（派遣・来日）.....	75
青少年交換留学生名簿（派遣）.....	76
青少年交換留学生名簿（来日）.....	78
会員年齢別表	80
会員誕生日・結婚記念日一覧表	81

記 録

歴代会長・幹事一覧表	85
米山記念奨学金寄付額一覧表	89
ロータリー財団寄付額一覧表	92
年度別会員所属委員会一覧表	95

地区関係

国際ロータリー関係国内機関一覧	107
第 2770 地区 収支予算書	108
地区分担金	109
クラブより送金一覧	110
公式訪問日程表	111
地区内クラブ入会金・年会費・ビジター登録料一覧	112
地区内クラブ創立一覧	113
地区内クラブネット環境一覧	114
姉妹・友好クラブ締結状況	116

その他

ロータリー・ソング	118
2023-2024 年度国際ロータリー第 2770 地区役員一覧表	別紙
2023-2024 年度国際ロータリー第 2770 地区例会一覧表	別紙

ご 案 内

ガバナー公式訪問	→	令和 5 年 7 月 25 日	(火)
地区大会	→	令和 5 年 11 月 11 ~ 12 日	(土・日)
I・M	→	令和 6 年 2 月 3 日	(土)
会長エレクト研修セミナー	→	令和 6 年 3 月 13 ~ 14 日	(水・木)
地区研修・協議会	→	令和 6 年 4 月 19 日	(金)

※全員で参加しよう

2023-24年度 RI会長プロフィール

ゴードン R. マッキナリー

サウス・クイーンズフェリー ロータリークラブ所属
スコットランド（ウェストロージアン）



エディンバラの王立高校とダンディー大学で学び、口腔外科の大学院学位を取得。2016年までエディンバラで自身の歯科医院を経営。英国小児歯科学協会のスコットランド東部支部会長を務めたほか、さまざまな教育的役職を歴任。また、長老会のリーダー、クイーンズフェリー教区会衆派教会理事会の会長、スコットランド国教会総会のコミッショナーも務めた。

1984年、26歳でロータリーに入会。South Queensferry（サウス・クイーンズフェリー）ロータリークラブに所属し、グレートブリテンおよびアイルランドの国際ロータリー（RIBI）の会長と副会長、RIの理事と委員会メンバー（2022年ヒューストン国際大会委員会アドバイザー、運営審査委員長など）を務めた。

新しいロータリークラブやグループを築くために会員と協力できるのを楽しみにしており、「私のビジョンは、ロータリーの仲間になりたいと思うすべての人、世界でよいことをしたいと願うすべての人が、それぞれに合った方法でどこでも参加できるロータリーとなること」と話す。

英国を拠点とする非営利団体「ホープ・アンド・ホーム・フォー・チルドレン」の後援者であり、同団体とRIBIとのパートナーシップを先導して、ルワンダ大虐殺によって孤児となった子どもたちを支援。開発途上国の人びとや家族、ビジネスに持続可能な人道支援を提供するGrantham Kestevenロータリークラブ（英国リンカンシャー）のイニシアチブ「Trade-Aid」も後援しているほか、国立の精神保健機関であるBipolar UKのアンバサダーを務めている。

趣味はラグビー、グルメとワイン、スコットランドの伝統的な杖づくり。

ロータリー財団は「ロータリーの奉仕を動かす燃料」であるとし、妻ヘザーさん（ロータリアン）とともにポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、ロータリー財団のベネファクター、遺贈友の会会員となっている。孫娘たち（アイビーさん、フロレンスさん）が幸せに暮らせるより良い世界をつくるために、会長として全力を捧げたいと考えている。

会長イニシアチブ

●メンタルヘルスの優先

精神疾患や心の健康は話しづらいトピックだと感じるかもしれませんが、国際社会で人が幸福に生きるには大切なことです。このような問題に取り組むための安全な環境を作ること、私たちと関わるすべての人を歓迎し、公平で、インクルーシブな環境につながります。

ゴードン氏は、2023-24年度に以下のような活動を行うことをクラブと地区に奨励しています。

- 心の健康の話題に伴うスティグマの解消
- メンタルヘルスのニーズに関する認識の向上
- メンタルヘルスの支援や治療へのアクセス改善

●バーチャル交流を通じた平和構築

ロータリーは、人と人とのつながりを生かして平和のために活動してきた長い歴史がありますが、新型コロナウイルスの流行により、直接顔を合わせて活動することが困難になっています。コロナ禍を通じて学んだことをヒントに、ゴードン氏は、より多くのプログラム、行事、活動にバーチャルの要素を取り入れることを地区に奨励しています。テクノロジーを活用してつながりを作ることで、より多くの人にロータリーを体験する機会を提供できます。

2023-24年度、ロータリー青少年交換、新世代交換、ロータリー友情交換、その他のプログラムにおいて、これらの要素を追加または維持することには、次のような利点があります。

- 会員や参加者が異文化を体験し、新しい友人を作り、国際的な認識を深めるための新しい方法を提供する。
- 時間、健康、または経済的な理由で入会が困難な人に、参加への道を開く。
- 異文化間のコミュニケーションと理解を深め、より安定した平和な地域社会を実現する。

●女児のエンパワメント

シェカール・メータ 2021-22年度会長が立ち上げ、ジェニファー・ジョーンズ 2022-23年度会長が継続した、世界中の女児と女性のエンパワメントに焦点を当てた取り組みを、ゴードン氏も継続します。女児の健康、福祉、教育、経済的安定を向上させる活動を続けることが会員に奨励されています。

2023-24年度 RI 会長メッセージ

世界に希望を生み出そう

ロータリー会員として今ほど素晴らしいときではないでしょう。私たちは素晴らしく歴史的な年度の真ただ中にいます。この年度の扉を閉めるのではなく、次年度への橋を築こうではありませんか。なぜなら、川が流れているなら、それを渡る方法があればありがたいからです。

今は歴史的なときであり、ロータリーが世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超えた可能性への道を示す機会が訪れています。しかし、私たちの最も優れた仕事のいくつかは、ほかの人たちの継続的な取り組みをサポートすることであるかもしれません。ジョーンズ会長とほかのロータリーリーダーたちが始めたことを土台として、今後さらに大きな成果が成し遂げられるようにしていきましょう。これからの私の仕事、そしてすべてのロータリーリーダーの仕事の多くにおいては、継続が重要となります。

継続とは、以前のリーダーたちのよいアイデアを前進させることを意味します。

過去数年間、ローターアクトに力を与えると約束し、それを実行してきたロータリー会長たちの継続へのコミットメントを、私たちは目にしてきました。その結果は驚くべきものです。ローターアクトたちは引き続き、ロータリーで全面的なパートナーとなるだけでなく、リーダーとなることへの熱意を示すことで、私たちに勇気づけています。ロータリークラブとローターアクトクラブが互いに協力し、支えあう新しい方法を見つけ続けられるかどうかは、私たちにかかっています。

継続のもう一つの優れた例が、女兒のエンパワメントです。ジョーンズ会長は、メータ会長のプログラムを継続することでこの素晴らしい模範を示しました。この取り組みは、多くの点でロータリーが長年積み重ねてきたものであり、メータ会長がそれに名をつけて拡大させたのです。世界中の少女が強く、十分な能力を身につけた女性へと成長できるよう支援するために、私はこれらの会長の仕事を引き継いでいくことを明確にしました。

私はまた、すべての行いにおいて多様性、公平さ、インクルージョンを促進するためにロータリーが遂げてきたすべての進歩を全面的にサポートしたいと考えています。会員数は非常に重要ですが、DEIを全面的にサポートすることは、単に会員数を増やすことを意味するわけではありません。DEIの最も重要な側面は、ロータリーを最高の人材、最高のアイデア、最高のパートナーシップを受け入れるオープンでインクルーシブな組織にすることです。人びとがロータリーを見たとき、そこに自分自身を見ることができるようになります。

継続には他にも二つの側面があり、それらは極めて重要となります。一つ目はポリオです。「ポリオのない世界」という夢を追い続け、多くのことを成し遂げてきたこの35年間で、私たちは誇りとすることができます。

根絶の実現にどれだけ近づいているか、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せを全額得るために最低5,000万ドルを集めることがいかに重要であるかを毎年繰り返し言われたら、疲れるのも無理もないと承知しています。現在、ポリオ根絶キャンペーンに寄付しているロータリー会員は約12人に1人に過ぎず、毎年寄付しているクラブも5分の1を下回っています。

最近、世界の主要都市でポリオが発生したことで、この恐ろしい病の根絶に再び注目が集まっています。根絶が実現した暁には、ロータリーは大きな歴史的称賛を受けるに値します。

ですから、各年度に何をすべきかではなく、それを超えて考え、できるだけ早く実現するために必要なあらゆるリソースを私たちが提供すべき時が来ています。世界の子どもを脅かす流行がさらに発生する前にポリオを根絶できるという希望を生み出すために、皆さんの力が必要です。

ポリオワクチンの開発者であるジョナス・ソーク博士の次の賢明な言葉に、耳を傾ける必要があります：「希望は、夢を現実にしたいと強く願う人たちの夢、創造力、そして勇気の中にあります」。この言葉は、ロータリー行動計画のあらゆる側面に当てはまります。この行動計画は、希望を生み出し、変化に必要な知識と勇気をロータリー会員に与えるものです。これを成し遂げるには、

- ・既知の成果と実証された証拠に基づいて奉仕プロジェクトを立案する方法について会員に話す必要があります。
- ・互いに、そして私たちが奉仕するすべての人とオープンで、インクルーシブで、思いやりのある心をもって接しましょう。
- ・世代や国境を超えて活動し、関係を築くためのあらゆる機会を探し求めてください。
- ・世界に持続可能な変化を生む新しいアイデアや視点を、進んで受け入れてください。

そのために、ロータリー行動計画の目標において他のロータリアンと協力していただけることを願っています。

行動計画のうち、全員に暗記してほしい部分があります。それはこのビジョン声明です：「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」。行動計画を受け入れ、実行するための現実的な方法をクラブに提供することこそが、地域社会で持続可能な変化を生む最善の方法です。

ここで話の焦点を、世界と自分自身の中に持続可能な変化を生むという、ビジョン声明の二つの要素に当てたいと思います。

一つは、平和にさらなる主眼を置くことです。ロータリーを創始し、築いてきた先人たちは、ロシアが始めた残忍な戦争に直面するウクライナの人びとのために過去1年間に私たちが行ってきた懸命な支援活動を、きっと誇りに思うでしょう。

ロータリーは歴史の呼びかけに応え、人道支援を最優先してきました。惜しみなく寄付し、仲間を一心にサポートし、ウクライナの人びとから尊敬を集めてきました。ウクライナで大勢が入会し続けていることは、入会と会員の参加促進について大切なことを示唆しています。しかし、ウクライナ人にとってもロシア人にとっても、平和が実現するまでは本当の安らぎは訪れないことは明らかです。同じことが、イエメン、アフガニスタン、シリア、そして世界のほかの数十の紛争地域にも当てはまります。

平和とは、希望が根づくための土壌です。

人びとの間に新しいつながりを築き、共通点を求めて新しい機会を見つけるたびに、この土壌が耕されます。これからの1年間、私たちはバーチャルな国際交流を導入します。

ロータリーでは、平和は受動的な夢ではなく、懸命な活動、築かれた信頼、そしてしばしば難しい対話の結果として生まれるものです。平和は粘り強く、勇敢に実践しなければなりません。人類が立てることのできる最も勇敢な目標は、平和の追求です。

2006年、私はタイのバーン・タリングチャン村を訪れました。そこでは、2004年末の津波の後で、ロータリー会員が新しい家や集会場、保育所、医療施設の建設にあたっていました。そこで、あるやつれた女性が私に近寄ってきました。その女性は、私に美しい貝殻をくれました。

この貝殻は彼女が30年以上持ち続けていたものだと言います。数少ない所持品の一つだったこの貝殻

を受け取ることを、最初はためらいました。しかし彼女は、ロータリーがしてくれたことへの感謝のしるしとして受け取ってほしいと言ひ張りました。後日、私は彼女が津波で夫、娘、息子を失ったことを知りました。家族、家、生計を失い、そして何よりも、生き続ける希望と理由を失いました。しかし彼女は、地域社会を建て直すロータリーの活動のおかげで前向きな気持ちを取り戻し、希望が与えられたと言ひました。

これは美しい貝殻です。私が次年度のテーマとその意味を検討していたとき、この貝殻だけでなく、存命するスコットランドの最も偉大なアーティストの一人で、Jolomoとしても知られるジョン・ロウリー・モリソンさんがよく使用する色にも引き付けられました。そこに世界の色を反映させ、次年度にロータリーが注力すべきことを反映させたいと思ひました。

タイの女性との思い出とこれらの色から、2023-24年度テーマは「**世界に希望を生み出そう**」であることをここにお知らせします。

これが、ロータリーが世界に変化をもたらす方法です。私たちは、一つずつ新たな希望を生み出しています。このテーマはまた、自分自身の中で同様の変化を生むのを促す方法を説明するものでもあります。なぜなら、地球上の多くの人にとって、希望を失う理由は物質的な貧困だけではないからです。私たちは皆、自分たちの幸せを脅かす課題に直面しています。平和の実践に大きな勇気が必要であるのと同じように、誰かに助けを求めたり、助けを必要としていることを認めたりすることも勇気ある行動です。

新型コロナウイルス流行の結果として、これまで以上に多くの人々が傷ついています。多くの人が身近な人を失ったり、社会的つながりを断たれたりしています。分裂が広がり、つながる機会が失われています。最も傷ついている世代の一つが、教育や対人スキルを身につける機会が妨げられた子どもや若者です。さらに悪いことに、世界の多くの地域では、助けを求めること、特にメンタルヘルスの助けを求めることは弱さであると考えられています。しかし、真実から目をそむけることはできません。自分の弱さを認め、すべての答えを知っているわけではないと認めるのは、勇気が要ることです。

助けを求めることは勇気ある行動であり、幸せへの道を求めることは、さらに勇気が要ることです。

メンタルヘルスの専門家なら誰もが口をそろえてこう言うでしょう。ほかの人を助けることで、本質的に自分自身が助けられるのだ、と。

他の人を助けることで、ストレスが軽減され、気分がよくなり、私たち自身のメンタルヘルスと幸せのためにもなることが、圧倒的な証拠で示されています。その中で培われる友情は、素晴らしい連帯意識と仲間意識を育み、それ自体がメンタルヘルスと幸せに欠かせない要素となります。

ですから、次年度の私たちの計画は、世界に平和をもたらす、紛争の影響を受けた人びとを癒すこと、そして、私たち自身の内面的な闘いと向き合うためにお互いと地域社会を支え、助けを求めることに対する社会的な偏見をなくすことです。

これらの活動すべてにおける目標は、破壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となります。ロータリーは、平和、機会、生きる価値ある未来の土台を築いています。私たちが得意とすることを継続すると同時に、変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます。あらゆる地域からのロータリーのリーダーである皆さんに、世界に希望を生み出すよう、心からお願い申し上げます。

2023-24年度RI会長
ゴードン R. マッキナリー

2023-24年度 RI第2770地区運営方針

世界に希望を生み出そう

2023-24年度 国際ロータリー 第2770地区

ガバナー なしもと 梨本 まつお 松男

(幸手ロータリークラブ)



◇地区運営方針と地区目標

ロータリーを理解し、楽しく活動しよう

ロータリーは変化しています。その根拠の1つが3年に一度の規定審議会です。例えば昨年4月に行われた規定審議会では、クラブ管理の試験的プロジェクト（制定案 22-71）（パイロット地域についての議論）人頭分担金増額する件（制定案 22-46）など、29件が選択されました。

マイロータリー・ロータリー友の会などには、たくさんのロータリーの情報があります。

月信には、充実した多くの地区情報が載っています。また米山記念奨学会の「豆辞典」を活用しましょう。ロータリーを正しく理解し、楽しく活動しましょう。

1. ロータリーは、常に変化しています。その変化を理解し、新しいロータリーを学ぼう。

①中核的価値観とDEIはロータリーの基本理念（2022年手続要覧）

親睦 (fellowship)
高潔性 (Integrity)
多様性 (Diversity)
奉仕 (Service)
リーダーシップ (Leadership)

Diversity (多様性)
Equity (公平さ)
Inclusion (インクルージョン・包摂性)

②RI戦略計画（ロータリーのビジョン声明と4つの優先項目）

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

③DEIを学び理解する

2. ロータリーの基本的事項を学ぼう

(1) ロータリーの基本理念（手続要覧）

- ①RIの標語
- ②RIの使命
- ③TRFの使命
- ④中核的価値観など、とても重要です。勉強しよう。

(2) マイロータリーの活用と100%の登録

3. 奉仕活動を楽しんで下さい

(1) 財団補助金を使う

(2) ポリオ根絶活動

(3) 青少年奉仕

- ①パートナーとしてのローターアクトクラブ
- ②インターアクトクラブ・RYLA

(4) 奉仕プロジェクトの更なる活性化に向け、地区大会において各グループの奉仕活動報告をお願いします。

4. RI行動計画に基づいたクラブ戦略計画の策定

5. 会員増強退会阻止

6. 「ロータリー賞」へ全クラブがチャレンジ

2023-24年度 RI第2770地区ガバナープロフィール

梨本 松男 (なしもとまつお)

1957年 7月4日 誕生

幸手ロータリークラブ

事業所：梨本・長島税理士法人

【経歴】

明治大学政治経済学部卒業

幸手市商工会 会長

幸手市教育委員会委員長：2015年3月31日まで

関東信越税理士会 春日部支部支部長：2017年4月1日～2019年3月31日

【ロータリー歴】

2002年～2003年 クラブ幹事

2006年～2007年 地区副幹事

2007年～2008年 クラブ会長

2008年～2010年 地区会員増強維持部門 委員

2011年～2012年 クラブ国際奉仕委員会 委員長

2012年～2013年 第7グループガバナー補佐

2014年～2015年 クラブ会員増強維持委員会 委員長

2019年～2020年 クラブ社会奉仕委員会 委員長

RI第2770地区 第8グループ ガバナー補佐メッセージ

ご挨拶

2023-24年度 国際ロータリー 第2770地区
第8グループ ガバナー補佐 染谷 宗一
(越谷南ロータリークラブ)



本年度、第8グループガバナー補佐を拝命いたしました、越谷南 RC 所属の染谷宗一でございます。

歴代ガバナー補佐のご努力に敬意と感謝を申し上げますと共に、グループの各会長、幹事、そして会員の皆様にご協力とご理解をお願い申し上げます。

今年度、RI 会長ゴードン R. マッキナリー氏のテーマは

「世界に希望を生み出そう」
「Create Hope in the World」

そして、国際ロータリー 2770 地区ガバナーの梨本松男氏の地区活動方針は、
「地域に希望を、クラブに活力を生み出そう」 でございます。

そして、地区運営方針は、
「ロータリーを理解し、楽しく活動しよう」 です。

その活動方針、運営方針の下で第8グループも運営して参る所存でございます。

また、各クラブの継続事業を尊重すると共に、第8グループの良き慣習も継続してまいります。

そして、皆様のご意見を取り入れて、活力あるグループを目指して邁進してまいります。

一年間全力で頑張りますので、よろしくお願い致します。

2023-24年度 越谷ロータリークラブ会長メッセージ

ご挨拶

2023-24年度 越谷ロータリークラブ

会 長 若海 宗承



この度、越谷ロータリークラブ第63代会長就任に当たり、会員皆様にご承認を賜り、誠にありがとうございます。

62年間変化を続けながら活動を継続している越谷ロータリークラブの伝統と歴史を大切に、率先して活動をしていく所存であります。

越谷をふるさととして45年。ふるさと越谷が大好きであります。家族が大好きであります。家族、会社、ふるさとを大切に、会員皆様のお知恵を拝借し、楽しくロータリー活動をしてまいりましょう。一年間、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

さて、本年度 ゴードン R. マッキナリー RI 会長のテーマは

Create Hope in the World

「世界に希望を生み出そう」

これが、ロータリーが世界に変化をもたらす方法であり、あらゆる地域からのロータリーのリーダーである皆さんに、世界に希望を生み出すようにとっています。

RI テーマを受け、梨本松男ガバナーは
地区活動方針を

「地域に希望を、クラブに活力を生み出そう」

地区運営方針を

「ロータリーを理解し、楽しく活動しよう」

とし、時代の変化に注意をしつつ、コロナ禍で停滞していた3年間を動かすと力強く発せられています。

「笑顔溢れるクラブ活動、奉仕活動」

● 会員増強・維持

クラブの魅力を発信し、様々な活動を通じて会員間の親睦を深める活動に取り組み、会員増強・維持に努めます。

● 誰もが参加したいと思うプログラム、親睦活動

老・壮・青 全ての会員が出席、参加をしたいと思わせるプログラム、親睦活動を企画します。

● 奉仕活動を通じて地域に希望を

クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の全てにおいて参加者が笑顔溢れる奉仕活動を行います。

● ロータリーを学ぼう

ロータリーは常に変化をしています。まずは基本的事項を学び、新しいロータリーを学び、正しく理解し、楽しく活動をします。

2023-24 年度クラブビジョン

ビジョン声明

会員同士が親睦を深めつつ自己啓発を進め、研鑽を積み、自らの職業を活かして地域や世界に奉仕をするクラブを目指します。

◆ クラブ戦略計画 ◆

- 老・壮・青バランスの取れた会員構成に尽力します。
- 例会出席率、奉仕活動への参加率を高めるために、常に工夫を行います。
- 持続可能な良い変化を生むために、以前の良いアイデアを前進させます。
- 地域社会、国際社会と密なる連携のもと、時代のニーズに沿った奉仕事業を行います。

地区数値目標

1. 会員数 2,400 名
2. 出席率 90%を目標にメーキャップを活用する
3. 財団寄付額
 - 1人あたり 年次基金 200ドル
 - ポリオプラス 50ドル
 - 1クラブあたり 初めてのベネファクター※ 1名
(50名以上のクラブは2名)
 - ※ベネファクターとは恒久基金に累計1,000ドル以上寄付された方
4. 米山寄付額
 - 1人あたり 25,000円
 - (普通寄付：5,000円 特別寄付：20,000円)

越谷ロータリークラブ定款

第1条 定義

1. 理事会：本クラブの理事会
2. 細 則：本クラブの細則
3. 理 事：本クラブの理事会の理事
4. 会 員：名誉会員以外の本クラブ会員
5. R I：国際ロータリー
6. 書 面：文書化が可能なコミュニケーション。通信手段は問わない。
7. 年 度：7月1日に始まる12カ月間

第2条 名称

本会は、越 谷 ロータリークラブとする。
(国際ロータリー加盟会員)

第3条 クラブの目的

本クラブの目的は、次の通りである。

- (a) 「ロータリーの目的」の達成を目指すこと
- (b) 五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施すること
- (c) 会員増強を通じてロータリーの発展に寄与すること
- (d) ロータリー財団を支援すること
- (e) クラブレベルを超えたリーダーを育成すること

(※訳注：「第3条 クラブの目的」の原文は「Article 3 Purposes」ですが、既存の第5条「目的」[Object] と区別するため、上記の訳では「クラブの」が補足されています。)

第4条 クラブの所在地域

本クラブの所在地域は、次の通りである：越谷市周辺

第5条 目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を實踐すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

第6条 五大奉仕部門

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実際的な規準である。

1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が

取るべき行動に関わるものである。

2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。
3. 奉仕の第三部門である社会奉仕は、地域社会における積極的平和を目指すことにより、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。
4. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、積極的平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。
5. 奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、積極的世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

第7条 会合

第1節 例会。

- (a) 日および時間。本クラブは、細則に定められた日および時間に、定期の週の会合を開くものとする。
- (b) 会合の方法。例会は、直接顔を合わせるか、電話で、オンラインで、またはオンラインの参加型の活動を通じて開催することができる。参加型の会合は、参加型の活動が掲載される日に開かれるとみなされるものとする。
- (c) 会合の変更。正当な理由がある場合、理事会は、例会を、前回から次回の例会の間のいずれかの日、定例日の他の時間、または他の場所に変更することができる。
- (d) 取消。例会日が以下にあたる場合、理事会は、例会を取りやめることができる。
 - (1) 祝日にあたる場合、またはその週に祝日が含まれる場合
 - (2) 会員の葬儀の場合
 - (3) 全地域社会にわたる流行病もしくは災害が発生した場合、または
 - (4) 地域社会での武力紛争がある場合理事会は、ここに列記されていない理由であっても、1年に4回まで例会を取りやめることができるが、3回を超えて続けて例会を取りやめてはならない。
- (e) 例外。細則には、本節に従わない規定を含めることができる。ただし、クラブは少なくとも月に2回、例会を行わなければならない。

第2節 年次総会。

- (a) 役員を選挙するため、現年度の収入と支出を含む中間報告および前年度の財務報告を発表するための年次総会は、細則の定めるところに従い、毎年12月31日までに開催されるものとする。

第3節 理事会の会合。

理事会のすべての会合後30日以内に、書面による議事録を全会員が入手できるようにすべきである。

第8条 会員身分

第1節 全般的資格条件。

本クラブは、善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、事業、専門職務、および／または地域社会でよい評判を受けており、地域社会および／または世界において奉仕する意欲のある成人によって構成されるものとする。

第2節 種類。

本クラブの会員の種類は正会員および名誉会員の2種類とする。本条第7節に従って、クラブは他の会員の種類を設けることができる。これらの会員は正会員または名誉会員としてRIに報告される。

第3節 正会員。

RI定款第4条第2節の資格条件を有する者は、クラブの正会員に選ぶことができる。

第4節 二重会員の禁止。

いかなる会員も、同時に、

- (a) 本クラブと、いずれかのクラブの衛星クラブ以外の別のクラブに所属することはできない、または
- (b) 本クラブにおいて、名誉会員になることはできない。

第5節 名誉会員。

本クラブは、理事会が決定した存続期間で名誉会員を選ぶことができる。名誉会員は以下の資格を満たすものとする。

- (a) 会費の納入を免除される
- (b) 投票権を持たない
- (c) クラブのいかなる役職にも就かない
- (d) 職業分類を持たない
- (e) 本クラブのあらゆる会合に出席することができ、その他クラブのあらゆる特典を享受することができるが、他のクラブにおいてはいかなる権利または特典も持たないものとする。ただし、ロータリアンの来賓としてではなく訪問する権利がある。

第6節 例外。

細則には、第8条第2節および第4～6節に従わない規定を含めることができる。

第9条 クラブの会員構成

第1節 一般規定。

各会員は、その事業、専門職務、職業、または社会奉仕に従って分類されるものとする。職業分類は会員の会社、企業、団体の主要かつ一般世間が認めている事業活動を示すものか、本人の主要かつまた一般世間が認めている事業または専門職務を示すものか、本人の社会奉仕活動の種類を示すものとする。理事会は、会員が役職、専門職務、または職業を変更する場合、会員の職業分類を修正することができる。

第2節 多様なクラブ会員基盤。

本クラブの会員基盤は、年齢、性別、および民族的多様性を含め、地域社会の事業、専門職務、職業、および市民組織の多様性を表すものであるべきである。

第10条 出席

第1節 一般規定。

各会員は本クラブの例会、本クラブの奉仕プロジェクト、行事、およびその他の活動に参加するべ

きである。会員が、ある例会に出席したものとみなされるには、

- (a) その例会時間の少なくとも 60 パーセントに直接、電話で、またはオンラインで出席する
- (b) 会合出席中に不意にその場を去らなければならなくなり、その後退席が妥当であると示す十分な理由をクラブ理事会に提示する
- (c) クラブのウェブサイトにて例会が掲載されてから 1 週間以内に定例のオンラインの会合または参加型活動に参加する、または
- (d) 次のような方法で同じ年度に欠席をメイクアップする
 - (1) 他のロータリークラブ、仮クラブ、または他のロータリークラブの衛星クラブのいずれかの例会の少なくとも 60 パーセントに出席すること。
 - (2) 他クラブまたは他クラブの衛星クラブの例会に出席の目的をもって定刻に会場に赴いたとき、当該クラブが、定例の時間または場所において例会を開いていなかった場合。
 - (3) 理事会承認のクラブの奉仕プロジェクトまたはクラブが提唱した地域社会の行事や会合に出席すること。
 - (4) 理事会の会合、または理事会が承認した場合、選任された奉仕委員会の会合に出席すること。
 - (5) クラブのウェブサイトを通じて、オンラインの会合または参加型活動に参加すること。
 - (6) ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、ロータリー地域社会共同隊、ロータリー親睦活動、あるいは仮ローターアクトクラブ、仮インターアクトクラブ、仮ロータリー地域社会共同隊、仮ロータリー親睦活動の例会に出席すること。または
 - (7) RI 国際大会、規定審議会、国際協議会、ロータリー研究会、RI 理事会または RI 会長の承認を得て招集された会合、合同ゾーン大会、RI 委員会会合、地区大会、地区研修・協議会、RI 理事会の指示の下に開催された地区会合、ガバナーの指示の下に開催された地区委員会、または正式に公表されたクラブの都市連合会に出席すること。

第 2 節 — 遠方での勤務中の長期の欠席。

会員が長期にわたって遠方で業務に従事している場合、会員の所属クラブと転勤先の指定クラブが合意していれば、会員は、転勤先における指定クラブの例会への出席が所属クラブの出席の代わりとなる。

第 3 節 — その他のロータリー活動による欠席。

欠席のメイクアップが必要とされないのは、会合のときに、会員が

- (a) 第 (1)(d)(7) 節に挙げた会合の一つに出席するため、適切な直行日程による往復の途次にある場合。
- (b) 役員または RI 委員会の委員、TRF 管理委員として、ロータリーの職務に携わっている場合。
- (c) ガバナーの特別代表として、新クラブ結成中、ロータリーの職務に携わっている場合。
- (d) RI に雇用されている者が、ロータリーの職務に携わっている場合。
- (e) メイクアップすることができないような僻遠の地で、地区、RI、または TRF の提唱する奉仕プロジェクトに直接かつ積極的に従事している場合。または
- (f) 理事会が正当に承認したロータリー職務に従事していて、例会に出席できない場合。

第 4 節 — RI 役員の欠席。

会員が現役の RI 役員または現役の RI 役員の配偶者／パートナーである場合、出席規定の適用は免除されるものとする。

第 5 節 — 出席規定の免除。

次のような場合、出席規定の適用は免除されるものとする。

- (a) 理事会は、正当かつ十分な理由、条件、および状況によるものを承認する。このような出

席規定の適用の免除は、最長 12 カ月間までとする。ただし、健康上の理由、子どもの誕生または養子縁組の後、または里親期間中に欠席となる場合は、理事会が当初の 12 カ月を超えて延長することができる。

- (b) 一つまたは複数のロータリークラブのロータリー歴と会員の年齢の合計が 85 年以上であり、少なくとも 20 年のロータリアン歴があり、出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもって、クラブ幹事に通告し、これらの要件が満たされているかのみが考慮に入れられた場合。

第 6 節 — 出席の記録。

本条第 5 節 (a) の下に出席規定の適用を免除された会員がクラブ例会を欠席した場合、その会員と会員の欠席は、出席記録に含まれないものとする。本条第 4 節または第 5 節 (b) の下に出席規定の適用を免除された会員がクラブ例会に出席した場合、その会員と会員の出席は、本クラブの出席率の算出に使う会員数と出席者数に含まれるものとする。

第 7 節 — 例外。

細則は、第 10 条に従わない規定を含めることができる。

第 11 条 理事および役員および委員会

第 1 節 — 管理主体。

本クラブの管理主体は、細則に規定される理事会である。

第 2 節 — 権限。

理事会は全役員および全委員会に対して総括的管理権を持ち、正当な理由がある場合は、そのいずれをも罷免することができる。

第 3 節 — 理事会による最終決定。

クラブのあらゆる事項に関して、理事会の決定は最終的なものであって、クラブに対して提訴する以外にはこれを覆す余地はない。しかしながら、理事会が会員身分の終結の決定をした場合、会員は第 13 条第 6 節の規定に従って、クラブに提訴するか、調停または仲裁に訴えることができる。理事会の決定を覆すための提訴は、理事会が指定した例会において、定足数の出席を得て、その出席会員の 3 分の 2 の投票を必要とする。そして、当該例会の少なくとも 5 日前に、幹事が当該提訴の予告を各会員に対して与えていなければならない。提訴に対するクラブの決定が最終決定である。

第 4 節 — 役員。

クラブの役員は、会長、直前会長、会長エレクト、幹事、会計とし、1 名または数名の副会長も役員に含めることができ、これら全員を理事会メンバーとする。また、会場監督も役員であるが、細則が定める場合、理事会のメンバーとすることができる。各役員と理事は、本クラブの瑕疵なき会員であるものとする。クラブ役員は定期的に衛星クラブの例会に出席するものとする。

第 5 節 — 役員選挙。

- (a) 会長を除く役員の任期。各役員はクラブ細則の定めるところに従って選挙されるものとする。会長を除き、各役員は選挙された直後の 7 月 1 日に就任し、選挙された任期中または後任者が選挙されかつ適格となるまで在任する。
- (b) 会長の任期。会長ノミニーは、細則の定めるところに従って、会長として就任する日の直前 18 カ月以上 2 年以内に選挙されるものとする。会長ノミニーは、会長として就任する前の年度の 7 月 1 日に、会長エレクトになる。会長は、7 月 1 日に就任し、1 年間、その職務に当たる。後任者が選挙されない場合、現会長の任期は最長 1 年間延長される。
- (c) 会長の資格要件。クラブ会長の候補者は、ガバナーが 1 年未満であってもこの要件を満たしていると判断しない限り、指名に先立つ少なくとも 1 年間、本クラブの会員でなければな

らない。会長エレクトは、ガバナーエレクトから特に免除されない限り、会長エレクト研修セミナーと地区研修・協議会に出席するものとする。免除された場合は、会長エレクトがクラブから代理の者を派遣するものとする。会長エレクトが、ガバナーエレクトからの免除を受けずに、会長エレクト研修セミナーおよび研修・協議会に出席しない場合、あるいは、免除されてもクラブの代理をこれらの会合に派遣しなかった場合、かかる会長エレクトはクラブ会長に就任しないものとする。その場合、会長エレクト研修セミナーおよび研修・協議会、もしくはガバナーエレクトが十分であるとみなした研修に出席した後任者が選挙されるまで、現会長が継続してクラブ会長を務めるものとする。

第6節 — 委員会。

本クラブは次の委員会を有すべきである。

- (a) クラブ管理運営
- (b) 会員増強
- (c) 公共イメージ
- (d) ロータリー財団、および
- (e) 奉仕プロジェクト

理事会または会長は、必要に応じて追加の委員会を任命できる。

第12条 会費

すべての会員は、細則の定める年会費を納入するものとする。

第13条 会員身分の存続

第1節 — 期間。

会員身分は、以下に定めるところによって終結しない限り、本クラブの存する間存続するものとする。

第2節 — 自動的終結。

会員が、会員資格条件に欠けるようになったとき、会員身分は自動的に終結するものとする。

- (a) 再入会。瑕疵なき会員の会員身分が終結した場合、その人物は同じ職業分類または別の事業、専門職務、職業、社会奉仕、その他の職業分類の下に、再度新たに入会申込をすることができる。
- (b) 名誉会員の会員身分の終結。名誉会員の会員身分は、延長されない限り、理事会が決定した期間の終了をもって自動的に終結する。理事会はいつでも名誉会員の身分を取り消すことができる。

第3節 — 終結 — 会費不払。

- (a) 手続。期日後30日以内に会費を納入しない会員に対しては、幹事が、書面をもって催告するものとする。催告後10日以内に会費が納入されなければ、理事会はその裁量によって会員身分を終結することができる。
- (b) 復帰。理事会は、元会員が要請し、クラブに対するすべての負債を支払った場合、元会員を会員身分に復帰させることができる。

第4節 — 終結 — 欠席。

- (a) 出席率。会員は、
 - (1) メークアップを含むクラブ例会または衛星クラブ例会の出席率が少なくとも50パーセントに達しているか、年度の各半期間にクラブのプロジェクト、行事、その他の活動に少なくとも12時間参加しているか、または、バランスの取れた割合でその両方を満たしていなければならない。および

-
- (2) 年度の各半期間に、本クラブまたは衛星クラブの例会総数のうち少なくとも 30 パーセントに出席、またはクラブのプロジェクト、行事、その他の活動に参加しなければならない (RI 理事会によって定義されたガバナー補佐は、この義務を免除されるものとする)。

規定通り出席できない会員は、理事会が正当かつ十分な理由があると認めない限り、会員身分を終結されることがある。

- (b) 連続欠席。理事会が正当かつ十分な理由があると認めない限り、または第 10 条第 4 節もしくは第 5 節に従う場合を除き、連続 4 回例会に出席せず、またメイクアップもしていない場合、その欠席がクラブ会員身分の終結を要請していると考えられることができる。理事会が会員に通知した後、理事会は、過半数によって、会員の会員身分を終結することができる。

- (c) 例外。細則は、第 13 条第 4 節に従わない規定を含めることができる。

第 5 節 — 終結 — その他の理由。

- (a) 正当な理由。理事会は、いずれの会員も、クラブの会員としての資格条件に欠けるようになった場合、もしくは他に十分と認められる根拠があれば、特にその目的のために招集された理事会の会合において、出席し投票した全理事の 3 分の 2 以上の賛成投票によって、その会員身分を終結することができる。本会合の指針となる原則は、第 8 条の第 1 節、「四つのテスト」、およびロータリアンの高い倫理基準とする。
- (b) 通知。理事会が本節 (a) 項の下に決定する前に、当該会員は、少なくとも 10 日間の予告を書面によって与えられ、理事会に対して書面にて回答する機会を与えられるものとする。かかる予告の通達は、配達証明便または書留郵便によって、分かっている最新の宛先に送付されるものとする。会員は、理事会に出頭して、自分の立場を釈明する権利を持つ。

第 6 節 — 会員身分の終結に提訴、調停または仲裁を求める権利。

- (a) 通知。幹事は、理事会決定後 7 日以内に、その理事会の会員身分を終結または保留させる決定を、書面で会員に通知するものとする。その会員は通告後 14 日以内に、幹事に対する書面をもって、クラブに提訴するか、または調停もしくは仲裁に訴えるかを通告することができる。調停または仲裁の手続は第 17 条に規定されている。
- (b) 提訴。提訴する場合は、提訴を通告する書面を受理してから 21 日以内に行われるクラブの例会において、当該聴聞を行うために、理事会はその日取りを決定するものとする。例会およびその例会で行う特別案件について、少なくとも 5 日間の予告が、書面をもって、全会員宛に与えられるものとする。提訴が聴聞される場合には、会員のみが出席するものとする。クラブの決定が最終決定であり、当事者すべてに拘束力のあるものとなり、仲裁を要求することはできない。

第 7 節 — 理事会による最終決定。

もしクラブに対する提訴も行われず、仲裁も要求されなかった場合、理事会の決定は最終決定となるものとする。

第 8 節 — 退会。

会員の本クラブからの退会の申出は会長または幹事宛に書面をもって行い、理事会が受理するものとする。ただし、当該会員が本クラブに負債がある場合を除く。

第 9 節 — 資産関与権の喪失。

いかなる理由にせよ、本クラブの会員身分を終結された者は、本クラブに入会した時点で地元の法律の下でその会員が何らかの権利を得ていた場合、本クラブのいかなる資金またはその他の財産に対しても、あらゆる関与権を喪失するものとする。

第 10 節 — 一時保留。

本定款のいかなる規定にもかかわらず、理事会の見解において、

-
- (a) 会員が、本定款に従うことを拒否または怠った、あるいは会員としてふさわしくない振舞い、またはクラブに害をもたらすような振舞いをしたという信憑性のある告発があった場合、および、
 - (b) これらの告発が立証された場合、当該会員の会員身分を終結するのに正当な理由となる場合、および、
 - (c) 当該会員の会員身分に関していかなる措置も取るべきではなく、その結果を待つ間、または理事会が適切と考える措置が最初に取りられるべきである場合、および、
 - (d) 当該会員の会員身分に対する票決を取ることなく、当該会員の会員身分を一時保留とし、当該会員が例会やそのほかのクラブの活動への出席や、いかなる役職や任務からも除外することがクラブの最善の利益となる場合、理事会は、その3分の2以上の賛成票によって、理事会の決定する妥当な期間（ただし最大90日間）と理事会が定めたその他の条件に従い、会員の会員身分を一時保留とすることができる。一時保留とされた会員は、本条第6節に定められる通り、一時保留について提訴する、または調停や仲裁を求めることができる。一時保留期間中、当該会員は出席要件を免除されるものとする。理事会は、一時保留期間が終了する前に、一時保留となっているロータリアンの会員身分を終結する手続きを取るか、通常の会員身分に復帰させなければならない。

第14条 地域社会、国家、および国際問題

第1節 — 適切な主題。

地域社会、国家および世界の福祉にかかわる公共問題は、クラブ会合における公正かつ理解を深める討議の対象として適切な主題である。しかしながら、クラブは、いかなる係争中の公共問題についても意見を表明しないものとする。

第2節 — 支持の禁止。

本クラブは、公職に対するいかなる候補者も支持または推薦しないものとする。またいかなるクラブ会合においても、かかる候補者の長所または短所を討議しないものとする。

第3節 — 政治的主題の禁止。

- (a) 決議および見解。本クラブは、政治的性質をもった世界問題または国際政策に関して、決議ないし見解を採択したり配布したりしないものとする。またこれに関して行動を起こさないものとする。
- (b) 嘆願。本クラブは、政治的性質をもった特定の国際問題の解決のために、クラブ、国民、政府に対して嘆願しないものとする。また書状、演説、提案を配付しないものとする。

第4節 — ロータリーの発祥を記念して。

ロータリアンの創立記念日、2月23日の週は、世界理解と平和週間である。この1週間、本クラブはロータリアンの奉仕を祝い、これまでの業績を振り返り、地域社会と世界中で平和、理解、親善のためのプログラムに重点を置く。

第15条 ロータリーの雑誌

第1節 — 購読義務。

本クラブがRI理事会によって免除されていない限り、各会員は、機関雑誌を購読するものとする。同じ住所に住む二名のロータリアンは、機関雑誌を合同で購読することができる。購読は本クラブの会員となっている限り継続し、購読料は理事会が決定した人頭分担金の支払日に支払われるものとする。

第2節 — 購読料。

購読料は、クラブが各会員から事前に徴収し、RIまたはRI理事会が決定した通り、購読する地

域雑誌の事務所に送金するものとする。

第16条 ロータリーの目的の受諾と定款・細則の順守

会員は、会費を支払うことによって、ロータリーの目的の中に示されたロータリーの原則を受諾し、クラブ定款・細則を順守し、これに拘束されることを受諾する。これらの条件の下においてのみ、会員は、本クラブの特典を受けることができる。各会員は、クラブ定款・細則の文書を受け取ったかどうかにかかわらず、定款・細則の条項に従うものとする。

第17条 仲裁および調停

第1節 意見の相反。

現会員または元会員と本クラブ、クラブ役員、または理事会との間の意見の食い違いは、理事会の決定を除き、論争当事者のいずれかが幹事に要請し、調停または仲裁によって解決を図るものとする。

第2節 調停または仲裁の期限。

要請を受理してから21日以内に、理事会は論争当事者と協議して、調停または仲裁の日取りを決定するものとする。

第3節 調停。

調停の手続きは、

- (a) 国もしくは州に対し管轄権を有する関係当局によって認められたもの、または
 - (b) 代替の争議の解決方法を含む専門知識に定評のある優れた専門職団体によって推薦されたもの、または
 - (c) RI理事会もしくはTRF管理委員会が定めた指針文書において勧められるものとする。
- ロータリアンのみが調停人となることができる。クラブは、適切な調停技能と経験を有する調停人を任命するようガバナーもしくはガバナーの代理人に依頼することができる。
- (a) 調停の結果。調停後に論争当事者が合意に達した結果もしくは決定は、記録されるものとし、各当事者、調停人、および理事会に記録を1部ずつ提出するものとする。クラブへの情報提供のために、当事者が承諾できる要約文を作成するものとする。論争当事者の一者が調停内容を十分に履行しなかった場合、いずれの論争当事者も会長または幹事を通じて、さらに調停を要請することができる。
 - (b) 調停の失敗。調停を要求したが、調停が失敗した場合、論争当事者は本条の第1節に定める仲裁に訴えることができる。

第4節 仲裁。

仲裁が要求された場合、両論争当事者はそれぞれ1名のロータリアンを仲裁人として指定し、両仲裁人は1名のロータリアンを裁定人として指定するものとする。

第5節 仲裁人または裁定人の決定。

仲裁人によって下された決定もしくは両仲裁人が合意に達し得なかった場合、裁定人による決定が最終であって、当事者すべてに拘束力のあるものとなり、提訴することはできない。

第18条 細則

本クラブは、RI定款・細則、RIによって管理上の地域単位が認められている場合には、その手続規則、および本定款と合致する細則を採用するものとし、細則は、本クラブの管理のために、さらに追加規定を設けるものとする。細則は、その規定に従い、改正することができる。

第19条 改正

第1節 改正の方法。

本条第2節に規定されている場合を除き、本定款は、規定審議会における投票者の過半数の賛成票によってのみ改正できる。

第2節 第2条と第4条の改正。

第2条(名称)および第4条(クラブの所在地)は、定足数を満たした数の会員が出席したクラブの例会においていつでも、全投票会員の最低3分の2の賛成投票によって、改正することができる。改正案の通告は、その例会の少なくとも21日前に、各会員およびガバナーに郵送されるものとする。改正は、RI理事会に提出するものとし、承認された時に初めてその改正は効力を発する。ガバナーは、提出された改正案に関してRI理事会に意見を提出することができる。

※ 2022年度 手続き要覧に基づき変更

越谷ロータリークラブ細則

第1条 定義

本条の語句は、本細則で使われる場合、他に明確に規定されない限り、次の意味を持つものとする。

1. 理事会 本クラブの理事会は、役員、および10名の理事で構成される。
2. 理事 本クラブの役員および理事会メンバーをいう。
3. 役員 会長、会長エレクト、副会長、幹事、会計、会場監督および直前会長をいう。
4. 会員 名誉会員以外の本クラブ会員をいう。
5. R I 国際ロータリーをいう。
6. 年度 7月1日に始まる12ヶ月間とする。
7. 次年度理事会 会長エレクト、次々年度会長（会長ノミネーという）、次年度役員、会長及び10名の次年度理事で構成される。
8. 被選理事会 次々年度会長、次年度役員（ただし、会場監督を除く）および10名の次年度理事が選出されてから1週間以内に、次年度会長が開く次年度理事会をいう。

第2条 理事会

本クラブの管理主体は、本クラブの会員17名により構成する理事会とする。すなわち本細則第3条第1節に基づいて選挙された10名の理事、会長、副会長、会長エレクト（または、後任者が選挙されていない場合は会長ノミネー）、幹事、直前会長および会計と、被選理事会により選出された会場監督で構成される。

第3条 理事および役員の選出

第1節

次年度理事および役員（ただし会場監督を除く）を選出すべき会合（年次総会）の1か月前の例会において、その議長たる役員は、会員に対して、次々年度会長、次年度副会長、同幹事、同会計および10名の同理事を指名することを求めなければならない。

その指名は、別に定める指名委員会設置準則に従って、指名委員会によって行う。指名された次年度役員（会場監督を除く）および同理事は、年次総会において、出席者の過半数の承認をもって、それぞれ該当する役職に当選したものとする。

前記の投票によって選出された次々年度会長は、会長ノミネーとなるものとし、その選出の後の次の7月1日に始まる年度に、会長ノミネーのまま理事会のメンバーを務め、理事会のメンバーを務めた年度直後の7月1日に、会長に就任するものとする。会長ノミネーは、後任者の選出が行なわれた後に、会長エレクトの役職名が与えられるものとする。

第2節

選出された次年度役員および同理事に、次年度会長および直前会長を加えて被選理事会を構成するものとする。

次年度会長は、次年度役員および同理事が選出されてから1週間以内に被選理事会を開催し、クラブ会員の中から役員たる会場監督を務める者を選任しなければならない。

第3節

理事会またはその他の役職に生じた欠員は、指名委員会の指名により選出された役員もしくは理事によって補填すべきものとする。ただし、その直後の例会に報告し、同例会において、承諾

を経ることを要する。

第4条 役員の任務

第1節 会長

本クラブの会合および理事会の会合において議長を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって会長の任務とする。

第2節 会長エレクト

会長エレクトは理事会のメンバーとしての任務およびその他会長または理事会によって定められる任務を行うものとする。

第3節 副会長

会長不在の場合は本クラブの会合および理事会の会合において議長を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって副会長の任務とする。

第4節 幹事

幹事の任務は、会員の記録を整理保管し、会合における出席を記録し、クラブ、理事会および委員会の諸会合の通知を発送し、これらの会合の議事録をつくってこれを保管するほか、下記の任務を行う。

(1) RI事務総長に対し、次の報告を行う。

- ① 毎年1月1日および7月1日現在の半期会員報告
- ② 半期報告を提出した7月1日または1月1日よりも後にクラブ会員に選ばれた正会員について10月1日と4月1日現在の四半期会員報告
- ③ 資格変更報告
- ④ 毎月1日迄に前月分の会員数報告および活動報告並びにR財団寄付報告を地区ガバナーに対して行わなければならない。月次出席報告(毎月1日迄に提出)を含む諸種の義務報告

(2) RI公式雑誌の購読料を徴収してこれをRIに送金する。

(3) その他通常その職に付随する任務。

第5節 会計

会計の任務は、すべての資金を管理保管し、毎年1回およびその他理事会の要求あるごとにその説明を行い、その他通常その職に付随する任務を行う。その職を去るに当たっては、会計はその保管するすべての資金、会計帳簿、その他あらゆるクラブの財産を、その後任者または会長に引き継がなければならない。

第6節 会場監督

会場監督の任務は、通常その職に付随する任務、およびその他会長または理事会によって定められる任務とする。

第7節 直前会長

直前会長の任務は、前年度の事業活動等の経験を踏まえて、理事会の審議に助言・指導相談を行う事を任務とする。

第5条 会合

第1節 年次総会

本クラブの年次総会は、毎年12月30日以前に開催されるものとする。この年次総会において、次年度の役員(ただし、会場監督・直前会長を除く)および同理事の選出を行わなければならない。

第2節

本クラブの毎週の例会は、火曜日12時30分に開催するものとする。

例会に関するあらゆる変更または例会の取消は、クラブの会員すべてに然るべく通告されなければならない。本クラブの会員はすべて、名誉会員（または越谷ロータリー・クラブ定款第10条第5節（b）項の規定にもとづき、出席を免除された会員）を除き、例会の当日、その出席または欠席が記録される。その出席は、本クラブまたは他のロータリー・クラブにおいて、その例会に充当された時間の少なくとも60パーセントに出席していたことが実証されるか、もしくは越谷ロータリー・クラブ定款第10条第1節の別段の規定によるものでなければならない。

第3節

越谷ロータリークラブ定款第10条第1節（d）項の規定にかかわらず、会員は、例会欠席した場合、例会の前後いずれも14日以内に欠席をメイクアップしなければならない。

第4節

本クラブの年次総会および例会の定足数は、会員総数の3分の1以上とする。

第5節

定例理事会は、毎月1回開催されるものとする。理事会は、会長が必要ありと認めるとき、または2名以上の役員もしくは理事からの要求があるときは、会長によって招集されるものとする。ただしその場合合理的なべき予告が行われなければならない。

第6節

理事会の定足数は、役員および理事の過半数とする。

第6条 入会金および会費

第1節

入会金は8万円とし、入会承認に先んじて納入すべきものとする。ただし、以下に該当する新会員の入会金については、これを4万円とする。

- ①会社勤務者の転勤に伴う同一会社の社員
- ②会員（かつて会員だった者も含む）の配偶者
- ③会員（かつて会員だった者も含む）の二親等以内の血族

第2節

会費は年額28万円とし、各半年ごとの各支払額のうちの一部は、各会員のRI公式雑誌の購読料に充当するという了解の下に、毎年2回7月1日および1月1日に各14万円を納入すべきものとする。ただし、年度の上半期の期限内に満80歳を超え、本人の申出がありかつ理事会で承認をした会員の会費は年額18万円とし、納入方法その他は同様とする。年度の下半期の期限内に満80歳を超え、本人の申出がありかつ理事会で承認した会員の下半期の会費は9万円とし、納入方法その他は同様とする。

第7条 採決の方法

本クラブの議事は、次年度役員および同理事を選出する場合を除き、口頭による採決をもって処理されるものとする。理事会は、特定の決議案を、口頭ではなく投票により処理することを決定することができる。

（注：口頭による採決とは、クラブの投票が発声方式での同意によって行われた場合と定義する）

第8条 五大奉仕部門

五大奉仕部門は、本クラブの活動のための理念と実践の枠組みである。それは、クラブ

奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、および青少年奉仕である。本クラブは、五大奉仕部門の各部門に積極的に取り組むこととする。

第9条 委員会

第1節 基本理念

クラブ委員会は、五大奉仕部門の理念に基づいた年次および長期的な目標を、推進する責任を持つ。

会長、会長エレクトおよび直前会長は、五大奉仕部門の理念に基づき、指導の継続と計画の引継ぎを確保するために、協力すべきである。年次および長期的な目標の一貫性を保持するため、実行可能であれば、委員会の委員は、同じ委員会に3年間留任されるべきである。

会長エレクトは、任期が始まる前に、委員会の空席を補填するために委員を任命し、委員会委員長を任命し、企画会議を設ける責務がある。会長エレクトは、委員長を任命するに当たり、当該委員会委員としての経験を有する者のなかから任命することが推奨される。

第2節 常設委員会

会長は、理事会の承認の下に、次の常設委員会を設置しなければならない。

- ・クラブ管理運営委員会

この委員会は、本クラブの効果的な運営に関連する活動を実施する。

- ・公共イメージ委員会

この委員会は、一般の人々に対してロータリーについての情報を提供するほか、本クラブの奉仕プロジェクトと奉仕活動を推進する計画を立て、実施する。

- ・会員増強維持委員会

この委員会は、会員の勧誘と退会防止に関する包括的な計画を立て、実施する。

- ・奉仕プロジェクト委員会

この委員会は、地元地域社会および他国の地域社会における積極的平和を目指し、これらのニーズに応える目的の、教育的、人道的および職業的奉仕プロジェクトを企画し、実施する。

- ・米山記念奨学委員会

この委員会は、資金的寄付と奉仕プログラムへの参加を通じて、米山奨学金財団を支援する計画を立て、実施する。

- ・ロータリー財団委員会

この委員会は、資金的寄付と奉仕プログラムへの参加を通じて、ロータリー財団を支援する計画を立て、実施する。

第3節 各種委員会

会長は、前節に記載する常設委員会のほか、必要に応じて特定の分野を担当する次の委員会を設けることができる。

- ・親睦活動委員会

この委員会は、会員間の好意と友情の交流を増進し、企画されたレクリエーションあるいは社交的諸活動への参加を会員に奨励し、並びに本クラブの一般目的の遂行上会長または理事会が課する任務を、果たすものとする。

- ・プログラム委員会

この委員会は、本クラブの例会および臨時の会合のためのプログラムを準備し、手配しなければならない。

- ・ロータリー情報委員会

この委員会は、新入会員にロータリー・クラブ会員の特典と責務に関する情報および資料を提供し、入会してから最初の1年間、オリエンテーリングを監督するものとする。また、会員に対し、あらゆるレベルのロータリーの歴史、綱領、活動に関する情報を提供しなければならない。

・出席委員会

この委員会は、すべてのクラブ会員があらゆるロータリーの会合に出席すること(これには、地区大会、都市連合会(IM)、地域大会および国際大会への出席も含まれる)を奨励する方法を考案するものとする。この委員会は、特に本クラブの例会への出席と、本クラブの例会に出席できない場合の他クラブの例会への出席とを奨励し、全会員に出席規定を周知せしめ、出席をよくするためのより良き奨励策を講じ、そして出席不良の原因となる諸事情を確かめてこれを除去することに努めなければならない。

・会場運営委員会

この委員会は、例会場の設営並びに例会の司会進行を担当し、例会場に掲示する国旗・ロータリー旗・RI スローガン・月間プログラム掲示板・ロータリーソング掲示板および点鐘セット並びに電子ピアノを保管し、移動例会においてこれらの搬送を管理し、例会が円滑に進行するよう努めなければならない。

・スマイル委員会

この委員会は、例会における会員からのスマイルを受理し、入金を管理し、必要に応じて例会場でスマイルメッセージおよび金額を発表し、年度内のスマイル金額を掌理する。

・長期計画委員会(クラブ活性化・戦略計画推進含む)

この委員会は、ロータリークラブの崇高な理念を地域社会に広め、奉仕の機会を広く推進するとともに、クラブの活性化および組織の強化を図り、魅力あるクラブとするための、長期的な計画を提言することに努めなければならない。

・クラブ会報委員会

この委員会は、クラブ週報の刊行によって、関心を促して出席の向上を図り、近づく例会のプログラムを発表し、前回の例会の重要事項を報告し、親睦を増進し、全会員のロータリー教育に寄与し、クラブ、会員および世界各地のロータリープログラムに関するニュースを伝えることに努めなければならない。

・雑誌広報委員会

この委員会は、ロータリアン誌に対する読者の関心を喚起し、雑誌月間を主催し、クラブの例会プログラムにおいて毎月雑誌の簡単な紹介を手配し、新会員の教化に雑誌を利用することを奨励し、ロータリアンでない講演者に雑誌を贈呈し、図書館、病院、学校その他の図書閲覧室のために国際奉仕並びにその他の特別購読を取り計らい、ニュース資料と写真を雑誌編集者に送り、その他あらゆる方法によって、雑誌を本クラブ会員およびロータリアン以外の人々に役立てるものとする。

さらに、広く一般世間に、ロータリーの歴史、綱領および規模に関する情報を提供し、本クラブのために適切な宣伝を行う方策を考案しこれを実施するものとする。

・会員構成委員会

この委員会は、毎年できるだけ早く、少なくとも8月31日以前にその他の地域社会の職業分類調査を行わなければならない。その調査から、職業分類の原則を適用し、充填未充填職業分類表を作成しなければならない。必要な場合は、本クラブの現会員の持っている職業分類を再検討しなければならない。そして、あらゆる職業分類の問題について理事会和協議しなければならない。

・会員選考委員会

この委員会は、会員に推薦されたすべての者を、個人的な面から検討して、その人格、職業上および社会的地位並びに一般的な適格性を徹底的に調査しなければならない。そしてすべての入会申込に対する委員会の決定を理事会に報告しなければならない。

・職業奉仕委員会（健康増進含む）

この委員会は、本クラブの会員が、その職業関係における諸責務を遂行し、各会員それぞれの職業における慣行の一般水準を引き上げる上に役立つ指導と援助を与えるような方策を考案し、これを実施するものとする。この委員会の委員長は、本クラブの職業奉仕活動に責任をもち、職業奉仕の諸特定分野について設置されるあらゆる委員会の仕事を監督しこれを調整するものとする。

・社会奉仕委員会（ブライダル含む）

この委員会は、本クラブの会員がその地域社会における積極的平和を目指し、これに対する諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案し、これを実施するものとする。

・国際奉仕委員会（姉妹クラブ・友好クラブ含む）

この委員会は、本クラブの会員が、国際奉仕に関する事柄においてその諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案し、これを実施するものとする。また、本クラブの国際奉仕活動に責任をもち、国際奉仕の諸特定分野について設置されるあらゆる委員会の仕事を監督し、これを調整するものとする。

・青少年奉仕委員会（青少年・ローターアクト含む）

この委員会は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、積極的世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年並びに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識し、交換留学生・青少年育成・ローターアクトの指導・援助に資する活動を実施するものとする。

第4節

会員構成委員会およびロータリー情報委員会は、各々3名の委員をもって構成されるものとし、それぞれ毎年1名の委員を3年の任期をもって任命するものとする。

第5節 特別委員会

会長は、その必要ありと認めた場合、特定分野を担当する委員会を設置することができる。

第6節

各委員会の活動は、本クラブの定款および細則に定めるほか、以下の準則に従って行う。

- (1) 会長は、職権上すべての委員会の委員となるものとし、その資格において委員会に付随するあらゆる特典をもつものとする。
- (2) 委員会は、本細則によって付託された職務のほか、これに加えて会長または理事会が付託する事項を処理する。ただし、委員会は、理事会によって特別の権限を与えられた場合を除き、理事会に報告してその承認を得るまでは、行動してはならない。
- (3) それぞれの委員長は、その委員会の定例会合に対して責任をもち、委員会の仕事を監督、調整する任務をもち、委員会の全活動について理事会に報告するものとする。

第10条 委員会の任務

会長は、その任期中の諸委員会の任務を確定し、評価するものとする。会長は、各委員会の任務を発表するにあたり、既存の適切なRI文書を参照するものとする。奉仕プロジェクト委員会は、その年度計画を考案する際、職業奉仕、社会奉仕および国際奉仕の各部門の活動を考慮することと

する。

それぞれの委員会は、具体的な権限、明確な目標、および各年度の初めにその年度内に実施する行動計画を設定するものとする。

上述の通り、ロータリー年度の開始に先立ち、クラブ委員会のための推奨事項、委託任務、目標、計画に関し理事会に対し説明発表するための準備を整えるにあたり、必要な指導を施すのは会長エレクトの主要責務である。

第11条 出席義務規定の免除

会員は、越谷ロータリー・クラブ定款第10条第2節および同条第3節並びに同条第4節と同条第5節および第6節に該当する場合を除くほか、理事会に対して、書面をもって、正当かつ十分な理由を具して申請することによって、出席義務規定の免除が与えられ、一定期間を限り本クラブの例会出席を免除される。

第12条 財務

第1節

理事会は、各会計年度の開始に先立ち、その年度の収支の予算を作成しなければならない。その予算は、これらの費目に対する支出の限度となるものとする。ただし、理事会の議決によって別段の指示がなされた場合はこの限りでない。予算は2つの部分に分けられるものとする。すなわち、クラブ運営に関する予算と、慈善・奉仕活動運営に関する予算である。

第2節

会計は、本クラブの資金を、すべて理事会によって指定される銀行に預金しなければならない。クラブ資金は、2つの部分に分けられるものとする。すなわち、クラブ運営と奉仕プロジェクトに関する資金である。

第3節

すべての勘定書は、役員理事2名の署名する伝票に基づき、適切な方法で支払われるものとする。

第4節

すべての資金業務処理は、毎年1回有資格者によって、全面的な監査が行われるものとする。

第5節

資金を預りあるいはこれを取り扱う役員は、本クラブの資金の安全保管のために理事会が要求する場合に限り、保証を提供しなければならない。保証の費用は本クラブが負担するものとする。

第6節

本クラブの会計年度は、7月1日より翌年6月30日に至る1年間とし、会費徴収の目的のために、これを7月1日より12月31日に至る期間および1月1日より6月30日に至る期間の、二半期に分けるものとする。人頭分担金とRI公式雑誌購読料の支払は、毎年7月1日および1月1日に、それぞれ当日の本クラブ会員数に基づいて行われるものとする。

第13条 入会の方法

第1節

本クラブの正会員によって推薦された会員候補者の氏名は、書面（推薦状）をもって、本クラブ幹事を通じ、理事会に提出されるものとする。尚、本クラブ以外の正会員（他クラブ）からの推薦がある場合、本クラブの正会員の書面（推薦状）をもって、本クラブ幹事を通じ、理事会に提出することができる。

第2節

理事会は、その被推薦者が本クラブの職業分類と会員資格の条件をすべて満たしていることを、確認しなければならない。

第3節

理事会は、推薦状の提出後 30 日以内にその承認または不承認を決定し、これをクラブ幹事を通じて、推薦者に通告しなければならない。

第4節

会長は、理事会の決定が肯定的であった場合は、被推薦者に対し、ロータリーの目的および会員の特典と義務について説明しなければならない。

第5節

会長は、前節の説明の後、被推薦者に対し、会員申込用紙に署名を求め、また、本人の氏名および本人に予定されている職業分類をクラブに発表することについて、理事会の承諾を求めなければならない。

第6節

被推薦者についての発表後 7 日以内に、会員（名誉会員を除く）の誰からも、推薦に対し、理由を付記した書面による異議の申し立てがなかった場合は、本細則に定める入会金を納めることにより、会員に選ばれたものとみなされる。

理事会に対し異議の申し立てがあった場合は、理事会は、次の理事会において、この件について票決を行うものとする。この理事会で入会が承認された場合は、被推薦者は、所定の入会金を納めることにより、クラブ会員に選ばれたものとみなされる。

第7節

この入会手続後に、会長は、当該会員の入会式を行い、幹事は、当該会員に対して会員証を発行し、新会員に関する情報を R I に報告する。ロータリー情報委員会は、入会式で新会員に贈呈する適切な資料を提供し、当該新会員がクラブに溶け込めるよう援助する会員を 1 名指名するものとする。

第8節 名誉会員

本クラブは、越谷ロータリー・クラブ定款第 8 条第 5 節に従い、理事会により、推薦された名誉会員を選ぶことができる。

第14条 決議

本クラブは、理事会によって審議される前に、本クラブを拘束するいかなる決議または提案も審議してはならない。もしかかる決議または提案がクラブの会合で提起されたならば、討議に付することなく理事会に付託しなければならない。

第15条 議事の順序

開会宣言

来訪者の紹介

来信、告示事項およびロータリー情報

委員会報告（もしあれば）

審議未終了議事

新規議事

スピーチその他のプログラム

閉会

第16条 改正

本細則は、定足数の出席する任意の例会において、出席会員の3分の2の賛成投票によって改正することができる。ただし、かかる改正案の予告は当該例会の少なくとも10日前に各会員に郵送されていなければならない。定款およびR Iの定款、細則と背馳するとき改正または条項追加を本細則に対して行うことはできない。

附 則 第17条

1. 2014年(平成26年)7月1日 改定
2. 2018年(平成30年)7月1日 一部改定 第6条第2節
3. 2020年(令和2年)7月1日 改定
4. 2023年(令和5年)7月1日 改定

指名委員会設置準則

新会員カウンセラー制度運用準則

越谷ロータリークラブ名誉会員選出運用準則

越谷ロータリークラブ友の会運用準則

慶弔規定

クラブ資料

指名委員会設置準則

越谷ロータリークラブ細則第3条第1節にしたがって、指名委員会を設置する場合は、下記のとおりにする。

記

第1条(構成)

指名委員会の委員(以下「委員」という)は、越谷ロータリークラブの過去会長をもって構成する。

第2条(委員長)

指名委員会委員長(以下「委員長」という)は、委員の互選とする。

第3条(委員会の開催)

委員会は、年次総会までに委員会を開催し、会長(次次年度)・副会長・幹事・会計および10名の理事を指名しなければならない。

第4条(委員長)

委員長は、指名委員会の会合において議長を務める。委員長は、委員会が指名した候補者を、年次総会においてこれを報告し、議案として提出しなければならない。

第5条(オブザーバー)

会長・幹事および会長エレクト・副幹事は、委員会にオブザーバーとして出席することができる。ただし、議決権を有しない。

付則 本準則は、2012年7月1日から施行する。

新会員カウンセラー制度運用準則

1. 本運用準則は、越谷ロータリークラブ細則第13条第7節に基づいて指名される「援助する会員」に適用される。
2. 前項の「援助する会員」を、「新会員カウンセラー」と称する。
3. 新会員カウンセラーは、ロータリー情報委員会が会員の中から1名指名する。
4. 前項により指名された新会員カウンセラーは、次の活動を担当する。
 - (1) 任期 新入会員の入会式当日から6ヶ月間
 - (2) 活動内容
 - ① 担当する新会員を例会その他の行事・委員会に誘う。
 - ② できるだけ例会日には一緒に行動する。
 - ③ 例会場では隣の席に座る。
 - ④ 新会員の質問に答える。
 - ⑤ 新会員をできるだけ多くの会員に紹介し知己を得る。
5. 会長は、例会場における新会員の入会式において、第3項で指名された新会員カウンセラーに対し委嘱状を授与する。

付則 本準則は、2011年10月11日から施行する。

越谷ロータリークラブ名誉会員選出運用準則

第1条

本運用準則は、越谷ロータリークラブ（以下「本会」という。）に在籍された会員から、本会細則第13条第8節により名誉会員を選出する場合の目安を定める。

第2条

本会会長は、以下の条件を満たす会員から退会の申し出があった場合、当該本人の希望により、理事会に当該会員を名誉会員に選任する旨の議案を提出することができる。

(1) 在籍40年

(2) 会長、幹事、委員長、地区役員その他本会の活動に著しい功績のあったこと

第3条

理事会は、前項の議案が提出された場合、当該会員の実績を考慮して、速やかに退会を承認するとともに名誉会員に選出するものとする。

第4条

本運用準則は、本会に功績があった会員が退会を希望する場合に、当該会員との交流を継続するために定められたものであり、本会定款第8条第5節により名誉会員が選出される場合を妨げるものではない。

第5条

選出された名誉会員は、本会定款第8条第5節の権利及び特典を行使することができる。

- 付則 1. 本運用準則は、2019（令和元）年6月1日から施行する。
2. 本運用準則は、2020（令和2）年7月1日から施行する。

越谷ロータリークラブ友の会運用準則

第1条（目的）

本会は、越谷ロータリークラブに在籍中に逝去された会員の配偶者との交流を継続することにより、相互間の親睦と信頼関係の維持発展を目的とする。

第2条（構成）

本会は、越谷ロータリークラブに在籍中に逝去された会員の配偶者で構成される。ただし、本人あるいは子息子女が越谷ロータリークラブの会員の場合もしくは配偶者本人から辞退の申出があったときは、この限りではない。

第3条（活動内容）

越谷ロータリークラブは、本会会員に対して、次のサービスを提供するとともに、必要に応じて情報提供をするものとする。

- | | |
|-----------|---------------------------|
| ① 週報の配布 | 原則として毎月1回郵送する |
| ② 訃報の連絡 | 越谷ロータリークラブ会員に流す訃報を同時に連絡する |
| ③ 行事案内 | 参加可能な越谷ロータリークラブ主催行事を案内する |
| ④ 会員拡大の依頼 | 知人・関係者の紹介を依頼する |
| ⑤ その他 | 会長・幹事が必要と認める事項 |

第4条（管理）

幹事は、本会会員の名簿を作成し、常に最新の名簿を調整することに務め、運用の用に供する。

第5条（会費）

本会の会費は無料とする。

- 付則 本準則は、2012年4月1日から施行する。

慶 弔 規 定

第 1 条 (総則)

この規定は会員の慶弔に関する事項について定めるものである。

第 2 条 (結婚)

会員本人又は子女が結婚したときは、下記の祝金を贈る。

ただし、会員本人が辞退したときはこの限りではない。

- | | |
|-----------|----------|
| (1) 本人のとき | 20,000 円 |
| (2) 子女のとき | 10,000 円 |

(出産)

会員本人と配偶者との間に子ども(双子以上の場合も含む)が生まれたときは、下記の祝金を贈る。

ただし、会員本人が辞退したときはこの限りではない。

10,000 円

第 3 条 (見舞金)

会員本人が傷病、火災、盗難等の災害を受けたとき、下記の見舞金を贈る。

- | | |
|---|----------|
| (1) 本人が 10 日以上入院もしくは 1 ヶ月以上の療養を要する負傷、
又は病気になったとき | 20,000 円 |
| (2) 火災、盗難などにより被害を受けたときは、その都度、理事会に於いて決定する。 | |

第 4 条 (香典)

会員本人、又はその親族が死亡したとき、下記の香典を贈る。

- | | |
|-------------------------|------------------|
| (1) 本人、又は配偶者のとき | 20,000 円と、生花 1 基 |
| (2) 父母、又は子供のとき | 10,000 円と、生花 1 基 |
| (3) 同居している 3 親等以内の親族のとき | 10,000 円 |

第 5 条 (会員相互の慶弔金)

会員又は、その親族の慶弔に関する会員相互間の慶弔金の基準は、1 万円とする。

第 6 条 (訃報の扱い)

訃報を会員に連絡する基準は次のとおりとする。

- (1) 第 4 条(香典)に該当する場合
- (2) 越谷ロータリークラブと関係が深い他クラブ会員本人もしくは、その親族で第 4 条(香典)に該当する事由が発生した場合で、会長が訃報を流すべきと判断した場合。
- (3) 前項以外の場合でも、会長において、訃報を会員に連絡したほうが会員の便に利すると判断した場合、訃報を会員連絡できるものとする。

付 則 会員の卒寿の祝金として金 5 万円を贈る。(2003-04 年度 理事会)

この規定は、2015-16 年度理事会で定め、2016 年 6 月 1 日より施行する。

クラブ概要

創 立	1961年5月9日(昭和36年)
R . I . 承 認	1961年6月19日(昭和36年) (全国450番目 / 埼玉県7番目 / 2770地区4番目)
創立当時ガバナー	田 誠 (東京・故人)
スポンサークラブ	浦和ロータリークラブ
特 別 代 表	中村弥太郎(浦和・故人)
創 立 時 区 域	越谷市全域
認 証 状 伝 達 式	1962年3月27日(昭和37年)
創 立 時 会 員 数	21名
伝 達 式 時 会 員 数	25名
事 務 所	〒343-0818 越谷市越ヶ谷本町8-7 TEL 048 (965) 0550・FAX 048 (965) 6000
例 会 日	毎週火曜日(12:30～13:30)
例 会 場	越谷産業会館内1階
会 員 数	91名(2023年7月1日現在)

拡大クラブ

1. 越谷南ロータリークラブ

創 立	1974年6月28日(昭和49年)
R . I . 承 認	1974年7月26日(昭和49年)
特 別 代 表	畔 上 計 治 (故人)
認 証 伝 達 式	1975年4月27日(昭和50年)

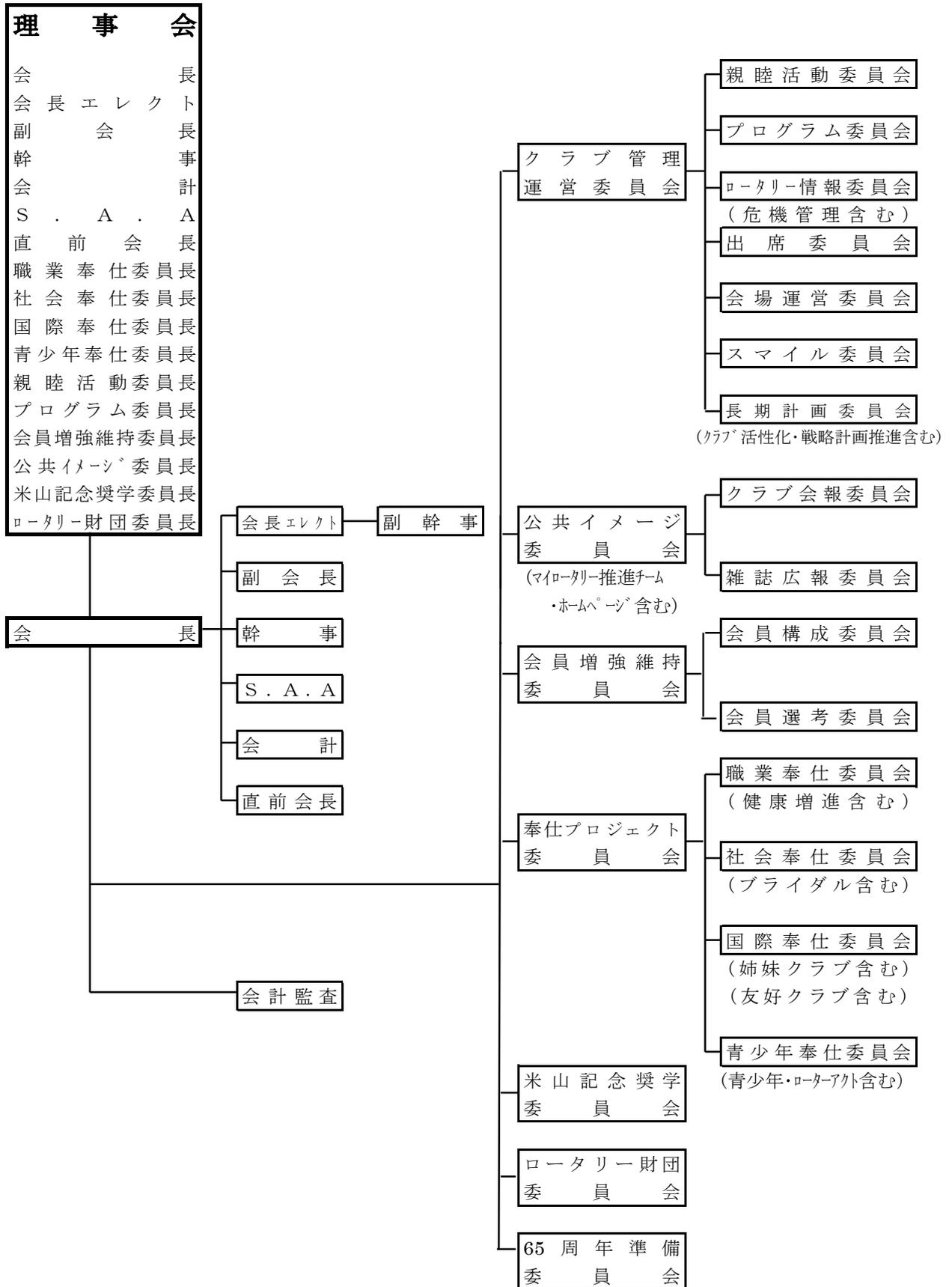
2. 越谷北ロータリークラブ

創 立	1976年5月11日(昭和51年)
R . I . 承 認	1976年5月26日(昭和51年)
特 別 代 表	桃 木 俊 平 (故人)
認 証 伝 達 式	1977年4月17日(昭和52年)

3. 越谷東ロータリークラブ

創 立	1987年5月18日(昭和62年)
R . I . 承 認	1987年6月2日(昭和62年)
特 別 代 表	坂 卷 幸 次
認 証 伝 達 式	1987年6月26日(昭和62年)

組 織 図



理事会名簿

(敬称略)

役 職	役 員 ・ 理 事		氏 名
会 長	役 員		若海 宗承
会長エレクト	役 員		森田 隆
副 会 長	役 員		豊田 高行
幹 事	役 員		中村 聡久
会 計	役 員		山本 完治
S. A. A	役 員		平田 徳久
直前会長	役 員		増元 晃
職業奉仕委員長		理 事	大沢日出夫
社会奉仕委員長		理 事	中川 訓
国際奉仕委員長		理 事	瀧田 貴夫
青少年奉仕委員長		理 事	大塚 洋幸
親睦活動委員長		理 事	江藤 真吾
プログラム委員長		理 事	近藤 正成
会員増強委員長		理 事	井橋 英蔵
公共イメージ委員長		理 事	澤幡 智史
米山記念奨学委員長		理 事	澤田 裕二
ロータリー財団委員長		理 事	松田 繁三
※ 副幹事	出席要請		横家 豪
※ 長期計画委員長	出席要請		江原 武男
※ 65周年準備委員長	出席要請		中島美三郎

地区役員名簿

(敬称略)

委 員 会	氏 名
諮問委員	坂巻 幸次
諮問委員	井橋 吉一
ロータリーの友地区代表委員	坂巻 邦夫
会員増強維持委員長	小暮 直正
青少年交換委員	山田 託也

委員会等構成表

部門	委員会名	数	委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
	会長	1	若海宗承					
	副会長	1	豊田高行					
	会長エレクト	1	森田隆					
	幹事	1	中村聡久					
	副幹事	1	横家豪					
	直前会長	1	増元晃					
	会計	1	山本完治					
	会計監査	1	加藤俊輔					
	S.A.A	6	平田徳久	新井進	山田二三夫	石河秀夫	神戸廣通	須賀定吉
クラブ管理運営	クラブ管理運営	7	豊田高行	江原武男 江藤真吾	近藤正成	牛久祐一	奥田邦彦	鈴木隆広
	親睦活動	22	江藤真吾	木村淳一 牛久祐一 米山剛	川口一海 小森秀彦 陶山史朗 吉井一裕 長澤告幸	浅見富司雄 加藤俊輔 平野慎也 中里智博 城岡太史郎	小林威朗 春山祐一郎 有森健太郎 藤田幹	横家豪 青野智行 森久保晶彦 宮部政夫
	プログラム	6	近藤正成	高橋和彦	井橋吉一	中島美三郎	吉野寛治	米山剛
	ロータリー情報 (危機管理含)	3	豊田高行	鮫島弘武	増元晃			
	出席	6	牛久祐一	清水勝吉	野見山哲二	吉澤紀親	大野凜子	加藤俊輔
	会場運営	17	奥田邦彦	小森秀彦 青野智行	飯塚忠幸 陶山史朗 吉井一裕 長澤告幸	澤幡智史 平野慎也 中里智博 城岡太史郎	大橋重信 有森健太郎 藤田幹	春山祐一郎 森久保晶彦 宮部政夫
	スマイル	5	鈴木隆広	小森秀彦	大塚洋幸	常峰光雄	春山祐一郎	
	長期計画(クラブ活性化・戦略計画推進含)	6	江原武男	浅見富司雄	中島美三郎	石河秀夫	神戸廣通	平田徳久
	公共イメージ (マローター 推進チーム・ホームページ含)	2	澤幡智史	野口和幸				
	クラブ会報	9	澤幡智史	吉澤紀親	大沢日出夫 坂田敏信	大澤弘一 濱野世嗣	松永賢一 渡邊哲康	小室伸和
	雑誌広報	6	野口和幸	坂田敏信	木内英二	中川美紀	山田託也	春山敏實
会員増強	会員増強維持	9	井橋英蔵	小暮直正	安濃和正 大野保司	岡田直己 松永賢一	中川美紀 濱野世嗣	永島信之
	会員構成	3	瀧田貴夫	森田隆	中島雅樹			
	会員選考	5	坂巻邦夫	木内英二	坂巻幸次	深野洋二	蓮見典史	
奉仕プロジェクト	奉仕プロジェクト	5	森田隆	大沢日出夫	中川訓	瀧田貴夫	大塚洋幸	
	職業奉仕 (健康増進含)	14	大沢日出夫	吉村総一	桃木俊郎 清水勝吉 石垣李枝子	木内英二 天草大輔 青木勲	川口一海 高橋和彦 大橋重信	山本完治 松永賢一 吉井一裕
	社会奉仕 (プライダル含)	15	中川訓	中村守 米山剛	木村淳一 牛久祐一 青野智行	小林威朗 野口和幸 有森健太郎	小室伸和 渡邊哲康 森久保晶彦	坂田敏信 大野凜子 中里智博
	国際奉仕 (姉妹クラブ・ 友好クラブ含)	14	瀧田貴夫	中島雅樹	山田二三夫 飯塚忠幸 常峰光雄	安濃和正 木村淳一 奥田邦彦	澤石順一 中川訓 吉澤紀親	丹田益生 石垣李枝子 平野慎也
	青少年奉仕 (青少年・ ローターアクト含)	15	大塚洋幸	山田託也 大野凜子	坂巻邦夫 安濃和正 永島信之	鮫島弘武 野見山哲二 大野保司	下川雅丈 吉村総一 春山敏實	鈴木功 岡田直己 鈴木隆広
	米山記念奨学	6	澤田裕二	濱野世嗣	深野洋二	鈴木功	中村守	大澤弘一
ロータリー財団	5	松田繁三	澤石順一	水野泰男	清松瑤一郎	青木勲		
65周年準備	3	中島美三郎	石河秀夫	須賀定吉				

会員構成表

(2023年7月1日現在)

職業分類開放数	59分類
会員数	91名

(敬称略)

区	部 類	職業分類	会員名	事業所
イ	一般商品販売	贈答品販売	江原 武男	(有)エコーエンタープライズ
		建築金物	深野 洋二	フカノ・マテリアル(株)
		宗教用具小売業	鈴木 隆広	(有)日 真 堂
	医療・福祉	小児科医	桃木 俊郎	(医)社団愛育会桃木診療所
			内科医	下川 雅丈
		整形外科医	清松瑠一郎	(医)社団清松クリニック
			青木 勲	アオキクリニック
			鮫島 弘武	さめしま整形外科
		歯科医	松田 繁三	(医)松田整形外科
			天草 大輔	(医)リハビリテーション天草病院
			大澤 弘一	大沢歯科医院
			小室 伸和	こむろ歯科クリニック
	耳鼻咽喉科	中川 美紀	中川耳鼻咽喉科医院	
	福祉・介護事業	大塚 洋幸	(株)礎	
	医療器具・機械	医療機器製造	新井 進	(株)新井製作所
	衣料品	洋品販売	木内 英二	(株)平和堂
飲食業	日本料理	清水 勝吉	(有)若 松	
印刷業	オフセット印刷	奥田 邦彦	(有)吉川印刷	
キ	機械工業	電気機器	水野 泰男	東京トランス(株)
	教 育	保 育 園	野口 和幸	(株)クラブキッズ
			小森 秀彦	(有)三 鈴
			大野 凜子	(株)すてっぷ・ばい・すてっぷ
	金属工業	板金工作	鈴木 功	(株)スズコウメタル
		表面処理	吉野 寛治	吉野電化工業(株)
	金融機関	都市銀行	森久保晶彦	埼玉りそな銀行越谷支店
		地方銀行	大橋 重信	栃木銀行越谷支店
信託銀行		藤田 幹	三井住友信託銀行(株)越谷支店	
ケ	建 設 業	建築設計	澤石 順一	(株)ジェイ・プラン
			森田 隆	アルカディア設計(有)

区	部 類	職業分類	会員名	事業所
ケ	建設業	建築設計	増元 晃	増元建築設計事務所
			山田 託也	(株) 慎建築設計事務所
			中村 聡久	(株) 大都設計
			坂田 敏信	東武建築企画 (株)
		住宅建設	須賀 定吉	(株) 須賀工務店
			若海 宗承	(株) 若海建設
		総合建設業	中島美三郎	池中建設(株)
			高橋 和彦	高元建設(株)
		建築工事業	豊田 高行	(株) 豊田工務店
		プレハブ建築	渡邊 哲康	大和ハウス工業(株)埼玉東支社
		道路舗装工事	岡田 直己	(有) 恵 建 設
		建設塗装	安濃 和正	(株) 美装工業
			青野 智行	(株) ブルーノ
		空調設備工事	野見山哲二	(株) エコトピア
		給排水衛生工事業	江藤 真吾	大阿蘇水質管理 (株)
		建築リフォーム工事業	春山 敏實	彩光建装 (株)
			春山祐一郎	彩光建装 (株)
城岡太史郎	城岡建設 (株)			
造園業	宮部 政夫	宮部造園土木 (株)		
コ	鉱油工業	石油製品販売	井橋 英蔵	(株) イ ハ シ
シ	車両工業	二輪自動車販売	浅見富司雄	(有) キャビン
	宗 教	神 道	小林 威朗	(宗) 久伊豆神社
		仏教(浄土宗)	中里 智博	(宗) 浄 音 寺
	証 券 業	証 券 業	有森健太郎	野村証券(株)越谷支店
			陶山 史朗	いちよし証券(株)越谷支店
	情報産業	情報産業	川口 一海	(株) 大一商事
総合広告業		中島 雅樹	(有) 雅 堂	
セ	専門サービス業	専門コンサルタント業	大野 保司	大野やすし事務所
			濱野 世嗣	(株) 浜野保険事務所
	製 造 業	家具製造業	坂巻 邦夫	坂巻木工(株)
		電子部品製造業	平野 慎也	(株) マルニックス
	化学薬品製造業	長澤 告幸	長沢産業 (株)	

区	部 類	職業分類	会員名	事業所
タ	団 体	商工会議所	平田 徳久	越谷商工会議所
テ	電気及び電気工事	電気工事業	近藤 正成	日本ファクター (株)
		電気器具製造	山田二三夫	(株) 和光製作所
ヒ	ビジネスサービス	不動産管理業	神戸 廣通	(株) 大 神 戸
			小暮 直正	越谷ゴム工業 (株)
			石垣李枝子	(有) 丸清興産
			吉澤 紀親	(有) ナカミチ
		不動産業	飯塚 忠幸	大幸建設(株)
			木村 淳一	アーバンハウス(有)
			中村 守	(株) ナカミツ
			吉井 一裕	(株) 吉井ビル
		倉 庫 業	瀧田 貴夫	瀧田倉庫産業(株)
		情報処理	井橋 吉一	(株) イ ハ シ
		墓地・墓石販売	丹田 益生	(株) やまと石材
		ビルメンテナンス	永島 信之	(株) アドバンスサービス
		貿易業	中川 訓	(株) 中川商店
ホ	法 律	弁 護 士	坂巻 幸次	埼玉法律事務所
			石河 秀夫	石河法律事務所
			吉村 総一	埼玉法律事務所
			横家 豪	横家豪法律事務所
		税 理 士	山本 完治	山本税理士事務所
			大沢日出夫	大沢会計事務所
			加藤 俊輔	加藤税理士事務所
		司法書士	松永 賢一	松永司法書士事務所
		社会保険労務士	澤田 裕二	澤田労務管理事務所
		土地家屋調査士	蓮見 典史	(株) 蓮見設計
			澤幡 智史	澤幡智史事務所
			米山 剛	(株) 米山メジャメント
		保 険	生命保険業	常峰 光雄
レ	レクリエーション	旅 行 業	牛久 祐一	ティシアイジャパン (株)

委員会等活動方針

会 計

担当：山本完治		
---------	--	--

【活動方針】

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 適正な予算執行を行い、収支及び財政の現況を3ヶ月毎に報告する。2. 会長及び幹事との連絡を密にして、会員に分かりやすく適正な会計処理を行う。3. 会費の自動振替制度の促進をはかる。 |
|---|

会計監査

担当：加藤俊輔		
---------	--	--

【活動方針】

<p>クラブ細則第12条第4節の規定に従い、全ての資金について下記に基づき年1回監査を実施する。</p>
--

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 当クラブの資金は、細則第12条第1節の規定により、その予算を限度として執行されているか。2. 同、細則第12条第2節の規定により、管理されているか。3. 同、細則第12条第3節の規定により、適切な方法で支払われているか。 |
|---|

S A A

S A A：平田徳久	副S A A：新井 進	委員：山田二三夫、石河秀夫、神戸廣通 須賀定吉
------------	-------------	----------------------------

【活動方針】

<p>会場監督は、会長並びに理事会の方針に基づき、例会が楽しく・正しく運営されるように常に心を配り、気品と風紀を守り、伝統あるクラブの秩序を維持するように努めます。会員皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。</p>
--

クラブ管理運営委員会

委員長：豊田高行	副委員長：江原武男 江藤真吾	委員：近藤正成、牛久祐一、奥田邦彦、鈴木隆広
----------	-------------------	------------------------

【活動方針】

会長の掲げたクラブビジョン及びクラブ戦略計画を目標とし、それを念頭に活動することでクラブの活性化に繋げていく。

そうした中、ロータリー運動の実体を表した言葉として「入りて学び、出でて奉仕せよ」(Enter to learn, Go forth to serve)があるように、クラブ活動で高められた奉仕の心を持って、家族・会社(職場)・ふるさと(地域社会)に帰り、奉仕活動を実践していきましょう。

1. 笑顔溢れるクラブになるような楽しい例会の企画や誰でも参加したくなるような親睦活動事業にすべく助言していく。
2. 「ロータリー賞」にチャレンジする。
3. RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会／The Rotary Leadership Institute)への会員の積極的な参加を募る。
4. クラブ管理運営部門の7委員会をはじめ、副会長兼任なのでクラブ奉仕部門の各委員会への助言と連絡調整に努めます。

親睦活動委員会

委員長：江藤真吾	副委員長：木村淳一 牛久祐一 米山 剛	委員：川口一海、浅見富司雄、小林威朗 横家 豪、小森秀彦、加藤俊輔 春山祐一郎、青野智行、陶山史朗 平野慎也、有森健太郎、森久保晶彦 吉井一裕、中里智博、藤田 幹、宮部政夫 長澤告幸、城岡太史郎
----------	---------------------------	--

【活動方針】

会員同士の親睦が深まる事、仲間ができる事で初めて奉仕活動へと進んでいけるものと考えます。『笑顔溢れるクラブ活動、奉仕活動』との会長活動方針に則り、親睦活動を通して、老・壮・青全ての会員が参加したいと思ってもらえるような活動をして参ります。

プログラム委員会

委員長：近藤正成	副委員長：高橋和彦	委員：井橋吉一、中島美三郎、吉野寛治 米山 剛
----------	-----------	----------------------------

【活動方針】

毎週の例会が有意義で規律ある楽しいプログラムを心がけ、老・壮・青 全ての会員が出席したいと思わせるプログラムを会長方針に沿って企画運営をします。

1. 会員皆様からの意見を取り入れながら、出席したくなるような魅力ある例会にしていきます。
2. 新会員のイニシエーション・スピーチを行うと共に、中堅・ベテラン会員による卓話の機会を増やし、新会員の仲間作りの一助となるような企画をしていきます。
3. ロータリー推進月間には、担当委員会と協力して推進月間の理解に努め、実りある例会にします。
4. 例会スケジュールを会長・幹事・SAA・クラブ管理運営委員会の皆様と連絡を密にし、調整を取りながら規律ある例会運営を心がけます。

ロータリー情報委員会

委員長：豊田高行	副委員長：鮫島弘武	委員：増元 晃
----------	-----------	---------

【活動方針】

『笑顔溢れるクラブ活動、奉仕活動』の会長活動方針を基本にロータリーに関する知識や新しい情報を提供し、ロータリアンとしての意識の高揚と向上に努めると共に、クラブとして新委員がより親しむための機会を企画していく。

1. 入会3年未満の会員はもとより、全会員にもロータリーの原点に帰ってもらうためのオリエンテーションを開催する。
2. 家庭集会（Informal Meeting、Home Meeting）を開催する。
3. ロータリーの理解を深め、ロータリーの魅力を会員に広めていく一助となるよう努めます。

出席委員会

委員長：牛久祐一	副委員長：清水勝吉	委員：野見山哲二、吉澤紀親、大野凜子 加藤俊輔
----------	-----------	----------------------------

【活動方針】

1. 例会出席率の向上を目指し、メイクアップ等を活用して出席を促すと共に、クラブ・地区活動への参加をお願いして参ります。
2. 会員の皆様には例会欠席の際、事務局への事前連絡を要請します。
3. 委員は受付において、例会への参加が楽しくなるよう、明るく笑顔でお迎えします。

会場運営委員会

委員長：奥田邦彦	副委員長：小森秀彦 青野智行	委員：飯塚忠幸、澤幡智史、大橋重信 春山祐一郎、陶山史朗、平野慎也 有森健太郎、森久保晶彦、吉井一裕 中里智博、藤田 幹、宮部政夫、長澤告幸 城岡太史郎
----------	-------------------	--

【活動方針】

会長・幹事・SAA との打ち合わせを密にし、例会がスムーズに進むように会場の設営及び進行に努めて参ります。

スマイル委員会

委員長：鈴木隆広	副委員長：小森秀彦	委員：大塚洋幸、常峰光雄、春山祐一郎
----------	-----------	--------------------

【活動方針】

1. 会員皆様のメッセージを正確に、素早く、明るくお伝えします。
2. 会員皆様がスマイルをして良かった、またしようと思えるように努めます。
3. スマイルをしやすい環境作りに努め、奉仕活動に貢献します。

長期計画委員会

委員長：江原武男	副委員長：浅見富司雄	委員：中島美三郎、石河秀夫、神戸廣通 平田徳久
----------	------------	----------------------------

【活動方針】

越谷 RC も創立 65 周年に向け更なる飛躍発展のため、地区運営方針である「ロータリーを理解し、楽しく活動しよう」、そして本年度の会長活動方針『笑顔溢れるクラブ活動、奉仕活動』、クラブ戦略計画を基本に委員会一丸となり活動して参ります。

1. 老・壮・青・女性会員の立場を考えたバランスの良いクラブ活動、奉仕活動をするためにはどうしたら良いか、ロータリーの仲間になりたいと思う人、世界で良いことをしたいと思う人に参加して頂くためにはどうしたらよいか、を模索しつつ長期計画を組み立てていきたいと思えます。

公共イメージ委員会

委員長：澤幡智史	副委員長：野口和幸	委員：
----------	-----------	-----

【活動方針】

ロータリークラブを地域社会・市民の皆様知って頂くために広報活動を行い、公共イメージの向上に努めます。

1. クラブの奉仕活動等を SNS や市の広報誌を通じて発信し、公共イメージの向上を図ります。
2. 「ポリオ根絶」をテーマにした活動への協力をします。
3. My Rotary への登録をサポートします。

クラブ会報委員会

委員長：澤幡智史	副委員長：吉澤紀親	委員：大沢日出夫、大澤弘一、松永賢一 小室伸和、坂田敏信、濱野世嗣、渡邊哲康
----------	-----------	---

【活動方針】

会員に向けてクラブ全体の行事や例会プログラム・委員会活動等を記録し、ロータリー情報の取得に役立つ会報を作成します。

1. 会報の発行期限は、次回例会までとします。
2. 会報は適切に編集して会員が読みやすいように努めます。
3. 会報はクラブのホームページに掲載し、ロータリー活動を対外的に発信します。

雑誌広報委員会

委員長：野口和幸	副委員長：坂田敏信	委員：木内英二、中川美紀、山田託也、春山敏實
----------	-----------	------------------------

【活動方針】

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 情報の充実化と多様化
他クラブや他地域からの情報を積極的に取り入れ、幅広い分野や活動内容を紹介する。2. コミュニケーションの促進
会員相互の交流や意見交換を促進するため、投稿記事や質問への回答を紹介し、取り入れる。3. 広報の強化
積極的に投稿を行い、当クラブ独自の理念や活動を広く知って頂き、内外に発信していく。 |
|---|

会員増強維持委員会

委員長：井橋英蔵	副委員長：小暮直正	委員：安濃和正、岡田直己、中川美紀、永島信之 大野保司、松永賢一、濱野世嗣
----------	-----------	--

【活動方針】

<p>ロータリークラブ活動の発展の基盤として、会員の増強は欠かせません。また会員の構成についても時代の変化を鑑みて変革させていくことが必要です。そこで他委員会にも協力しながら、クラブの魅力の発信、会員相互の親睦を深める活動に貢献します。また、老・壮・青 バランスの取れた会員構成を目指し戦略的な会員増強活動を展開します。</p>
--

会員構成委員会

委員長：瀧田貴夫	副委員長：森田 隆	委員：中島雅樹
----------	-----------	---------

【活動方針】

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 会員増強維持委員会・会員選考委員会と連携し、ロータリアンとして相応しい会員の増強に力を入れます。2. バランスの取れた会員構成となるように、現況の職業分類分析を常に心掛け、会員増強に寄与します。 |
|---|

会員選考委員会

委員長：坂巻邦夫	副委員長：木内英二	委員：坂巻幸次、深野洋二、蓮見典史
----------	-----------	-------------------

【活動方針】

推薦された会員候補者のロータリアンとしての適格性を会員増強維持委員会及び会員構成委員会と連携し、調査・検討・判断する。

1. 会員候補者の社会的評価の調査。
2. 会員としての適格性の検討。
3. 奉仕活動に積極的に参加できる意思の確認。
4. 例会・クラブ行事への積極的な参加の確認。
5. クラブメンバーの推薦者の確認。

奉仕プロジェクト委員会

委員長：森田 隆	副委員長：大沢日出夫	委員：中川 訓、瀧田貴夫、大塚洋幸
----------	------------	-------------------

【活動方針】

1. 奉仕プロジェクト委員会は、「職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕」を主導し、地元地域社会の人々や海外のニーズに応えるため、その状況や環境に合った教育的・人道的・職業的プロジェクトを企画し、参加することを通じて、会員のネットワークを広げ親睦を深めながら実現する。
2. 上記目的を達成するため、「職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕」の各委員会活動の連携・協力を推進する。

職業奉仕委員会

委員長：大沢日出夫	副委員長：吉村総一	委員：桃木俊郎、木内英二、川口一海、山本完治 清水勝吉、天草大輔、高橋和彦、松永賢一 石垣李枝子、大橋重信、青木 勲 吉井一裕
-----------	-----------	--

【活動方針】

職業を通じて人々に奉仕することで、自らをさらなる高みに上げていくことを目的とし、以下の活動を行います。

1. 毎月第一例会における「ロータリーの目的」朗読・及び「四つのテスト」唱和。
2. 誰もが参加したいと思う職場見学会の実施。
3. 会員の健康維持増進に寄与する企画の実施。

社会奉仕委員会

委員長：中川 訓	副委員長：中村 守 米山 剛	委員：木村淳一、小林威朗、小室伸和、坂田敏信 牛久祐一、野口和幸、渡邊哲康、大野凜子 青野智行、有森健太郎、森久保晶彦 中里智博
----------	-------------------	---

【活動方針】

「多様な個性・価値観を尊重する」を活動の元として、地域社会貢献を行う。

1. 越谷市民まつりでの様々な参加者による「三ノ宮卯之助に挑戦 越谷力持ち大会」の企画・運営。
2. 重度障害者施設「千草園」への園者旅行支援プロジェクトの実施。
3. 義援金など助け合い事業への有効的な資金協力・援助の実施。

国際奉仕委員会

委員長：瀧田貴夫	副委員長：中島雅樹	委員：山田二三夫、安濃和正、澤石順一 丹田益生、飯塚忠幸、木村淳一、中川 訓 石垣李枝子、常峰光雄、奥田邦彦 吉澤紀親、平野慎也
----------	-----------	---

【活動方針】

混沌とした世界情勢下にあり、ロータリーの目的の第4項「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて国際理解、親善、平和を推進すること」が益々求められています。これを踏まえ、地域に希望を、クラブに活力を生み出すために下記事業を推進して参ります。

1. 地区補助金（大口枠）を利用した国際奉仕事業を実施します。
2. シンガポール国際大会への多数の参加を促します。
3. 姉妹クラブ（オーストラリア：キャンベルタウンRC）との交流を促進します。
4. 青少年奉仕委員会と連携し、青少年交換事業への積極的支援を行います。

青少年奉仕委員会

委員長：大塚洋幸	副委員長：山田託也 大野凜子	委員：坂巻邦夫、鮫島弘武、下川雅丈、鈴木 功 安濃和正、野見山哲二、吉村総一 岡田直己、永島信之、大野保司、春山敏實 鈴木隆広
----------	-------------------	--

【活動方針】

奉仕活動・各イベントを通して青少年の健全育成に資する情報の発信、及びイベントの企画運営を行う。

1. 青少年交換
3年ぶりに再開される青少年交換留学に対して、派遣学生及び来日学生の生活を委員会・カウンセラー・ホストファミリー・ROTEX との連携によりサポートを行う。
2. ローターアクトクラブ
奉仕活動の企画・運営について、協働及びサポートを行う。
3. RYLA (大学生・青年のリーダーシップ養成プログラム)
RYLA 研修は次世代リーダーの育成を目的とした研修であるため、ローターアクトクラブを始めとした幅広い方々の参加に対し支援して行く。
4. その地
地区・クラブ等のイベント・奉仕活動の情報発信を通じ、青少年のロータリー活動への理解・関心を促す。

米山記念奨学委員会

委員長：澤田裕二	副委員長：濱野世嗣	委員：深野洋二、鈴木 功、中村 守、大澤弘一
----------	-----------	------------------------

【活動方針】

ロータリー米山記念奨学事業は日本のロータリー全地区による国際奉仕事業です。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し支援することにより、日本と世界との「懸け橋」になる人材を育てています。越谷 RC もこの事業に賛同し、会員の皆様に寄付をお願い致します。

1. 会員一人 25,000 円（普通寄付 5,000 円、特別寄付 20,000 円）の寄付を目標。
2. 目標寄付額の達成と寄付率の増進に努める。
3. 米山奨学生には積極的に例会やクラブ事業に参加してもらう。
4. 全会員が米山奨学生とコミュニケーションを取れる環境作り。（毎例会、席の移動）

ロータリー財団委員会

委員長：松田繁三	副委員長：澤石順一	委員：水野泰男、清松瑤一郎、青木 勲
----------	-----------	--------------------

【活動方針】

目まぐるしく変遷する国際情勢下、ロータリー財団の活動意義は益々高まっている。ポリオ根絶運動、戦争による難民発生。貧困による教育（識字率）の低下等。活動すべき領域・需要が更に高まっていると考える。その重要性を各会員に再認識して頂き、例年以上の寄付を募ることを目標とします。

1. 年次基金／会員一人 250 ドル（年次寄付 200 ドル＋ポリオプラス 50 ドル）の目標達成に努めます。
2. 恒久基金／新たな（初めての）ベネファクター 1,000 ドル× 5 名の目標達成に努めます。

65 周年準備委員会

委員長：中島美三郎	副委員長：石河秀夫 須賀定吉	委員：
-----------	-------------------	-----

【活動方針】

越谷 RC は 2026 年 5 月 9 日に創立 65 周年を迎えます。振り返って見ますと 50 周年記念(2011 年 5 月 9 日) 準備の時には東日本大地震 (2011 年 3 月 11 日)、55 周年記念 (2016 年 5 月 9 日) 準備の時には熊本地震 (2016 年 4 月 14 日) や災害の嵐で、謹んでの開催となりました。また 60 周年記念 (2021 年 5 月 9 日) 準備の時には新型コロナウイルス感染症が流行し、拡大防止対策としての三密 (密閉・密集・密接) を避けるため、この年は開催できずに次年度半年遅れのクリスマス例会と併せての記念祝賀会をさせて頂きました。

今年度は 2 年先を見据えて、65 周年準備委員会を設置及び組織化し、会員皆様のご意見を伺い、意義ある 65 周年が開催できますよう準備を進めて参ります。会員諸兄のご協力を宜しくお願い致します。

姉妹クラブ・友好クラブ

★姉妹クラブ

「第 9675 地区 キャンベルタウンロータリークラブ」(オーストラリア)

創立日：1958 年 7 月 24 日

例会日：月曜日

例会場：P.O.BOX.116 Campbell town N.S.W 2560

	調印日	会長名	提携期間
第 1 回	1992 年 3 月 14 日 (オーストラリア)	瀧田 大樹郎	1992. 3 / 14 ~ 1994. 6 / 30
第 2 回	1994 年 4 月 12 日 (日本)	永石 数幸	1994. 7 / 01 ~ 1997. 6 / 30
第 3 回	1997 年 5 月 26 日 (オーストラリア)	小林 悦也	1997. 7 / 01 ~ 2002. 6 / 30
第 4 回	2002 年 5 月 18 日 (オーストラリア)	荒井 吉一郎	2002. 7 / 01 ~ 2007. 6 / 30
第 5 回	2007 年 3 月 13 日 (オーストラリア)	新井 進	2007. 7 / 01 ~ 2012. 6 / 30
第 6 回	2012 年 3 月 19 日 (日本)	石河 秀夫	2012. 7 / 01 ~ 2017. 6 / 30
第 7 回	2017 年 3 月 17 日 (オーストラリア)	山田 二三夫	2017. 7 / 01 ~ 2022. 6 / 30
第 8 回	2022 年 6 月 27 日 (書面交換)	鮫島 弘武	2022. 7 / 01 ~ 2027. 6 / 30

※ 2020 ~ 23 年にかけて新型コロナウイルス感染症が世界的蔓延。

★友好クラブ

「第 2720 地区 熊本城東ロータリークラブ」

創立日：1988 年 4 月 11 日

例会日：月曜日 (12:30 ~ 13:30)

例会場：熊本ホテルキャッスル 電話 096 - 326 - 3311

事務所：〒 860 - 0846 熊本県熊本市城東町 4 - 2 熊本ホテルキャッスル内

電話 096 - 354 - 4521

調印日：2006 年 3 月 13 日 (2005 ~ 06 年度 濱野 豊会長)

提唱クラブ

★文教大学ローターアクトクラブ

創立日 : 2011年3月8日
R・I承認 : 2011年3月16日
創立当時ガバナー : 井橋 吉一 (越谷ロータリークラブ)
スポンサークラブ : 越谷ロータリークラブ
認証状伝達式 : 2011年5月8日 (2010～11年度 須賀定吉会長)
事務所 : 〒343-0818 越谷市越ヶ谷本町8-7
例会日 : 第1・第3月曜日 (12:00～13:00)
例会場 : 文教大学越谷校舎内
会員数 : 8名 (2023年7月1日現在)

【歴代会長一覧表】

代	年数	年度	RAC 会長	RC 会長
初代	初年度	2010～'11	林 創一郎	須賀 定吉
初代	1周年	2011～'12	林 創一郎	石河 秀夫
2	2周年	2012～'13	喬 銀凱	神戸 廣通
3	3周年	2013～'14	池 玫秀	江原 武男
4	4周年	2014～'15	劉 海華	中里 静博
5	5周年	2015～'16	劉 毅	澤田 裕二
6	6周年	2016～'17	齊 興家	山田二三夫
7	7周年	2017～'18	王 晨	安濃 和正
8	8周年	2018～'19	袁 斌	平田 徳久
9	9周年	2019～'20	李 瑩	坂巻 邦夫
10	10周年	2020～'21	金 宣達	豊田 高行
11	11周年	2021～'22	章 嘉豪	鮫島 弘武
12	12周年	2022～'23	王 学朋	増元 晃
13	13周年	2023～'24	周 芷煊	若海 宗承

ローターアクトの歌

作詞 高野辰之
東京 RC 作曲 岡野貞一

世界は広し 我らは若し いのちの限り 誇りに生きん
熱き血潮を 誠と愛に そそぎつくして 悔いあるべきや
ロータリーアクト ローターアクト われら若人
ロータリーアクト ローターアクト 若さ燃ゆるよ

年間プログラム

7 月

日	例会No	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
4	2990	誕生祝・結婚祝 所信表明	親睦活動委員会 若海宗承会長	各委員長並びに地区役員紹介 直前会長・幹事挨拶	定例理事会
11	2991	クラブ協議会 会員卓話	若海宗承会長 中里智博会員	「前半」 「イニシエーションスピーチ」	
18	2992	クラブ協議会	若海宗承会長	「後半」	染谷G補佐来訪
25	2993	ガバナー公式訪問	RID2770ガバナー 梨本松男様	「地区テーマと地区運営」	
備 考		母子の健康月間			

8 月

日	例会No	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
1	2994	誕生祝・結婚祝 会員卓話	親睦活動委員会 前年度国際奉仕委員会	「メルボルン国際大会報告」	定例理事会
8	2995	ゲスト卓話	地区会員増強維持委員長 小暮直正様	「会員増強月間に因んで」	
15		定款第7条第1節(d)による休会			
22	2996	ゲスト卓話	文教大学RAC 2名	「ライラ研修セミナー報告」	
29	2997	夜間例会	親睦活動委員会	(屋台納涼祭)	※例会場変更
備 考		会員増強・新クラブ結成推進月間			

9 月

日	例会No	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
5	2998	誕生祝・結婚祝 会員卓話	親睦活動委員会 瀧田貴夫国際奉仕委員長	「地区補助金大口枠について」	定例理事会
12	2999	ゲスト卓話			
19	3000	夜間例会 (3000回記念例会)			※例会場変更
26	3001	会員卓話	雑誌広報委員会	「ロータリーの友月間に因んで」	
備 考		基本的教育と識字率向上月間／ロータリーの友月間 ※「夫人部会」予定			

10 月

日	例会No	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
3	3002	誕生祝・結婚祝	親睦活動委員会		定例理事会
10	3003				
17	3004				
24	3005	第48回越谷市民まつり 10/22(日)開催に振替			
31	3006				
備 考		地域社会の経済発展月間/米山月間 ※10月2日(月)「地区大会記念ゴルフ」(パレステック C.C) ※10月16日(月)「IM記念ゴルフコンペ」 ※10月22日(日)「第48回越谷市民まつり」			

11 月

日	例会No	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
7	3007	誕生祝・結婚祝	親睦活動委員会		定例理事会
14	3008	地区大会 11/11,12 (土,日) 開催に振替			
21	3009				
28	3010				
備 考		ロータリー財団月間/世界インターアクト週間 (11月5日を含む1週間) ※「親睦旅行」予定 ※11月11,12日(土,日)「地区大会」(パレスホテル大宮・レックホール) ※「第1回親睦ゴルフコンペ」予定			

12 月

日	例会No	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
5	3011	誕生祝・結婚祝 年次総会	親睦活動委員会 若海宗承会長		定例理事会
12	3012				
19	3013				
26	3014	クリスマス家族例会	親睦活動委員会		※例会場変更
備 考		疾病予防と治療月間	※12月26日(火)「クリスマス家族例会」(東京デイズニューホテル・ミラスタ)		

1 月

日	例会No.	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
2		定款第7条第1節(d)による休会			
9	3015	新年夜間例会	親睦活動委員会		※例会場変更
16	3016	誕生祝・結婚祝	親睦活動委員会		定例理事会
23	3017				
30	3018	第8グループI・M（インターティ・ミーティング）2/3(土)開催に振替			
備 考	職業奉仕月間				

2 月

日	例会No.	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
6	3019	誕生祝・結婚祝	親睦活動委員会		定例理事会
13	3020				
20	3021				※例会場変更
27	3022				※例会場変更
備 考	平和と紛争予防／紛争解決月間 ※2月3日(土)「I・M(インターティ・ミーティング)」(ロミセン小&ポルティコホール) 2月23日はロータリー創立記念日で世界理解と平和の日でもあります				

3 月

日	例会No.	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
5	3023	誕生祝・結婚祝	親睦活動委員会		定例理事会 ※例会場変更
12	3024				※例会場変更
19	3025				
26	3026	花見夜間例会	親睦活動委員会		※例会場変更
備 考	水と衛生月間／米山月間／世界ローターアクト週間（3月13日を含む1週間） ※3月13,14日(水,木)「P E T S(会長エクソ研修セミナー)」				

4 月

日	例会No.	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
2	3027	誕生祝・結婚祝	親睦活動委員会		定例理事会
9	3028				
16	3029				
23	3030				
30		定款第7条第1節(d)による休会			
備 考	環境月間 ※4月19日(金)「地区研修・協議会」 ※「第2回親睦ゴルフコンペ」予定				

5 月

日	例会No.	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
7	3031	誕生祝・結婚祝	親睦活動委員会		定例理事会
14	3032				
21	3033				
28		定款第7条第1節(d)による休会			
備 考	青少年奉仕月間／クラブ創立記念日：1961(昭和36)年5月9日 ※5月25日～29日(土～水)「シンガポール国際大会」				

6 月

日	例会No.	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
4	3034	誕生祝・結婚祝 クラブ協議会	親睦活動委員会 若海宗承会長	「前半」	定例理事会
11	3035	クラブ協議会	若海宗承会長	「後半」	
18	3036				
25	3037	最終夜間例会	親睦活動委員会		※例会場変更
備 考	ロータリー親睦活動月間				

財 産 目 録

(2023年7月1日現在)

No.	記録簿名	数量	No.	記録簿名	数量
1	クラブ認証状	一式	9	クラブ史(10・20・30・40・50・55・60周年史)	一式
2	クラブ定款・細則	一式	10	20・30・35・40・45・50・55・60周年事業保存書類	一式
3	理事会議事録	一式	11	姉妹クラブ協定書	一式
4	例会記録(会報)	一式	12	各年度年度計画書	一式
5	会員名簿	一式	13		
6	公式名簿半期報告書	一式	14		
7	会員推薦書	一式	15		
8	退会・出席免除届出書類	一式	16		

2. 備品等

No.	品名	数量	備考	No.	品名	数量	
1	鐘・槌	一式	例会場	24	スライド用スクリーン	2台	例会場
2	会員BOX	3台	例会場	25	チェックライター	1台	事務局
3	木製・演台ロータリーマーク入り	1台	例会場	26	たすき(クラブ名)	80本	事務局
4	食器棚(ホワイト)	1台	例会場	27	ラベルメーカー(カシオ KL・A45)	1台	事務局
5	国旗・ロータリー旗	一式	例会場	28	冷蔵庫	1台	事務局
6	ホワイトボード(例会用)	1台	例会場	29	日立掃除機	1台	事務局
7	スマイルBOX	1個	例会場	30	電子レンジ	1台	事務局
8	たすき(役職名)	一式	例会場	31	食器棚	1台	事務局
9	ボイスレコーダー(会報)	4台	例会場	32	扇風機	2台	例会場
10	テーブルスタンド(委員会名)	一式	例会場	33	オーディオセット(マイク2本)	1台	事務局
11	デジタルカメラ(会報)	1台	例会場	34	オーディオ台	1台	事務局
12	花瓶	10個	例会場	35	受付台	1台	事務局
13	スチール製・引違い書庫大小	2本	事務局	36	電話台	1本	事務局
14	スチール製・オープン扉	3本	事務局	37	送迎旗(棒付)	1本	例会場
15	木製・書棚	3本	事務局	38	エレクトーン	1台	事務局
16	会議用テーブル	8本	事務局	39	オルガン(移動用)	1台	事務局
17	会議用イス	30本	事務局	40	ノート型パソコンNEC・Fujitsu	2台	例会場
18	スチールロッカー	1台	事務局	41	ノート型パソコン(ZOOM用)	2台	例会場
19	スチール製 事務机イス	5台	事務局	42	プロジェクター(エプソン)	1台	例会場
20	電話(965-0550)	1台	事務局	43	パウチ(PTC320)	1台	事務局
21	パソコン(BENQ/DELL)	3台	事務局	44	ロータリーソングボード	2枚	例会場
22	コピー複合機(SHARP MX3650FV)	1台	事務局	45	例会用アクリル板	35枚	例会場
23	ホワイトボード	2台	例会場	46			

物故会員・移籍会員名簿

物 故 会 員

(クラブ在籍中にご逝去された会員)

(敬称略)

No.	氏 名	逝去日	享年	No.	氏 名	逝去日	享年
1	平野 順三	1976.12.14	46	20	木内 賢治	2001. 9. 8	66
2	大山 精三	1978.10.31	70	21	小暮 富彦	2003. 2.14	74
3	黒田 録郎	1979.11.19	82	22	白野敏太郎	2003. 5.22	91
4	畔上 計治	1982. 9.28	77	23	深井 一郎	2003.12.23	56
5	田宮 忠一	1984.10. 9	73	24	井橋 吉蔵	2004.10.31	90
6	豊田 幸市	1987.12.25	49	25	石川 弘	2004.12.30	45
7	吉野 弘	1989. 4.10	45	26	今村 一也	2005. 7.14	57
8	石川 茂	1991. 7.16	66	27	荒井吉一郎	2008. 3. 5	65
9	四ノ宮武次	1992. 2.12	71	28	青木 大和	2009. 5. 1	71
10	佐々木長四郎	1992.11.12	81	29	飯島 亮	2009. 7.28	70
11	中川多四郎	1993. 4.12	91	30	菊池 三郎	2010. 1. 8	70
12	中川 惣一	1994. 4. 9	66	31	関口 作造	2011.11.29	93
13	早瀬川 武	1994. 5. 2	61	32	豊田 良男	2012. 2. 7	75
14	桃木 俊平	1996. 9.27	81	33	平野 平蔵	2015. 4. 4	90
15	澤田 光治	1997. 8.23	68	34	瀧田大樹郎	2017. 2. 3	78
16	大澤 史	1998.11.19	62	35	大野 邦彦 (名誉会員)	2018. 4.17	93
17	小野田正三	1998.12.21	62	36	藤井 忠行	2018. 5.14	70
18	金谷 政勝	1999. 1. 7	79	37	小林 悦也 (名誉会員)	2022. 4.27	84
19	浅子 進一	2001. 2.28	87	38	中里 静博	2022. 9. 6	74

移 籍 会 員

(敬称略)

移籍時クラブ	移籍メンバー(現会員のみ)
越谷東クラブ	大沢昌太郎

歴代会長幹事一覧表

(敬称略)

代	年数	年度	ターゲット	会長・幹事	地区ガバナー ガバナー補佐
初代	初年度	1960～'61	あなたはロータリーです それを生かしましょう それを表現して下さい それを膨張させましょう	中川 多四郎(故人) 藤沢 芳雄(故人)	(第355地区) 田 誠(故)
初代	1周年	1961～'62	行動せよ/行動に努めよ/理解に 途を求めよ/指導力を高めよ	中川 多四郎(故人) 藤沢 芳雄(故人)	(第358地区) 中村 米平(故)
2	2周年	1962～'63	内部に火を燃やせ	畔上 計治(故人) 藤沢 芳雄(故人)	湯浅 恭三(故)
3	3周年	1963～'64	宇宙時代におけるロータリーの 進路	長島 喜一(故人) 岡本 元次(故人)	永沼 政久(故)
4	4周年	1964～'65	ロータリーに生きよう	岡本 元次(故人) 原島 茂(故人)	神守源一郎(故)
5	5周年	1965～'66	行動、強化、継続性	大澤 弘(故人) 大山 精三(故人)	竹田 恒徳(故)
6	6周年	1966～'67	ロータリーでよりよい世界を	桃木 俊平(故人) 山崎 正雄(故人)	松方 三郎(故)
7	7周年	1967～'68	ロータリアンとしてあなたの 資格を効果的に	黒田 録朗(故人) 中川 広(故人)	(第357地区) 川名 正義(故)
8	8周年	1968～'69	参加し敢行しよう	佐々木 長四郎(故人) 中川 広(故人)	広沢 照雄(故)
9	9周年	1969～'70	再検討し刷新しよう	大山 精三(故人) 大野 邦彦(故人)	森田 勝彦(故)
10	10周年	1970～'71	隔りを取り除こう	畔上 計治(故人) 豊島 永治郎(故人)	河野 秀夫(故)
11	11周年	1971～'72	善意はまずあなたから	井橋 吉蔵(故人) 川上 丸之(故人)	青山 幸高(故)
12	12周年	1972～'73	もう一度見直して行動しよう	豊島 永治郎(故人) 大竹 豊治(故人)	半田 利一(故)
13	13周年	1973～'74	今こそ行動のとき	会田 四郎(故人) 鈴木 義直(故人)	繁田 正一(故)
14	14周年	1974～'75	ロータリーの精神を振るい 起こせ	大野 邦彦(故人) 白野 敏太郎(故人)	渡辺 道夫(故)
15	15周年	1975～'76	人間に威信を	金谷 政勝(故人) 橋本 敏章(故人)	山口 大(故)
16	16周年	1976～'77	私はロータリーを信奉する	白野 敏太郎(故人) 小林 秀男(退会)	高橋 理平(故)
17	17周年	1977～'78	全人類を結びつけるために 奉仕せよ	平野 平蔵(故人) 青木 大和(故人)	(第257地区) 相原 茂吉(故)
18	18周年	1978～'79	手をさし伸べよう	川上 丸之(故人) 中村 昇(退会)	平野 壽(故)

代	年数	年度	ターゲット	会長・幹事	地区ガバナー ガバナー補佐
19	19周年	1979～'80	奉仕の灯で道を照らそう	山田 市郎(故人) 瀧田 大樹郎(故人)	綿貫 文夫(故)
20	20周年	1980～'81	時間を捧げよう 奉仕のために	坂 卷 幸次 澤 田 光治(故人)	(第257地区) 赤塚 正一(故)
21	21周年	1981～'82	ロータリーを通じて世界理解と 平和を	浅 子 進一(故人) 永 石 数幸(退会)	清水 達也(故)
22	22周年	1982～'83	人類はひとつー世界中に友情の 橋をかけよう	赤 土 興治(故人) 小 野 田 正三(故人)	秋 山 博(故)
23	23周年	1983～'84	みんなにロータリーをー みんなに奉仕を	熊 坂 悟(故人) 菊 池 三郎(故人)	中 善 寺 登 喜 次
24	24周年	1984～'85	見つけよう、奉仕の新生面	渡 部 三良(故人) 小 林 悦也(故人)	福 島 良 治(故)
25	25周年	1985～'86	あなたが鍵です	青 木 大和(故人) 大 澤 昌 太 郎(移籍)	田 中 徳 兵 衛(故)
26	26周年	1986～'87	ロータリーは希望をもたらす	小 野 田 正三(故人) 井 橋 武 治(名誉)	佐 野 康 博(故)
27	27周年	1987～'88	ロータリアンー奉仕に結束ー 平和に献身	鈴 木 義 直(故人) 岡 崎 力 男(故人)	阿 部 完 市(故) 大 野 邦 彦(故)
28	28周年	1988～'89	ロータリーに活力をー あなたの活力を	福 地 豊 太 郎(退会) 大 野 光 政(名誉)	(第277地区) 金 子 雅 英(故) 坂 卷 幸 次
29	29周年	1989～'90	ロータリーを楽しもう！	澤 田 光 治(故人) 大 塚 孝 博(故人)	坂 卷 幸 次 植 竹 浄 水
30	30周年	1990～'91	ロータリーを高めよー 思いを尽くし熱意を尽くし	中 川 惣 一(故人) 相 澤 徹 雄(故人)	(第2770地区) 石 井 治(故) 赤 土 興 治(故)
31	31周年	1991～'92	自分を越えた眼を	瀧 田 大 樹 郎(故人) 松 本 啓 史(故人)	牧 内 操(故) 澁 谷 俊 雄
32	32周年	1992～'93	まことの幸福は人助けから	小 林 秀 男(退会) 荒 井 吉 一 郎(故人)	半 田 昭 雄(故) 蟹 和 忠 夫
33	33周年	1993～'94	行動に信念をー…… 信念は行動にー……	永 石 数 幸(退会) 中 江 仁(退会)	藤 田 亘 弘(故) 宮 尾 三 四 郎
34	34周年	1994～'95	友達になろう	菊 池 三 郎(故人) 鈴 木 幹 夫(退会)	田 中 作 次 青 木 大 和(故)
35	35周年	1995～'96	真心の行動、慈愛の奉仕、 平和に挺身	相 澤 徹 雄(故人) 大 久 保 雅 央(退会)	仙 崎 昭 信(故) 宇 田 川 芳 行
36	36周年	1996～'97	築け未来をー行動力と 先見の眼で	小 林 悦 也(故人) 森 田 寛 太 郎(故人)	高 窪 昭 雄 中 村 昇(退)
37	37周年	1997～'98	ロータリーの心を	大 野 光 政(名誉) 小 林 一 朗(退会)	久 世 晴 雅 吉 田 豊 治
38	38周年	1998～'99	ロータリーの夢を追い続けよう	松 本 啓 史(故人) 中 島 美 三 郎	高 浜 彰 男 植 竹 浄 水

代	年数	年度	ターゲット	会長・幹事	地区ガバナー ガバナー補佐 ガバナー補佐幹事
39	39周年	1999～2000	ロータリー2000： 活動は－堅実・信望・持続	井橋 武治(名誉) 濱野 豊(退会)	吉田 豊治 森 紀二
40	40周年	2000～'01	意識を喚起し－進んで行動を	岡崎 力男(故人) 新井 進	田中 徹夫(故) 藤川 正
41	41周年	2001～'02	人類が私たちの仕事	荒井 吉一郎(故人) 鈴木 操(故人)	(第2770地区) 津田 健三 鈴木 義直(故)
42	42周年	2002～'03	慈愛の種を播きましょう	豊田 良男(故人) 水野 泰男	関口 博正 青木 康國(退)
43	43周年	2003～'04	手を貸そう	井橋 吉一 石河 秀夫	田村 亮夫 豊住 昇二(退)
44	44周年	2004～'05	ロータリーを祝おう	中島 美三郎 須賀 定吉	北 清治 大沢 昌太郎
45	45周年	2005～'06	超我の奉仕	濱野 豊(退会) 山田 二三夫	森田 武司 鯨岡 文夫 中野 政廣
46	46周年	2006～'07	率先しよう	新井 進 長谷川 文善(退会)	飯野 雪男(故) 深井 良孝 水町 俊介(退)
47	47周年	2007～'08	ロータリーは分かちあいの心	鈴木 操(故人) 中村 謙治(退会)	中村 靖治 井橋 吉一 江原 武男
48	48周年	2008～'09	夢をかたちに	水野 泰男 神戸 廣通	岩 均 淵 勝三 稲垣 輝次(故)
49	49周年	2009～'10	ロータリーの未来は あなたの手に	森 仁三(退会) 江原 武男	大塚 信郎 青木 伸翁 高橋 功
50	50周年	2010～'11	地域を育み、大陸をつなぐ (R I) 創立の原点に回帰しよう (地区) 半世紀の感謝を新しい時代へ (クラブ)	須賀 定吉 浅見 富司雄	井橋 吉一 神谷 治善 浅水 尚伸
51	51周年	2011～'12	こころの中を見つめよう (R I) 博愛を広げるために (R I) 奉仕の精神で地球を抱きしめよう (地区) 遊びは学び (クラブ)	石河 秀夫 坂 邦夫	三國 明 大野 光政(名) 澤田 裕二
52	52周年	2012～'13	奉仕を通じて平和を (R I) ローターで素晴らしい出会いを (地区) 限りある人生だから… (クラブ)	神戸 廣通 川口 一海	田中 徳兵衛 関森 初義 長谷川 真也
53	53周年	2013～'14	ロータリーを実践し (R I) みんなに豊かな人生を (R I) 奉仕の心を行動に移そう (地区) 奉仕を通じて ふれあいを (クラブ)	江原 武男 澤田 裕二	渡邊 和良 小暮 進勇 大野 祐肇
54	54周年	2014～'15	ロータリーに輝きを (R I) ローターは人づくり そして奉仕(地区) 明るく 楽しく 和やかに (クラブ)	中里 静博(故人) 豊田 高行	濱野 英美(故) 浅水 尚伸 二川 雅之(退)
55	55周年	2015～'16	世界へのプレゼントになろう(R I) ローターは奉仕を通じて、 (地区) 人づくり、自分づくり (地区) 守ろう 繋げよう 奉仕の精神(クラブ)	澤田 裕二 安濃 和正	井原 實 中島 美三郎 豊田 高行
56	56周年	2016～'17	人類に奉仕するロータリー (R I) 楽しいロータリークラブを (地区) 作り上げよう (地区) 楽しく学ぼう 奉仕の理念 (クラブ)	山田 二三夫 平田 徳久	浅水 尚伸 小林 操 中澤 伸浩

代	年数	年度	ターゲット	会長・幹事	地区ガバナー ガバナー補佐 ガバナー補佐幹事
57	57周年	2017～'18	ロータリー：変化をもたらす(R I) 新たな行動 新たな感動 (地区) 奉仕で生まれる 新たな感動 (クラブ)	安 濃 和 正 吉 澤 行 雄 (退会)	大 貫 等 原 加 藤 美 光 加 藤 盛 也
58	58周年	2018～'19	インスピレーションになろう (R I) すべてはクラブ活性化のために ・実り豊かな奉仕を目指して・ (地区) 日に新た,和やかに楽しく奉仕!(クラブ)	平 田 徳 久 若 海 宗 承	中 川 高 志 大 熊 進 水 町 俊 介 (退)
59	59周年	2019～'20	ロータリーは世界をつなぐ (R I) ポリオ撲滅活動から、クラブ活性化へ (地区) 一人ひとりがロータリアン!(クラブ)	坂 卷 邦 夫 増 元 晃	小 林 操 新 井 進 森 田 隆
60	60周年	2020～'21	ロータリーは機会の扉を開く(R I) 新たな機会へのチャレンジで、 クラブに活力を! (地区) 明るく元気にロータリーを楽しもう!! (クラブ)	豊 田 高 行 瀧 田 貴 夫	中 里 公 造 山 崎 晶 弘 小 池 和 義
61	61周年	2021～'22	奉仕しよう みんなの人生を 豊かにするために (R I) COVID-19に負けずに 「クラブに変化と成長を」(地区) 会員同士の友情を深めインパクトの ある奉仕活動しよう (クラブ)	鮫 島 弘 武 森 田 隆	松 本 輝 夫 小 林 光 則 大 濱 裕 広
62	62周年	2022～'23	イマジン ロータリー (R I) 創造しよう未来への調和を (地区) ・ロータリーにDEIの爽やかな風を・ チャレンジ&エンジョイ ロータリー ・新しい出会いをもとめて・(クラブ)	増 元 晃 中 島 雅 樹	細 淵 雅 邦 株 竹 真 次 杉 下 智
63	63周年	2023～'24	世界に希望を生み出そう (R I) 地域に希望を、 クラブに活力を生み出そう(地区) 笑顔溢れるクラブ活動、 奉仕活動 (クラブ)	若 海 宗 承 中 村 聡 久	梨 本 松 男 染 谷 宗 一 石 川 勝 利

会員所属委員会一覧表

(2023年7月1日現在)

◎ : 会長経験者 ○ : 幹事経験者
 創立時～2023年 ー : 委員長
 2023～2024年度 ● : 委員長
 (入会順 敬称略)

氏名	◎ 坂巻 幸次	◎ 井橋 吉一	◎ 中島美三郎	◎ 新井 進	◎ 山田二三夫	◎ 水野 泰男	◎ 石河 秀夫	◎ 神戸 廣通
入会年月日	1971. 6.13	1986. 2.20	1987.11.10	1990. 1.23	1990.10. 2	1991.11.12	1992. 3.10	1996.10. 1
経過満年月	52.00	37.04	35.07	33.05	32.08	31.07	31.03	26.08
創立時～1971								
1970～1971 (10周年)	広 報							
1971～1972	プログラム							
1972～1973	広 報							
1973～1974	広 報							
1974～1975	会 員 増 強							
1975～1976	雑 誌							
1976～1977	会 員 選 考							
1977～1978	会 報							
1978～1979	社 会 奉 仕							
1979～1980	副 会 長							
1980～1981 (20周年)	会 長							
1981～1982	R 情 報 学 米 山 奨 学							
1982～1983	R 情 報							
1983～1984	R 情 報 康							
1984～1985	健 康 学 米 山 奨 学							
1985～1986	国 際 奉 仕	親 睦 活 動						
1986～1987	拡 大	S . A . A						
1987～1988	会 員 増 強	広 報	出 席					
1988～1989	ガバナー・ノミニー 分 区 代 理	国 際 奉 仕	親 睦 活 動 社 会 奉 仕					
1989～1990	ガバナー 選 考 ・ 広 報	国 際 奉 仕	S . A . A	親 睦 活 動				
1990～1991 (30周年)	直前・ガバナー 親 睦 活 動	親 睦 活 動	社 会 奉 仕	社 会 奉 仕	会 場 運 営			
1991～1992	R 情 報 誌 雑 誌	国 際 奉 仕	出 席 拡 大	会 国 際 奉 仕	親 睦 活 動	親 睦 活 動	親 睦 活 動	
1992～1993	R 情 報	青 少 年	拡 大 国 際 奉 仕	会 報	国 際 奉 仕	親 睦 活 動	親 睦 活 動	
1993～1994	R 情 報	青 少 年	会 員 増 強 社 会 奉 仕	会 報	国 際 奉 仕	親 睦 活 動	会 報	
1994～1995	R 情 報	R 財 団	出 席 R 財 団	会 場 運 営	親 睦 活 動	国 際 奉 仕 姉 妹 ク ラ ブ	会 報	
1995～1996	R 情 報	会 報	プログラム	姉 妹 ク ラ ブ	R 財 団	親 睦 活 動	会 報	
1996～1997	会 員 増 強	地 域 発 展	環 境 保 全	協 同 奉 仕 国 奉 ・ 姉 妹 ク	国 際 奉 仕	会 報 国 奉 ・ 姉 妹 ク	職 業 奉 仕	親 睦 活 動
1997～1998	S . A . A プ ロ グ ラ ム 40周 年	社 会 奉 仕	副 幹 事 S . A . A	親 睦 活 動 職 業 奉 仕	職 業 奉 仕	プログラム	会 場 運 営	会 報

氏名	◎ 坂巻 幸次	◎ 井橋 吉一	◎ 中島美三郎	◎ 新井 進	◎ 山田二三夫	◎ 水野 泰男	◎ 石河 秀夫	◎ 神戸 廣通
1998～1999	会員増強 40周年準備	プログラム	幹事	新世代 姉妹クラブ	姉妹クラブ	親睦活動 職奉・姉妹ク	雑誌	会報
1999～2000	会員増強 40周年準備	姉妹クラブ	職業分類	副幹事	米山奨学	親睦活動	雑誌	親睦活動 新世代
2000～2001 (40周年)	会員増強 プログラム	職業奉仕	職業分類 親睦活動	幹事	親睦活動 国際奉仕	R財団	雑誌・広報	社会奉仕
2001～2002	会員増強 プログラム	広報	職業分類 職業	職業分類 職業奉仕	S.A.A	副幹事 国際奉仕	プログラム	親睦活動
2002～2003	会員増強 米山奨学	会長エレクト クラブ奉仕	親睦活動	職業分類 国際奉仕	職業奉仕	幹事	副幹事	国際奉仕 社会奉仕
2003～2004	S.A.A 100周年記念	会長 100周年記念	会長エレクト クラブ奉仕 100周年記念	職業分類 国際奉仕	親睦活動	S.A.A 職業分類 100周年記念	幹事 100周年記念	親睦活動
2004～2005	会員増強 米山奨学 100周年記念	R情報 100周年記念	会長 100周年記念	国際奉仕	副幹事 100周年記念	職分・出席 姉妹クラブ 100周年記念	職業分類 100周年記念	会員増強 社会奉仕
2005～2006	会員増強 R財団	R情報 プログラム	R情報 プログラム 45周年実行	会長エレクト クラブ奉仕	幹事 雑誌・広報	副会長 職業分類 親睦・姉妹ク	職業分類 会	プログラム
2006～2007	会員選考 50周年準備	R情報	国際奉仕 R情報 プログラム	会長	職業分類 姉妹クラブ	米山奨学	職業分類	職業奉仕 会員増強
2007～2008	50周年実行 会員選考	親睦活動 50周年実行	R情報 50周年実行 クラブ管理運営 プログラム	R情報 50周年実行	R財団 職業分類	会長エレクト 奉仕プロジェクト	会員増強	副幹事 クラブ広報
2008～2009	職業奉仕 米山奨学 50周年実行	ガバナー・ミニ 国際奉仕 50周年実行	50周年実行 会員増強 国際奉仕	国際奉仕 R情報 奉仕プロジェクト 50周年実行	会長エレクト 奉仕プロジェクト 職業分類	会長 50周年実行	社会奉仕 奉仕プロジェクト	幹事 50周年実行
2009～2010	会員選考 米山奨学 50周年実行	ガバナー・エレクト 会員選考 50周年実行	50周年実行 プログラム	R情報 クラブ管理運営 R財団 50周年実行	雑誌広報	R情報 50周年実行	プログラム	職業分類
2010～2011 (50周年)	プログラム 米山奨学 50周年実行	ガバナー 親睦活動 50周年実行	50周年実行 親睦活動 長期計画	副会長 クラブ管理運営 長期計画 国際奉仕 50周年実行	職業奉仕	国際奉仕 R情報 奉仕プロジェクト 50周年実行	会長エレクト 奉仕プロジェクト 長期計画	プログラム 長期計画 職員増強 職員分類
2011～2012	会員増強 新世代	直前・ガバナー 会員選考	長期計画 国際奉仕	長期計画 クラブ管理運営	親睦活動 スマイル学 米山奨学	クラブ管理運営 R情報 国際奉仕	会長	会長エレクト 職業分類 奉仕プロジェクト 長期計画 新世代
2012～2013	会員増強 R財団	会員選考 職業奉仕	プログラム クラブ管理運営 国際奉仕	プログラム 新世代	長期計画 奉仕 国際奉仕	会員選考 S.A.A 国際奉仕	R情報	会長
2013～2014	出会 国際奉仕	プログラム 雑誌 国際奉仕	親睦活動 クラブ管理運営 プログラム	クラブ管理運営 長期計画 プログラム	副会長 クラブ管理運営 R財団	S.A.A R情報 国際奉仕	R情報 長期計画 財団	R情報 長期計画 新世代
2014～2015	会員増強	長期計画 増強	副会長 クラブ管理運営 55周年実行	S.A.A	親睦活動 青少年奉仕	雑誌 広報 選考	S.A.A R情報 クラブ管理運営	米山奨学 R情報
2015～2016	会員増強 選考	長期計画 増強	会員増強 55周年実行	S.A.A	会長エレクト 奉仕プロジェクト	雑誌 広報	会員選考	副会長 クラブ管理運営 R情報
2016～2017	長期計画	長期計画	R財団 会青 少年奉仕	会員選考	会長	S.A.A	長期計画 クラブ管理運営 会員選考	S.A.A
2017～2018	プログラム 長期計画	プログラム 長期計画	S.A.A プログラム 国際奉仕	会員選考	R情報 長期計画	S.A.A	副会長 クラブ管理運営 長期計画	会員増強 R財団
2018～2019	長期計画 60周年実行	プログラム 60周年実行	米山奨学 会員増強 60周年実行	長期計画 60周年実行	S.A.A R情報 長期計画 60周年実行	会員選考 60周年実行	長期計画 クラブ管理運営 60周年実行	プログラム 会員選考 60周年実行
2019～2020	長期計画 60周年実行	プログラム 60周年実行	S.A.A 社会奉仕 60周年実行	S.A.A 長期計画 60周年実行	副会長 R情報 長期計画 クラブ管理運営 60周年実行	会員選考 60周年実行	60周年実行 プログラム 会員増強	会員選考 60周年実行
2020～2021 (60周年)	S.A.A 長期計画 60周年実行	プログラム 会員増強 60周年実行	会員増強 親睦活動 60周年実行	S.A.A 会員増強 60周年実行	S.A.A 国際奉仕 60周年実行	雑誌 広報 R財団 60周年実行	60周年実行 長期計画	S.A.A 長期計画 60周年実行
2021～2022	会員選考	長期計画	長期計画 クラブ管理運営	長期計画 国際奉仕	米山奨学 会員選考	米山奨学	S.A.A 国際奉仕	長期計画
2022～2023	会員選考	米山奨学	S.A.A 長期計画	S.A.A	S.A.A R財団	R財団	国際奉仕	長期計画 R財団
2023～2024	会員選考	プログラム	●65周年準備 プログラム 長期計画	S.A.A	S.A.A 国際奉仕	R財団	S.A.A 長期計画 65周年準備	S.A.A 長期計画

氏名	◎ 須賀 定吉 ○	桃木 俊郎	◎ 江原 武男 ○	◎ 澤田 裕二 ○	◎ 坂巻 邦夫 ○	木内 英二	○ 川口 一海	◎ 岐島 弘武
入会年月日	1996.10.1	1997.2.25	1997.3.18	1998.3.3	1998.9.22	2002.6.4	2002.6.18	2003.1.21
経過満年月	26.08	26.04	26.03	25.03	24.09	21.00	21.00	20.05
創立時～1991 (30周年)								
1991～1992								
1992～1993								
1993～1994								
1994～1995								
1995～1996								
1996～1997	親睦活動	親睦活動	親睦活動					
1997～1998	S.A.A 親睦活動	出席	新世代	親睦活動				
1998～1999	会場運営 会報・プログラム	社会奉仕	会報・雑誌 社会奉仕	出席 社会奉仕	親睦活動			
1999～2000	会報	職業奉仕 国際奉仕	社会奉仕	会報	親睦活動			
2000～2001 (40周年)	会場運営	親睦活動	親睦活動 会場運営	会報	会報			
2001～2002	社会奉仕	親睦活動	新世代	会場運営	会場運営	親睦活動	親睦活動	
2002～2003	新世代 社会奉仕 姉妹クラブ	プログラム	会場運営	米山奨学	出席	新睦活動 会報	親睦活動	親睦活動
2003～2004	副幹事 100周年記念	R財団	新世代 親睦活動	会員増強 社会奉仕	プログラム 運営 新世代・会増	会場運営 報 新世代	親睦活動 新世代	親睦活動
2004～2005	幹事 100周年記念	新世代	新世代 姉妹クラブ	社会奉仕 姉妹クラブ	雑誌・広報 新世代	会報	親睦活動	親睦活動 国際奉仕
2005～2006	職業分類 国際奉仕	R財団	国際奉仕	出席	新世代	会場運営 スマイ 新世代	会場運営	親睦活動 国際奉仕
2006～2007	プログラム 職業分類	雑誌・広報	会員増強 職業奉仕	雑誌・広報 会員増強	親睦活動 国際奉仕	出席	社会奉仕	姉妹クラブ 社会奉仕
2007～2008	職業分類 プログラム 会員増強	雑誌広報	職業奉仕	クラブ広報 社会奉仕	社会奉仕 新世代	ホームページ クラブ広報 新世代	クラブ広報	職業奉仕 姉妹クラブ
2008～2009	会員増強 50周年度会長	社会奉仕	副幹事 国際奉仕 プログラム	職業奉仕	職業奉仕 奉仕プロジェクト	社会奉仕 (新世代担当)	プログラム クラブ管理運営	国際奉仕 クラブ会報 (ホームページ担当)
2009～2010	会長エレクト 奉仕プロジェクト	雑誌広報 社会奉仕	幹事 50周年実行	職業奉仕 奉仕プロジェクト	スマイル 奉仕	クラブ会報 社会奉仕	会員増強	会員増強 国際奉仕
2010～2011 (50周年)	会長エレクト 50周年実行	社会奉仕	会員選考 職業分類	クラブ会報 会員選考	副幹事 新世代 ローターアクト準備	新世代 クラブ会報	米山奨学 会員増強	雑誌広報 国際奉仕 新世代
2011～2012	R情報 長期計画 新世代	R財団	プログラム 職業分類 国際奉仕 新世代	クラブ会報	幹事	クラブ広報 クラブ会報 国際奉仕	副幹事 親睦活動	米山奨学 新世代
2012～2013	R情報 長期計画 新世代	職業奉仕 米山奨学	会長エレクト 職業分類 奉仕プロジェクト	副幹事 親睦活動	職業分類 新世代	クラブ会報 国際奉仕	幹事	国際奉仕 奉仕プロジェクト 職業奉仕
2013～2014	R情報 国際奉仕 クラブ管理運営 長期計画 奉仕プロジェクト	プログラム 職業奉仕	会長 職業分類	幹事	長期計画 雑誌 新世代	クラブ会報 新世代	プログラム 長期計画 職業分類	職業奉仕 奉仕プロジェクト 国際奉仕
2014～2015	長期計画 55周年実行 クラブ管理運営	長期計画 青少年奉仕	R情報	会長エレクト 奉仕プロジェクト 職業分類	職業分類 奉仕プロジェクト	親睦活動 青少年奉仕	プログラム クラブ管理運営 職業分類	社会奉仕 R財団

氏名	◎ 須賀 定吉	桃木 俊郎	◎ 江原 武男	◎ 澤田 裕二	◎ 坂巻 邦夫	木内 英二	○ 川口 一海	◎ 鮫島 弘武
2015～2016	長期計画 55周年実行 クラブ管理運営	長期計画 社会奉仕	R情報 社会奉仕	会職 職業分類	青少年奉仕 R財団	R財団	職業分類 米山奨学	青少年奉仕 米山奨学
2016～2017	会員増強	職業奉仕 R財団	R情報 クラブ管理運営 親睦活動 R財団	職業分類 R情報 青少年奉仕	青少年奉仕 米山奨学	プログラム 雑誌広報	親睦活動 プログラム	職業奉仕 国際奉仕
2017～2018	親睦活動 クラブ管理運営	米山奨学	プログラム クラブ管理運営	R財団 R情報 青少年奉仕	青少年奉仕	雑誌広報 クラブ広報	会員増強 青少年奉仕	職業奉仕
2018～2019	副会長 クラブ管理運営 60周年実行	会員選考 職業奉仕	長期計画 60周年実行	プログラム R情報 クラブ管理運営 60周年実行	会長エレクト 奉仕プロジェクト 60周年実行	スマイル R財団	親睦活動 スマイル	青少年奉仕 奉仕プロジェクト 職業奉仕
2019～2020	S.A.A 長期計画 60周年実行	職業奉仕	R財団 国際奉仕 60周年実行	親睦活動 60周年実行	会長 60周年実行	米山奨学 スマイル	会員増強 R財団	国際奉仕 米山奨学
2020～2021 (60周年)	S.A.A 長期計画 60周年実行	会員選考 職業奉仕	S.A.A 長期計画 60周年実行	親睦活動 クラブ管理運営 国際奉仕 60周年実行	R情報 国際奉仕 60周年実行	会員選考 会場運営	会場運営 職業奉仕	会長エレクト 奉仕プロジェクト 長期計画
2021～2022	長期計画	職業奉仕	副会長 クラブ管理運営	S.A.A 会員増強	青少年奉仕 S.A.A R情報 奉仕プロジェクト	職業奉仕 奉仕プロジェクト	会員増強	会長
2022～2023	副会長 クラブ管理運営	職業奉仕	長期計画 クラブ管理運営	職業奉仕 米山奨学	R情報 米山奨学 クラブ管理運営 青少年奉仕	雑誌 社会奉仕	会員増強 社会奉仕	R情報
2023～2024	S.A.A 65周年準備	職業奉仕	●長期計画 クラブ管理運営	●米山奨学	●会員選考 青少年奉仕	雑誌 広選考 職業奉仕	親睦活動 職業奉仕	R情報 青少年奉仕

氏名	吉野 寛治	下川 雅丈	○ 浅見富司雄	◎ 豊田 高行	深野 洋二	鈴木 功	山本 完治	◎ 安濃 和正
入会年月日	2004. 8.10	2004. 8.10	2005. 1.29	2005. 3. 8	2006. 3. 7	2006. 4.11	2006. 4.11	2007. 1.16
経過満年月	18.10	18.10	18.05	18.03	17.03	17.02	17.02	16.05
創立時～2001 (40周年)								
2001～2002								
2002～2003								
2003～2004								
2004～2005	親睦活動	親睦活動	親睦活動	親睦活動				
2005～2006	国際奉仕活動プログラム	雑誌・広報親睦活動国際奉仕	出親睦活動社会奉仕	社会奉仕活動親睦出	親睦活動	親睦活動	親睦活動	
2006～2007	姉妹クラブ	雑誌・広報	親睦活動会場運営	会スマイル報	親睦活動会場運営	親睦活動	親睦活動報	親睦活動
2007～2008	姉妹クラブ奉仕プロジェクトクラブ広報	職業奉仕	親睦活動クラブ管理運営	クラブ会報親睦活動国際奉仕	会場運営親睦活動クラブ管理運営	スマイル	スマイルホームページ	親睦活動会場運営
2008～2009	プログラム国際奉仕(姉妹クラブ担当)	職業奉仕クラブ会報	会場運営親睦活動50周年幹事	親睦活動クラブ管理運営	親睦活動クラブ会報	出席	出席親睦活動クラブ管理運営	親睦活動会場職業奉仕
2009～2010	国際奉仕R財団	職業奉仕	副幹事プログラム国際奉仕	職業奉仕	親睦活動会場クラブ会報	クラブ会報社会奉仕	国際奉仕	会場運営親睦活動社会奉仕
2010～2011 (50周年)	会員増強国際奉仕	職業奉仕	幹事50周年実行	会員増強	会場運営親睦活動クラブ管理運営	社会奉仕	社会奉仕代	社会奉仕プロジェクト
2011～2012	国際奉仕プロジェクト	親睦活動プログラム	職業分類新世代	雑誌広報会員増強	プログラム会場運営	スマイル親睦活動クラブ管理運営	社会奉仕プロジェクト	親睦活動クラブ管理運営
2012～2013	国際奉仕	会員増強職業奉仕	職業奉仕プロジェクト職業分類R財団	新世代	会員選考米山奨学	クラブ会報	会場運営親睦活動社会奉仕	会員増強新世代
2013～2014	会員増強国際奉仕	職業奉仕	プログラム職業分類親睦活動長期計画	副幹事	クラブ広報親睦活動	社会奉仕	スマイル親睦活動会員増強	新世代奉仕プロジェクト国際奉仕
2014～2015	職業奉仕国際奉仕	親睦活動	会員増強	幹事	社会奉仕プロジェクト	青少年奉仕R財団	会員選考親睦活動	副幹事国際奉仕
2015～2016	国際奉仕	職業奉仕	R財団	親睦活動職業分類	青少年奉仕プロジェクト社会奉仕	会員増強職業奉仕	会計	幹事
2016～2017	国際奉仕プロジェクト	職業奉仕	プログラム	プログラム親睦活動職業奉仕社会奉仕	雑誌広報	米山奨学	会計	会長エレクト奉仕プロジェクト会員増強職業分類
2017～2018	プログラム国際奉仕	職業奉仕	S.A.A会員増強	職業分類米山奨学	雑誌広報青少年奉仕	国際奉仕	社会奉仕	職業分類長期
2018～2019	国際奉仕プロジェクト	職業奉仕	プログラム会員増強	R財団活動60周年実行	社会奉仕青少年奉仕	国際奉仕青少年奉仕	社会奉仕	職業分類情報R60周年実行
2019～2020	プログラム会員選考国際奉仕	職業奉仕	親睦活動R財団	会長エレクト奉仕プロジェクト会員増強60周年実行	出席親睦活動青少年奉仕	国際奉仕	会計青少年奉仕	クラブ管理運営R情報国際奉仕60周年実行
2020～2021 (60周年)	親睦活動青少年奉仕	職業奉仕青少年奉仕	職業奉仕プロジェクト米山奨学	会長長期60周年実行	国際奉仕青少年奉仕	親睦活動米山奨学	会計監査国際奉仕	R情報国際奉仕クラブ管理運営奉仕プロジェクト親睦活動60周年実行
2021～2022	職業奉仕国際奉仕	職業奉仕青少年奉仕	会員増強職業奉仕	R情報	スマイル青少年奉仕	国際奉仕R財団	会計監査プログラム	プログラムクラブ管理運営
2022～2023	S.A.A会国際奉仕	職業奉仕青少年奉仕	長期計画	親睦活動R情報	社会奉仕青少年奉仕	国際奉仕	会計監査	R財団親睦活動国際奉仕
2023～2024	プログラム	青少年奉仕	親睦活動長期計画	副会報●クラブ管理運営●R情報	会員選考米山奨学	青少年奉仕米山奨学	●会計職業奉仕	会員増強国際奉仕青少年奉仕

氏名	清松瑤一郎	澤石順一	丹田益生	松田繁三	○ 森田 隆	野見山哲二	◎ 平田 徳久	蓮見 典史
入会年月日	2007.12.18	2008. 6. 3	2008. 7. 8	2008.11. 4	2010. 1.12	2010. 3. 2	*2010. 6. 1	2010. 7.13
経過満年月	15.06	15.00	14.11	14.07	13.05	13.03	13.00	12.11
創立時～2001 (40周年)								
2001～2005								
2005～2006								
2006～2007								
2007～2008	親睦活動	親睦活動						
2008～2009	職業奉仕	親睦活動	親睦活動	親睦活動				
2009～2010	職業奉仕	出クラブ会報	親睦活動 会場運営	親睦活動 職業奉仕	親睦活動	親睦活動	親睦活動	
2010～2011 (50周年)	R 財 団	クラブ広報 職業奉仕	雑誌・広報 会場運営	職業奉仕 米山奨学	親睦活動 スマイル	親睦活動 出クラブ会報	親睦活動	親睦活動
2011～2012	職業奉仕	プログラム クラブ管理運営 雑誌広報 親睦活動	雑誌広報 クラブ広報	親睦活動 会員増強	親睦活動 職業奉仕	スマイル 社会奉仕	出クラブ会報	出雑誌広報
2012～2013	職業奉仕 米山奨学	雑誌広報 親睦活動 親睦活動 職員増強	会場運営 会員増強	プログラム 社会奉仕	出クラブ会報 新世代	社会奉仕 奉仕プロジェクト	親睦活動 社会奉仕	親睦活動 会場運営 クラブ会報
2013～2014	職業奉仕 R 財 団	雑誌広報 職業奉仕	会員増強	新世代 R 財 団	会場運営	スマイル 社会奉仕	社会奉仕 奉仕プロジェクト	スマイル
2014～2015	職業奉仕 米山奨学	国際奉仕	青少年奉仕	米山奨学	クラブ広報 社会奉仕	職業奉仕 米山奨学	出クラブ会報 クラブ管理運営 社会奉仕	職業奉仕 奉仕プロジェクト
2015～2016	職業奉仕	国際奉仕 親睦活動 奉仕プロジェクト	プログラム 国際奉仕	青少年奉仕 R 財 団	職業奉仕 奉仕プロジェクト	社会奉仕	副幹事 社会奉仕	職業奉仕
2016～2017	職業奉仕 青少年奉仕	会場運営 国際奉仕	親睦活動 クラブ管理運営	職業奉仕	出青少年奉仕 席	会場運営 クラブ管理運営	幹事	会員増強 職業奉仕
2017～2018	職業奉仕 国際奉仕	スマイル 雑誌広報	R 財 団	会員増強 職業奉仕	社会奉仕 奉仕プロジェクト	会場運営 青少年奉仕	会長エレクト 奉仕プロジェクト 職業分類	国際奉仕 米山奨学
2018～2019	職業奉仕	会場運営 国際奉仕	国際奉仕 R 財 団	職業奉仕	社会奉仕	社会奉仕 青少年奉仕	職業分類 60周年実行 長期計画	会員増強 青少年奉仕
2019～2020	職業奉仕	会場運営 クラブ管理運営 職業奉仕	親睦活動 プログラム	職業奉仕 青少年奉仕	職業奉仕	職業奉仕 青少年奉仕	職業分類 S・A・A R 長期計画 60周年実行	職業奉仕 R 財 団
2020～2021 (60周年)	職業奉仕 R 財 団	クラブ会報 国際奉仕	国際奉仕 R 財 団	会員増強 青少年奉仕	副幹事 親睦活動	職業奉仕 青少年奉仕	長期計画 クラブ管理運営 R 国際奉仕 60周年実行	プログラム 青少年奉仕
2021～2022	社会奉仕 R 財 団	親睦活動 会場運営	社会奉仕 国際奉仕	社会奉仕 米山奨学	幹事	親睦活動 職業奉仕	R 情報 R 財 団 クラブ管理運営 国際奉仕 職業分類	社会奉仕 青少年奉仕
2022～2023	米山奨学	国際奉仕 青少年奉仕	職業奉仕 国際奉仕	職業奉仕 青少年奉仕	会員増強 会 構 成	会場運営 社会奉仕	会長選挙 長期計画 国際奉仕	R 財 団
2023～2024	R 財 団	国際奉仕 R 財 団	国際奉仕	● R 財 団	● 会長エレクト ● 奉仕プロジェクト 会 構 成	出青少年奉仕 席	● S・A・A 長期計画	会員選考

*再入会日

氏名	◎ 若海 宗承 ○	◎ 増元 晃 ○	飯塚 忠幸	木村 淳一	吉村 総一	岡田 直己	清水 勝吉	○ 中島 雅樹
入会年月日	2010.11.30	2011.2.15	2011.11.1	2012.1.10	2012.4.3	2012.4.3	2012.12.18	2013.1.29
経過満年月	12.07	12.04	11.07	11.05	11.02	11.02	10.06	10.05
創立時～2001 (40周年)								
2001～2005								
2005～2006								
2006～2007								
2007～2008								
2008～2009								
2009～2010								
2010～2011 (50周年)	親睦活動	親睦活動						
2011～2012	親睦活動 会場運営 クラブ会報	会場運営 出席	親睦活動	親睦活動	親睦活動	親睦活動		
2012～2013	親睦活動 クラブ会報 社会奉仕	親睦活動 スマイル 社会奉仕	親睦活動 クラブ会報 社会奉仕	親睦活動 会場運営 社会奉仕	親睦活動 会場運営 社会奉仕	親睦活動 会場運営	親睦活動	親睦活動
2013～2014	親睦活動 社会奉仕	社会奉仕 新世代 代表	クラブ会報 社会奉仕	会場運営 社会奉仕	親睦活動 クラブ会報	親睦活動 クラブ会報	親睦活動 会場運営	親睦活動 クラブ会報
2014～2015	スマイル クラブ管理 社会奉仕	青少年奉仕 プロジェクト	親睦活動 青少年奉仕	親睦活動 会場運営	親睦活動 クラブ会報	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 プログラム クラブ会報
2015～2016	親睦活動 クラブ管理 運営	社会奉仕 青少年奉仕 プロジェクト	出米山奨 学	会場運営 スマイル	スマイル クラブ管理 運営	会場運営 クラブ管理 運営	親睦活動 会場運営	クラブ広報 クラブ会報
2016～2017	親睦活動 国際奉仕 青少年奉仕	職業奉仕 プロジェクト 青少年奉仕	親睦活動 会場運営	社会奉仕 奉仕プロジェクト	クラブ広報 クラブ会報	親睦活動	会場運営	クラブ会報 社会奉仕
2017～2018	副幹事 親睦活動	青少年奉仕 プロジェクト	クラブ広報 クラブ会報	社会奉仕 国際奉仕	職業奉仕 奉仕プロジェクト	会場運営 職業奉仕	親睦活動 会場運営	クラブ会報 青少年奉仕
2018～2019	幹事 60周年実行	副幹事 60周年実行	雑誌広報 R財団	スマイル クラブ管理 運営	雑誌広報 クラブ広報 米山奨学	職業奉仕 奉仕プロジェクト	会場運営	スマイル 会員増強
2019～2020	親睦活動 職員 増強	幹事 60周年実行	雑誌広報 公共イメージ	会員増強 社会奉仕	プログラム クラブ管理 運営	親睦活動 職業奉仕	親睦活動 会場運営	クラブ会報
2020～2021 (60周年)	プログラム クラブ管理 運営	会員構成 青少年奉仕	会場運営 スマイル	親睦活動 社会奉仕	青少年奉仕 プロジェクト 会員増強	プログラム 社会奉仕	出米山奨 学	親睦活動 会場運営
2021～2022	会員構成 会場運営 国際奉仕 R財団	会長エレクト 奉仕プロジェクト 長期計画 構成員	会場運営 クラブ会報 社会奉仕	雑誌広報 国際奉仕	会員選考 奉仕青少年	親睦活動 社会奉仕	会場運営	副幹事 会場運営
2022～2023	会長エレクト 奉仕プロジェクト 会議員選	会長 会議員構成	スマイル	雑誌広報 公共イメージ 奉仕	クラブ会報 青少年奉仕	社会奉仕 国際奉仕	国際奉仕	幹事
2023～2024	●会 長	R 情報	会場運営 国際奉仕	親睦活動 国際奉仕	職業奉仕 青少年奉仕	会員増強 青少年奉仕	職業奉仕	会員構成 国際奉仕

氏名	中村 守	小林 威朗	天草 大輔	中川 美紀	大沢 日出夫	横家 豪	永島 信之	○ 瀧田 貴夫
入会年月日	2013. 1.29	2013. 6.18	2013.11.19	2014. 5.13	2014. 5.13	2014. 5.13	2014. 7. 1	2014. 7. 1
経過満年月	10.05	10.00	9.07	9.01	9.01	9.01	9.00	9.00
創立時～2001 (40周年)								
2001～2005								
2005～2006								
2006～2007								
2007～2008								
2008～2009								
2009～2010								
2010～2011 (50周年)								
2011～2012								
2012～2013	親睦活動	親睦活動						
2013～2014	親睦活動 会場運営 会報	親睦活動	親睦活動	親睦活動	親睦活動	親睦活動		
2014～2015	親睦活動 クラブ会報 会員増強	親睦活動 スマイル	親睦活動 青少年奉仕	親睦活動	親睦活動 出席	親睦活動	親睦活動	親睦活動
2015～2016	社会奉仕 米山奨学	クラブ会報	クラブ会報	クラブ会報 青少年奉仕	出会 員増強	出スマイル クラブ会報	スマイル クラブ会報	親睦活動 会場運営
2016～2017	会場運営 青少年奉仕	R 財団	職業奉仕 社会奉仕	職業奉仕 青少年奉仕	スマイル クラブ管理運営 社会奉仕	出スマイル クラブ管理運営 社会奉仕	スマイル クラブ管理運営 社会奉仕	プログラム 会場運営
2017～2018	会場運営 青少年奉仕	米山奨学	職業奉仕 社会奉仕	親睦活動 職業奉仕 青少年奉仕	出スマイル クラブ管理運営 社会奉仕	スマイル クラブ管理運営 社会奉仕	親睦活動 会場運営 社会奉仕	会員増強
2018～2019	会場運営 青少年奉仕	R 財団	職業奉仕 社会奉仕	職業奉仕	親睦活動 クラブ会報	クラブ広報 クラブ会報 米山奨学	会場運営 クラブ管理運営 国際奉仕 米山奨学	親睦活動 クラブ管理運営 60周年実行
2019～2020	会場運営 クラブ会報	R 財団	職業奉仕 米山奨学	クラブ会報 青少年奉仕	クラブ会報 雑誌広報	クラブ会報 社会奉仕	会場運営 国際奉仕 米山奨学	副幹事 会員増強 60周年実行
2020～2021 (60周年)	会場運営 クラブ管理運営 社会奉仕	会員増強 社会奉仕	親睦活動 職業奉仕	雑誌広報 職業奉仕	会場運営 会計	社会奉仕 奉仕プロジェクト R財団	クラブ会報 社会奉仕	幹事 60周年実行
2021～2022	スマイル クラブ管理運営 会場運営	職業奉仕 青少年奉仕	職業奉仕 社会奉仕	親睦活動 職業奉仕	会場 会計 スマイル	親睦活動 クラブ管理運営	プログラム クラブ会報 国際奉仕	プログラム 会員増強 構成
2022～2023	親睦活動 青少年奉仕	プログラム 社会奉仕	雑誌広報	会員増強 職業奉仕	会場 会計 職業奉仕	職業奉仕 奉仕プロジェクト	国際奉仕 奉仕プロジェクト	プログラム 会員増強 クラブ管理運営
2023～2024	社会奉仕 米山奨学	親睦活動 社会奉仕	職業奉仕	雑誌広報 職員増強	●職業奉仕 奉仕プロジェクト クラブ会報	●副幹事 親睦活動	会員増強 青少年奉仕	●会員構成 ●国際奉仕 奉仕プロジェクト

氏名	小暮直正	高橋和彦	江藤真吾	山田託也	大野保司	近藤正成	春山敏實	澤幡智史
入会年月日	2014.9.30	2015.3.3	2015.7.21	2015.10.20	2015.12.15	2016.2.9	2016.5.8	2016.5.8
経過満年月	8.09	8.03	7.11	7.08	7.06	7.04	7.01	7.01
創立時～2001 (40周年)								
2001～2005								
2005～2006								
2006～2007								
2007～2008								
2008～2009								
2009～2010								
2010～2011 (50周年)								
2011～2012								
2012～2013								
2013～2014								
2014～2015	親睦活動	親睦活動						
2015～2016	親睦活動 会場運営 クラブ会報	親睦活動 クラブ会報	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営
2016～2017	国際奉仕 青少年奉仕 会場運営 クラブ管理運営 社会奉仕 国際奉仕	会員増強	親睦活動 出席	クラブ会報 社会奉仕	クラブ会報 米山奨学	親睦活動 クラブ会報	親睦活動 社会奉仕	親睦活動 クラブ会報
2017～2018	会場運営 クラブ管理運営 社会奉仕 国際奉仕	会場運営 会員増強	スマイル クラブ会報 国際奉仕	クラブ会報 青少年奉仕	親睦活動 スマイル	親睦活動 クラブ会報	親睦活動 会場運営	出席 会員増強 席奉仕
2018～2019	社会奉仕 奉仕プロジェクト	会場運営 米山奨学	出席 クラブ管理運営 国際奉仕	雑誌広報 青少年奉仕	出席 青少年奉仕	親睦活動 国際奉仕	クラブ会報 国際奉仕	出席 会員増強
2019～2020	親睦活動 クラブ管理運営	親睦活動 会員増強	公共イメージ クラブ会報	青少年奉仕 奉仕プロジェクト	スマイル クラブ管理運営	国際奉仕 奉仕プロジェクト	親睦活動 国際奉仕	親睦活動 青少年奉仕
2020～2021 (60周年)	公共イメージ クラブ会報 親睦活動	プログラム クラブ会報	米山奨学 クラブ会報	親睦活動 青少年奉仕	雑誌広報 公共イメージ 青少年奉仕	R財団 国際奉仕	出職 職業奉仕	出席 クラブ管理運営 社会奉仕
2021～2022	クラブ会報 社会奉仕	クラブ会報 会員増強	会場運営 クラブ管理運営	雑誌広報 青少年奉仕	プログラム クラブ会報 青少年奉仕	会員増強 親睦活動 国際奉仕	会場運営	出席 会場運営 クラブ会報
2022～2023	会場運営 会員増強	プログラムの スマイル 会員増強	会員増強 職業奉仕	青少年奉仕 米山奨学	クラブ会報 社会奉仕 青少年奉仕	親睦活動 クラブ管理運営	親睦活動	会場運営 クラブ管理運営
2023～2024	会員増強	プログラム 職業奉仕	●親睦活動 クラブ管理運営	雑誌広報 青少年奉仕	会員増強 青少年奉仕	●プログラム クラブ管理運営	雑誌広報 青少年奉仕	●公共イメージ ●クラブ会報 ●会場運営

氏名	井橋 英蔵	大澤 弘一	○ 中村 聡久	松永 賢一	小室 伸和	坂田 敏信	大塚 洋幸	牛久 祐一
入会年月日	2016. 5. 8	2016. 5. 8	2016. 8. 2	2016. 8. 2	2017. 6.27	2017. 7.25	2017. 7.25	2017. 9.26
経過満年月	7.01	7.01	6.10	6.10	6.00	5.11	5.11	5.09
創立時～2001 (40周年)								
2001～2005								
2005～2006								
2006～2007								
2007～2008								
2008～2009								
2009～2010								
2010～2011 (50周年)								
2011～2012								
2012～2013								
2013～2014								
2014～2015								
2015～2016	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営						
2016～2017	親 睦 活 動 社 会 奉 仕	親 睦 活 動 職 業 奉 仕	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動		
2017～2018	親 睦 活 動 ク ラ ブ 会 報	親 睦 活 動 ク ラ ブ 会 報	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営
2018～2019	ス マ イ ル 青 少 年 奉 仕	会 場 運 営 職 業 奉 仕	会 場 運 営 社 会 奉 仕	ク ラ ブ 会 報 青 少 年 奉 仕	ク ラ ブ 会 報 青 少 年 奉 仕	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 ク ラ ブ 会 報	親 睦 活 動 会 場 運 営
2019～2020	親 睦 活 動 青 少 年 奉 仕	会 場 運 営 社 会 奉 仕	社 会 奉 仕 会 場 運 営	ク ラ ブ 会 報 青 少 年 奉 仕	ク ラ ブ 会 報 青 少 年 奉 仕	親 睦 活 動 会 場 運 営	出 席 報 告 ク ラ ブ 会 報	親 睦 活 動 会 場 運 営
2020～2021 (60周年)	ス マ イ ル ク ラ ブ 管 理 運 営 会 場 運 営	ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕	親 睦 活 動 会 員 増 強	会 場 運 営 社 会 奉 仕	会 場 運 営 社 会 奉 仕	親 睦 活 動 会 場 運 営	ス マ イ ル ク ラ ブ 会 報	出 席 報 告 ク ラ ブ 会 報
2021～2022	社 会 奉 仕 会 場 運 営	会 場 運 営 社 会 奉 仕	公 共 イ メ ー ジ ク ラ ブ 会 報	雑 誌 広 報 公 共 イ メ ー ジ	親 睦 活 動 青 少 年 奉 仕	会 場 運 営 ク ラ ブ 会 報	出 席 報 告 ク ラ ブ 会 報	親 睦 活 動 会 場 運 営
2022～2023	青 少 年 奉 仕 プ ロ グ ラ ム 奉 仕	プ ロ グ ラ ム 職 業 奉 仕	副 幹 事 親 睦 活 動	公 共 イ メ ー ジ ク ラ ブ 会 報	親 睦 活 動 会 員 増 強	ス マ イ ル ク ラ ブ 管 理 運 営	ク ラ ブ 会 報 雑 誌 広 報	親 睦 活 動 会 場 運 営
2023～2024	● 会 員 増 強	ク ラ ブ 会 報 米 山 奨 学	● 幹 事	ク ラ ブ 会 報 会 員 増 強	ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕	ク ラ ブ 会 報 雑 誌 広 報	● 青 少 年 奉 仕 ス マ イ ル	● 出 席 報 告 ク ラ ブ 管 理 運 営

氏名	中川 訓	石垣李枝子	濱野世嗣	鈴木隆広	野口和幸	常峰光雄	奥田邦彦	青木 勲
入会年月日	2018. 1. 9	2019. 4. 9	2019. 5.21	2019. 5.28	2020. 2.25	2020. 6.16	2021. 1. 5	2021. 4.27
経過満年月	5.05	4.02	4.01	4.01	3.04	3.00	2.05	2.02
創立時～2014								
2014～2015								
2015～2016								
2016～2017								
2017～2018	親睦活動 会場運営							
2018～2019	青少年奉仕 国際奉仕	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営				
2019～2020	雑誌広報 国際奉仕	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営		
2020～2021 (60周年)	雑誌広報 国際奉仕	出クлуб会 席報	親睦活動 会場運営	クлуб会報 職業奉仕	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営
2021～2022	国際奉仕 奉仕プロジェクト 会員増強	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	社会奉仕
2022～2023	プログラム 国際奉仕	親睦活動 職業奉仕	社会奉仕 奉仕プロジェクト	出クлуб会 席報	クлуб会報 職業奉仕	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	雑誌広報
2023～2024	●社会奉仕 奉仕プロジェクト 国際奉仕	職業奉仕 国際奉仕	クлуб会報 会場運営	●スマイル クлуб管理運営 青少年奉仕	●雑誌広報 公共イメージ 奉仕	スマイル 国際奉仕	●クлуб管理 国際奉仕	職業奉仕 R財団

氏名	小森秀彦	渡邊哲康	大橋重信	米山 剛	吉澤紀親	大野凜子	加藤俊輔	春山祐一郎
入会年月日	2021. 5.25	2021. 5.25	2021. 9. 7	2021. 9. 7	2021.10.12	2021.10.26	2022. 1.11	2022. 1.11
経過満年月	2.01	2.01	1.09	1.09	1.08	1.08	1.05	1.05
創立時～2014								
2014～2015								
2015～2016								
2016～2017								
2017～2018								
2018～2019								
2019～2020								
2020～2021 (60周年)	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営						
2021～2022	出クлуб会 会場運営 席報	スマイル 職業奉仕	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営
2022～2023	出クлуб会 会場運営 席報	親睦活動 会場運営	社会奉仕 職業奉仕	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営
2023～2024	親睦活動 会場運営	クлуб会報 職業奉仕	会場運営 職業奉仕	親睦活動 会場運営	出クлуб会 席報	親睦活動 会場運営	●監査 親睦活動	親睦活動 会場運営

氏名	青野 智行	陶山 史朗	平野 慎也	有森健太郎	森久保晶彦	吉井 一裕	中里 智博	藤田 幹
入会年月日	2022. 1.11	2022. 5.31	2022. 9.20	2022.11. 1	2022.11.15	2023. 2.28	2023. 3.28	2023. 5. 9
経過満年月	1.05	1.01	0.09	0.07	0.07	0.04	0.03	0.01
創立時～2014								
2014～2015								
2015～2016								
2016～2017								
2017～2018								
2018～2019								
2019～2020								
2020～2021 (60周年)								
2021～2022	親会 睦場 活運 動営	親会 睦場 活運 動営						
2022～2023	親会社 睦場会 活運奉 動営仕	親会職 睦場業 活運奉 動営仕	親会 睦場 活運 動営	親会 睦場 活運 動営				
2023～2024	親会社 睦場会 活運奉 動営仕	親会 睦場 活運 動営	親会国 睦場際 活運奉 動営仕	親会社 睦場会 活運奉 動営仕	親会社 睦場会 活運奉 動営仕	親会職 睦場業 活運奉 動営仕	親会社 睦場会 活運奉 動営仕	親会 睦場 活運 動営

氏名	宮部 政夫	長澤 告幸	城岡太史郎					
入会年月日	2023. 6.13	2023. 6.20	2023. 6.20					
経過満年月	0.00	0.00	0.00					
創立時～2014								
2014～2015								
2015～2016								
2016～2017								
2017～2018								
2018～2019								
2019～2020								
2020～2021 (60周年)								
2021～2022								
2022～2023	親会 睦場 活運 動営	親会 睦場 活運 動営	親会 睦場 活運 動営					
2023～2024	親会 睦場 活運 動営	親会 睦場 活運 動営	親会 睦場 活運 動営					

国際ロータリー関係 国内事務所一覧

国際ロータリー中央事務局
ROTARY INTERNATIONAL

One Rotary Center, 1560 Sherman Avenue Evanston
Illinois 60201 U.S.A.

国際ロータリー日本事務局

〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル24階
クラブ・地区支援室 TEL 03 (5439) 5800 (旧奉仕室)
財団室 TEL 03 (5439) 5805
経理室 TEL 03 (5439) 5803
資料室 TEL 03 (5439) 5802
FAX (共通) 03 (5439) 0405

ガバナー会

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
TEL 03 (3433) 6497

公益財団法人 米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL 03 (3434) 8681

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL 03 (3433) 6456

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
TEL 03 (3436) 6651



国際ロータリー第2770地区事務所

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂1-2-1-116
エイペックスタワー東館1階
TEL 048 (827) 0022・FAX 048 (827) 0011
Eメール ri2770@ri2770.com

2023-2024 年度 公式訪問日程表

曜日	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火		1 浦和北東				
水		2 三郷ウエズデー 八潮イブニング			1	
木		3 越谷東			2	
金		4 合同会議 30人	1		3 文化の日	1
土	1 ガバナー会	5	2 川口モーニング		4	2
日	2	6	3	1	5	3
月	3	7 戸田 川口中央	4 大宮西	2	6	4
火	4 諮問委員会 令夫人共 50人	8 川口シティ鳩ヶ谷 川口北東	5 川口西 幸手中央	3 鴻巣	7 八潮 松伏	5
水	5	9 鴻巣水曜	6	4 大宮東 吉川	8	6 上尾西
木	6	10 久喜 桶川イブニング	7 浦和東 八潮みらい	5 上尾	9 川口北	7
金	7	11 山の日	8 ガバナー補佐会 議 25人	6 上尾北	10	8 合同会議 60人
土	8	12	9	7	11 地区大会	9
日	9	13	10	8	12 地区大会	10
月	10	14	11 浦和南	9 スポーツの日	13	11
火	11	15	12 三郷 さいたま樺	10 諮問委員会 30人	14 岩槻東 草加松原	12
水	12	16	13 川口/鳩ヶ谷武南	11 越谷北	15 蓮田	13 幸手
木	13	17 大宮南 浦和中	14 川口むさし野 草加中央	12 杉戸	16 さいたま中央	14 諮問委員会 壮行会 令夫人共 50人
金	14 浦和	18	15	13	17	15
土	15	19	16 さいたま大空	14	18	16
日	16	20	17	15	19 ローターリー研究 会財団地域セミ	17
月	17 海の日	21 さいたま新都心 大宮シティ	18 敬老の日	16	20 ガバナー会	18
火	18 蕨	22 埼玉シティ 大宮中央	19 大宮北	17 大宮北東	21 ローターリー研究会	19
水	19 浦和北	23 浦和ダイヤモンド	20 部門委員長会議 18人	18 大宮	22 ローターリー研究会	20
木	20 春日部西 北本	24 鳩ヶ谷	21 川口 春日部イブニング	19 吉川中央 草加シティ	23 勤労感謝の日	21
金	21	25	22	20	24	22
土	22	26	23 秋分の日	21	25	23
日	23	27	24	22	26	24
月	24	28	25	23	27	25
火	25 越谷	29 川口東	26 春日部	24 越谷中 三郷中央	28	26
水	26 春日部南	30 川口南	27 桶川	25	29	27
木	27 戸田西 戸田イブニング	31 越谷南	28	26 岩槻	30	28
金	28		29	27 地区大会実行委 員会 50人		29
土	29		30	28		30
日	30			29		31
月	31			30		
火				31		

* 上段：昼点鐘 下段：夜点鐘

※予定は変更になる可能性がございます。
※日程について、変更・合同希望のある場合は、ガバナー補佐を通じて地区へご連絡願います。

地区内クラブ入会金・年会費・ビジター登録料一覧

2023年5月29日現在

番号	クラブ名	入会金	年会費 (1年間)	ビジター 登録料
1	浦和	150,000	360,000	4,000
2	浦和東	50,000	340,000	3,000
3	浦和南	50,000	280,000	2,000
4	浦和中	50,000	280,000	2,000
5	浦和ダイヤモンド	0	300,000	2,000
6	浦和北	80,000	360,000	2,000
7	さいたま中央	50,000	340,000	2,000
8	さいたまシティ	50,000	288,000	3,000
9	浦和北東	150,000	340,000	2,000
10	さいたま新都心	50,000	300,000	1,500
11	大宮	120,000	360,000	3,000
12	大宮南	50,000	350,000	2,000
13	大宮中央	男性100,000 女性50,000	300,000	2,500
14	大宮シティ	100,000	300,000	3,000
15	さいたま櫛	0	240,000	2,500
16	さいたま大空	0	60,000	1,000
17	大宮西	100,000	330,000 家族会員 165,000	3,000
18	岩槻	0	240,000	2,000
19	大宮北	0	300,000	1,500
20	大宮東	0	300,000	1,500
21	岩槻東	50,000	280,000	1,500
22	大宮北東	0	300,000	2,000
23	上尾	50,000	250,000	1,500
24	鴻巣	0	240,000	0
25	桶川	0	280,000 S会員・家族会員 120,000 L会員180,000	1,500
26	上尾西	0	280,000	1,500
27	北本	0	180,000	1,500
28	上尾北	0	300,000	1,500
29	鴻巣水曜	0	260,000	1,500
30	桶川イブニング	20,000	240,000 女性会員180,000	1,500
31	春日部	0	270,000	1,500
32	杉戸	0	280,000	1,500
33	春日部西	0	300,000	2,000
34	春日部南	0	280,000	1,500
35	春日部イブニング	0	280,000	0

番号	クラブ名	入会金	年会費 (1年間)	ビジター 登録料
36	幸手	50,000	260,000	1,500
37	蓮田	0	240,000	2,000
38	久喜	0	270,000	1,500
39	幸手中央	0	250,000	1,500
40	越谷	80,000	280,000	1,500
41	越谷南	60,000	300,000	1,500
42	越谷北	60,000	270,000	1,500
43	越谷東	40,000	300,000	1,500
44	越谷中	0	300,000	1,500
45	八潮	0	270,000	1,500
46	八潮イブニング	0	200,000	1,500
47	草加中央	0	120,000	1,500
48	八潮みらい	10,000	240,000	1,500
49	草加松原	30,000	240,000	1,500
50	草加シティ	0	120,000	0
51	吉川	0	200,000	1,500
52	三郷	10,000	220,000	1,500
53	三郷中央	50,000	280,000	1,500
54	三郷ウエズデー	0	260,000 40才以下及び 女性会員 半額	1,500
55	松伏	30,000	220,000	0
56	吉川中央	0	180,000	3,000
57	川口	30,000	290,000	2,000
58	鳩ヶ谷	50,000	280,000	2,000
59	川口東	50,000	280,000	2,000
60	川口/鳩ヶ谷武南	30,000	260,000	2,000
61	川口モーニング	50,000	240,000	1,500
62	川口南	50,000	280,000	2,000
63	川口シティ鳩ヶ谷	10,000	250,000	1,000
64	戸田	0	270,000	1,500
65	蕨	0	280,000	1,500
66	川口西	0	250,000	1,500
67	戸田西	0	240,000	1,500
68	川口北	0	240,000	2,000
69	川口北東	0	240,000	2,000
70	川口中央	0	360,000	2,000
71	川口むさし野	0	200,000	2,000
72	戸田イブニング	0	280,000	1,500

(単位:円)

地区内クラブ創立一覽

2023年2月10日現在
(敬称略)

	クラブ名	合併前 クラブ	スポンサー クラブ	RI加盟認証 年月日	RI合併承認 年月日	ガバナー	備考 (特別代表)
1	浦和		東京・川越	1954年8月30日		柳瀬 省吾	柏原 孫左衛門 木村 善太郎
2	大宮		熊谷	1955年12月27日		小松 隆	尾高 格三
3	川口		浦和	1960年1月8日		柏原 孫左衛門	高橋 申
4	越谷		浦和	1961年6月19日		田 誠	中村 弥太郎
5	浦和北		浦和	1961年12月29日		中村 米平	籠島 誠治
6	草加松原	草加 草加イブニング	浦和 草加	1962年6月14日	2012年6月30日	中村 米平 牧内 操	中村 弥太郎 大久保 雄司
7	上尾		大宮	1963年3月16日		湯浅 恭三	熊田 克郎
8	大宮西		大宮	1963年3月22日		湯浅 恭三	清水 喜一
9	岩槻		大宮	1963年8月19日		永沼 政久	入山 卯八郎
10	戸田		川口	1964年6月22日		永沼 政久	榑 春壽
11	春日部		大宮	1965年1月20日		神守 源一郎	田中 松彦
12	鳩ヶ谷		川口	1965年4月17日		神守 源一郎	榑 春壽
13	蕨		浦和北	1965年4月28日		神守 源一郎	高橋 三郎
14	さいたま中央		浦和北	1966年1月21日		竹田 恒徳	壽原 茂夫
15	幸手		春日部	1900年1月0日		松方 三郎	君塚 皎
16	川口西		川口	1967年10月2日		松方 三郎	永瀬 七朗
17	鴻巣		上尾	1968年8月1日		廣澤 輝雄	小林 貞次
18	浦和東		浦和	1970年8月9日		森田 勝彦	長島 恭助
19	吉川	吉川 吉川イブニング	草加 吉川	2008年6月30日	2008年6月30日	河野 秀夫 田中 作次	祝原 運一 田辺 英雄
20	杉戸	杉戸 杉戸中央	春日部 杉戸	1971年5月3日	2014年9月6日	河野 秀夫 田中 作次	平野 壽博 関口 博正
21	川口東		川口	1971年6月28日		河野 秀夫	榑 春壽
22	蓮田		岩槻	1971年7月28日		青山 幸高	岡田 喜一郎
23	桶川		上尾	1972年4月17日		青山 幸高	加藤 金作
24	上尾西		上尾	1973年5月7日		半田 利一	関口 博見
25	久喜		幸手	1973年6月25日		半田 利一	秋間 泰造
26	大宮北		大宮西	1973年6月28日		半田 利一	山崎 好文
27	戸田西		戸田	1974年10月20日		繁田 正一	岩崎 久二
28	越谷南		越谷	1974年6月28日		繁田 正一	畔上 計治
29	八潮		草加	1975年8月7日		山口 大	清水 啓三郎
30	さいたまシティ		浦和東	1975年8月29日		山口 大	石川 慎一郎
31	川口北		川口	1976年10月1日		山口 大	福川 次郎
32	越谷北		越谷	1976年5月26日		山口 大	桃木 俊平
33	北本		鴻巣	1976年5月19日		山口 大	秋筈 善太郎
34	浦和南		浦和	1978年3月27日		相原 茂吉	逸見 正夫
35	大宮南		大宮	1978年7月19日		相原 茂吉	安原 秀太郎
36	大宮東		大宮北	1979年2月15日		平野 壽	河木 清
37	三郷		吉川	1979年6月11日		平野 壽	中村 孝
38	岩槻東		岩槻	1980年11月11日		赤塚 正一	星野 一夫
39	春日部西		春日部	1983年6月2日		秋山 博	長谷川 茂
40	川口北東		川口北	1985年4月22日		福島 良治	飯塚 直次
41	川口/鳩ヶ谷武南		鳩ヶ谷	1985年5月15日		福島 良治	関口 登
42	川口モーニング		川口東	1985年12月26日		田中 徳兵衛	伊藤 慎六
43	川口中央		川口西	1986年6月6日		田中 徳兵衛	秋山 博
44	大宮中央		大宮	1987年3月3日		佐野 康博	久保田 耕司
45	越谷東		越谷	1987年5月18日		佐野 康博	坂巻 幸次
46	浦和北東		浦和	1987年6月26日		佐野 康博	落合 豊
47	八潮イブニング		八潮	1988年6月24日		阿部 完市	小沢 貞助
48	上尾北		上尾西	1900年1月0日		金子 雅英	中村 秀夫
49	さいたま新都心		さいたま中央	1990年2月6日		坂巻 幸次	仁科 二
50	越谷中		越谷北	1990年5月22日		坂巻 幸次	橋本 敏章
51	浦和中		浦和	1990年6月18日		坂巻 幸次	相川 曹司
52	三郷中央		三郷	1990年6月20日		坂巻 幸次	松井 廣司
53	川口むさし野		川口北東	1991年7月5日		石井 治	村田 和朗
54	鴻巣水曜		鴻巣	1992年6月12日		牧内 操	石田 俊男
55	大宮北東		大宮西	1992年6月17日		牧内 操	川村 平作
56	川口南		川口	1993年3月28日		半田 昭雄	大熊 不二
57	春日部南		春日部西	1993年6月2日		半田 昭雄	村田 睦幸
58	八潮みらい	八潮中央 八潮シティ	八潮 八潮イブニング	1994年6月6日	2012年2月23日	藤田 亘弘 田中 作次	木村 昭吉 成本 富夫
59	三郷ウェンズデー		三郷	1995年4月5日		田中 作次	岡庭 武利
60	草加中央	草加南 草加中央	草加 草加南	1995年4月18日	2015年1月1日	田中 徳兵衛 田中 作次	田村 長一 須永 正夫
61	浦和ダイヤモンド		浦和東	1995年4月27日		田中 作次	久保 卓児
62	春日部イブニング		春日部	1995年5月30日		田中 作次	佐藤 勝夫
63	川口シティ鳩ヶ谷		鳩ヶ谷	1996年5月14日		仙崎 昭信	福垣 禮二
64	桶川イブニング		桶川	1997年6月30日		高窪 昭雄	寺岡 孝
65	大宮シティ		大宮	1998年6月30日		久世 晴雅	八木 隆男
66	幸手中央		幸手	1998年10月28日		高浜 彰男	滝原 征一郎
67	松伏		吉川	2000年6月28日		吉田 豊治	金井 孝夫
68	さいたま樺		さいたま中央	2004年5月5日		田村 亮夫	大橋 軍治
69	戸田イブニング		戸田西	2006年9月27日		飯野 雪男	明石 壽也
70	さいたま大空		—	2013年11月25日		渡邊 和良	恵川 一成
71	吉川中央		—	2017年9月14日		大貫 等	
72	草加シティ		—	2017年12月21日		大貫 等	

地区内クラブネット環境一覧

2023年2月10日現在

番号	クラブ名	email	ホームページ
1	浦和	urawarc@aqua.ocn.ne.jp	https://urawa-rc.org/
2	浦和東	urawaras@green.ocn.ne.jp	http://urawahigashi-rc.com
3	浦和南	urawaminami@kvf.biglobe.ne.jp	http://www7b.biglobe.ne.jp/~urawaminami-rc
4	浦和中	urawanakaRC@outlook.jp	https://urawa-naka-rc.org/
5	浦和ダイヤモンド	urawa888drc@yahoo.co.jp	http://urawa-diamond.com
6	浦和北	office@urawakita-rotary.jp	office@urawakita-rotary.jp
7	さいたま中央	s-chuorc@poplar.ocn.ne.jp	http://www.s-chuorc.jp
8	さいたまシティ	urawawrc@tbd.t-com.ne.jp	https://urawawrc.wixsite.com/saitamacity-rc
9	浦和北東	urawa-ne@smile.ocn.ne.jp	http://www.urawa-northeast-rc.com/
10	さいたま新都心	jimu@shintoshin-rc.org	http://www.shintoshin-rc.org/
11	大宮	info@omiya-rc.jp	https://omiya-rc.jp
12	大宮南	south-rc@khaki.plala.or.jp	jp.omyaminami-rc.org/
13	大宮中央	omiya.chuo.rotary@gmail.com	http://www.omyachuo.com
14	大宮シティ	info_ocr@clock.ocn.ne.jp	http://www.omiya-city-rotary.com
15	さいたま樺	saitama@keyaki-rc.jp	www.keyaki-rc.jp
16	さいたま大空	saitamaozorarc@gmail.com	https://www.facebook.com/saitamaozorarc/
17	大宮西	west@rc-omiya-west.com	http://rc-omiya-west.com/
18	岩槻	info@iwatsuki-rotaryclub.jp	http://iwatsuki-rotaryclub.jp/
19	大宮北	oomiyakita.rc@gmail.com	http://www.omyakita-rc.org
20	大宮東	omiya.e.rc@nifty.com	http://www.omyaeast-rc.jp
21	岩槻東	ni01@iwatsuki-east-rc.org	www.iwatsuki-east-rc.org
22	大宮北東	ohmiya-hokuto-rc@ak.wakwak.com	
23	上尾	info@ageo-rc.org	https://ageo-rc.org/
24	鴻巣	info@kounosurotary.com	http://kounosurotary.com/
25	桶川	okegawarotary@shore.ocn.ne.jp	https://www.okegawa-rc.org
26	上尾西	awestrc@ceres.ocn.ne.jp	http://www.rotary-ageowest.jp
27	北本	office@rotarykitamotoorg	http://rotarykitamoto.org
28	上尾北		
29	鴻巣水曜	itiin@kounosu-suiyorc.org	http://www.kounosu-suiyorc.org/
30	桶川イブニング	okegawa-evening@aqua.plala.or.jp	http://okegawa-evrc.com/
31	春日部	kasukabe-rc@cc.wakwak.com	
32	杉戸	sugitorc@image.ocn.ne.jp	http://www.sugito.club/
33	春日部西	kasukabewest.rc@crest.ocn.ne.jp	https://www.facebook.com/KasukabeWestRC
34	春日部南	kasukabe-s-rc@athena.ocn.ne.jp	http://www.
35	春日部イブニング	kasuerc@coast.ocn.ne.jp	http://www.net-shien.com/k-evening/
36	幸手	info@satterc.jp	http://www.satterc.jp/
37	蓮田	https://www.hasuda-rotaryclub.com/	hasudarc@gmail.com
38	久喜	ksrc-1@chive.ocn.ne.jp	http://kukishobu-rc.org
39	幸手中央	s-chuorc@townnavi.info	http://www.sattechuorc.com/
40	越谷	koshirc@crocus.ocn.ne.jp	http://www.koshigaya-rc.jp

41	越谷南	info@koshigayasouth-rc.jp	www.koshigayasouth-rc.jp
42	越谷北	kkrc@koshigayakita-rc.jp	https://koshigayakita-rc.jp/
43	越谷東	info@koshigayahigashi-rc.org	http://www.koshigayahigashi-rc.org
44	越谷中	knrc@almond.ocn.ne.jp	http://koshigayanaka-rc.org/
45	八潮	ny4s-asi@asahi-net.or.jp	http://www.yashiorc.ne.jp
46	八潮イブニング	yashioevening@gmail.com	http://www.yashio-eve.jp/
47	草加中央	kyoei.travel@jcom.zaq.ne.jp	
48	八潮みらい	secretary@yashiomirai.jp	https://yashiomirai.jp/
49	草加松原	sokamatsubara@abelia.ocn.ne.jp	www.soka-rc.gr.jp/sokamatsubara/
50	草加シティ	soka-city@soka-rc.gr.jp	http://www.soka-rc.gr.jp
51	吉川	yoshikawa.rc.10g@gmail.com	
52	三郷	s-misatorc-yuki@agate.plala.or.jp	
53	三郷中央	mchuoerc@maple.ocn.ne.jp	http://www.misatocho-rc.com
54	三郷ウエズデー	misatowed-rc@saitama.email.ne.jp	
55	松伏	matsubushi.rotary2022@gmail.com	
56	吉川中央		
57	川口	krc2770@plum.plala.or.jp	http://www.kawaguchi-rc.com
58	鳩ヶ谷	hatogaya@atlas.plala.or.jp	https://hatogaya-rc.com
59	川口東	k-e.rc@ceres.ocn.ne.jp	http://k-erc.sakura.ne.jp/
60	川口/鳩ヶ谷武南	kh.bunan@gmail.com	https://www.kh-bunan.com
61	川口モーニング	morning_2770@h6.dion.ne.jp	kawaguchi-morning.jp
62	川口南	south-rc@jcom.zaq.ne.jp	http://www.kawaguchisouth.jp
63	川口シティ鳩ヶ谷	kawaguchicityhatogaya-rc@ab.auone-net	
64	戸田	info@toda-rc.com	http://www.toda-rc.com/
65	蕨	rotary@warabi.ne.jp	www.warabi.ne.jp/~rotary
66	川口西	kawaguchi-nishirc@lime.ocn.ne.jp	http://kawaguchiwest-rc.org/
67	戸田西	zum10055@nifty.ne.jp	https://toda-west-rc.com
68	川口北	kawaguchi-nrc@bloom.ocn.ne.jp	http://www.kawaguchinrc.jp/
69	川口北東	kawahoku2770@gmail.com	
70	川口中央	kcrc@bz03.plala.or.jp	http://kawaguchi-chuo-rc.world.coocan.jp/rc/Welcome.html
71	川口むさし野	kawaguchimusashino@vega.ocn.ne.jp	https://kawaguchi-mrc.jp/
72	戸田イブニング	ZUM10055@nifty.ne.jp	

姉妹・友好クラブ締結状況

(2023年5月12現在)

G	クラブ名	交流区分	国名	地区番号	クラブ名	締結年度
1	浦和					
1	浦和東	姉妹	アメリカ合衆国	5280	デル・アモRC	1972年3月
		友好	日本(石川)	2610	金沢西RC	2014年4月
1	浦和南	姉妹	韓国	3750	南水原RC	1982年4月
		姉妹	日本(岩手)	2520	宮古RC	1989年5月
1	浦和中	友好	日本(宮城)	2520	仙台青葉RC	2008年6月
		友好	タイ	3350	バンコク・スリウオンR	2018年9月
1	浦和ダイヤモンド	友好	日本(群馬)	2840	藤岡南RC	2020年6月
2	浦和北	友好	台湾	3490	同徳RC	2016年6月
		友好	フィリピン	3800	モンテンルパ北	2016年12月
2	さいたま中央					
2	さいたまシティ	姉妹	台湾	3490	基隆東RC	1979年11月
		友好	日本(熊本)	2720	菊池RC	1984年11月
2	浦和北東	友好	アメリカ合衆国	2750	ノーザン・グアムRC	2004年5月
2	さいたま新都心					
3	大宮	友好	アメリカ合衆国	7510	トレントンRC	1969年5月
3	大宮南	姉妹	台湾	3480	永和RC	2018年5月
3	大宮中央	姉妹	韓国	3750	南安養RC	1988年10月
3	大宮シティ	友好	日本(石川)	2610	小松シティRC	2002年5月
3	さいたま櫛	姉妹	韓国	3720	蔚山第一RC	2008年6月
3	さいたま大空					
4	大宮西	姉妹	台湾	3462	南投RC	1970年2月
4	岩槻	姉妹	台湾	3502	桃園経国RC	2008年4月
		友好	日本(千葉)	2790	千倉RC	1981年11月
4	大宮北	姉妹	台湾	3460	竹山RC	2013年9月
4	大宮東	友好	日本(愛媛)	2670	松山北RC	1993年4月
4	岩槻東	姉妹	フィリピン	3800	マラボンRC	1985年9月
4	大宮北東					
5	上尾	姉妹	台湾	3470	台南東北RC	2023年3月
5	鴻巣	姉妹	台湾	3470	台南府城RC	2007年11月
5	桶川	友好	日本(福島)	2530	いわき平東RC	2017年4月
5	上尾西	姉妹	台湾	3480	台北稲江RC	1988年3月
		姉妹	日本(岩手)	2520	大船渡RC	2019年10月
5	北本	姉妹	台湾	3500	新竹東北区RC	1990年4月
5	上尾北					
5	鴻巣水曜	友好	日本(鹿児島)	2730	奄美RC	2022年5月
5	桶川イブニング					
6	春日部	姉妹	台湾	3500	中歴RC	1969年11月
		友好	日本(秋田)	2540	横手南RC	1997年6月
6	杉戸	姉妹	台湾	3501	中壢北区RC	2018年5月
		友好	福島	2530	富岡RC	2019年4月
6	春日部西	友好	日本(福島)	2530	三春RC	2013年6月
		姉妹	台湾	3502	桃園百齡RC	2018年6月
6	春日部南	友好	日本(岩手)	2520	宮古RC	2005年7月
		友好	日本(新潟)	2560	糸魚川RC	2010年9月
		姉妹	タイ	3360	メイチャンRC	2013年2月
6	春日部イブニング	友好	日本(山形)	2800	山形鶴岡南RC	2015年5月

7	幸手	姉妹	台湾	3500	桃園RC	1970年1月
7	蓮田	姉妹	台湾	3480	台北古亭RC	2008年9月
		姉妹	日本(宮崎)	2730	宮崎南RC	2016年6月
7	久喜	友好	日本(青森)	2830	野辺地RC	2006年6月
7	幸手中央					
8	越谷	姉妹	オーストラリア	9750	キャンベルタウンRC	1992年3月
		友好	日本(熊本)	2720	熊本城東RC	2006年3月
8	越谷南	姉妹	台湾	3460	台中南區RC	1994年4月
		友好	日本(岩手)	2520	宮古東RC	2016年5月
8	越谷北	友好	日本(福島)	2530	浪江RC	1996年5月
8	越谷東	姉妹	台湾	3460	台中港北區RC	1992年4月
8	越谷中	友好	台湾	3480	台北百城RC	2006年5月
9	八潮	友好	日本(福島)	2530	三春RC	2008年7月
9	八潮イブニング					
9	草加中央					
9	八潮みらい	友好	日本(群馬)	2840	前橋中央RC	2022年5月
9	草加松原					
9	草加シティ	友好	タイ	3340	ウボンRC	2018年3月
		友好	タイ	3340	ロイエットRC	2018年3月
		友好	タイ	3340	ヤソーンRC	2019年3月
		友好	タイ	3340	ウドンRC	
10	吉川	友好	日本(熊本)	2720	宇土RC	2015年7月
10	三郷	姉妹	韓国	3700	大邸東信RC	1991年5月
10	三郷中央	姉妹	台湾	3520	台北博愛RC	1992年6月
10	三郷ウエズデー					
10	松伏					
10	吉川中央					
11	川口	姉妹	台湾	3500	中歴RC	1971年11月
		友好	オーストラリア	9675	CAMDEN RC	2012年4月
		友好	アメリカ合衆国	6600	フィンドレーRC	2018年10月
11	鳩ヶ谷	姉妹	台湾	3460	草屯RC	1971年2月
11	川口東	姉妹	台湾	3460	台中西北RC	1972年6月
		友好	日本(宮城)	2520	塩釜RC	2012年12月
11	川口/鳩ヶ谷武南	姉妹	台湾	3460	大甲北区RC	1989年4月
11	川口モーニング	姉妹	日本(北海道)	2510	札幌モーニングRC	2011年4月
		姉妹	日本(北海道)	2500	旭川モーニングRC	2011年4月
		姉妹	日本(青森)	2830	青森モーニングRC	2011年4月
		姉妹	日本(京都)	2650	京都モーニングRC	2011年4月
11	川口南	姉妹	台湾	3490	新莊中央RC	1997年3月
11	川口シティ鳩ヶ谷					
12	戸田	姉妹	韓国	3750	水原RC	1974年4月
		姉妹	台湾	3490	板橋RC	1976年5月
12	蕨	姉妹	台湾	3490	基隆南RC	1966年10月
12	川口西	姉妹	台湾	3460	東勢RC	1971年8月
12	戸田西	姉妹	韓国	3750	安山広徳RC	2007年4月
12	川口北	姉妹	韓国	3750	安山RC	1996年4月
12	川口北東	姉妹	台湾	3490	林口RC	1991年4月
12	川口中央	姉妹	台湾	3481	台北金龍RC	1991年5月
12	川口むさし野	姉妹	韓国	3750	安養萬安RC	1993年3月
12	戸田イブニング	姉妹	韓国	3660	三多RC	2007年4月

ロータリーソング

奉仕の理想

元京都RC会員
作詩：前田和一郎
元東京RC会員
作曲：萩原 栄一

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ
我等のロータリー

我等の生業

作詩：高野 辰之
作曲：岡野 貞一

1. 我等の生業さまざまなれど
集いて凶る心は一つ
求むるところは平和親睦
力むるところは向上奉仕
おゝロータリアン
我等の集い

2. 奉仕に集える我等は望む
正しき道に果をとるを
人の世挙りて光を浴みつ
力を協せて争忌むを
おゝロータリアン
我等の集い

それでこそロータリー

元東京RC会員
作詩・作曲：矢野 一郎

1. どこで会っても やあとのおうよ
見つけた時には おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それでこそ ローローロータリー

2. 笑顔笑顔で 語り合おうよ
心心で 結び合おうよ
みんな世の為 働き合おうよ
それでこそ ローローロータリー

3. どこの国にも 友が居るよ
みんな一つの 輪になろうよ
同じ心で 親しみ合おうよ
それでこそ ローローロータリー

手に手つないで

元東京RC会員
作詩・作曲：矢野 一郎

1. 手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 一つ心に
おゝロータリアン おゝロータリアン

2. 手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 世界と共に
おゝロータリアン おゝロータリアン

越谷ロータリークラブ

例会場 越谷産業会館内

事務局 〒343-0818 埼玉県越谷市越ヶ谷本町8-7

TEL 048-965-0550

FAX 048-965-6000

URL <http://www.koshigaya-rc.jp>

Email koshirc@crocus.ocn.ne.jp